

第7部 高齢者の生活に関する調査

第7部 高齢者の生活に関する調査

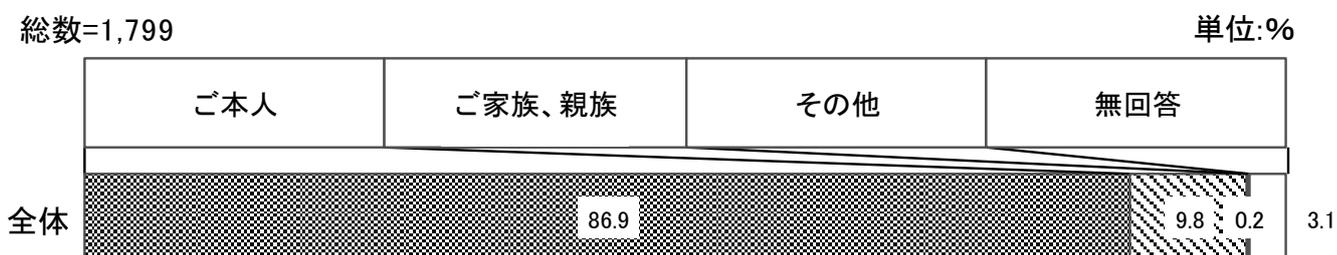
1 調査票の回答者と本人の居住場所について

(1) 調査票の回答者

問 1 この調査票を記入されるのはどなたですか。○をつけてください。

この調査票の記入者は、「ご本人」の割合が86.9%で最も高く、次いで「ご家族、親族」が9.8%となっている。

図表 7-1-1 回答者



「ご家族、親族」の内訳は、「子」の割合が51.1%で最も高く、次いで、「配偶者」が35.8%、「子の配偶者」が5.7%、「その他の親族」が2.3%となっている。

図表 7-1-2 回答者「ご家族、親族」の内訳

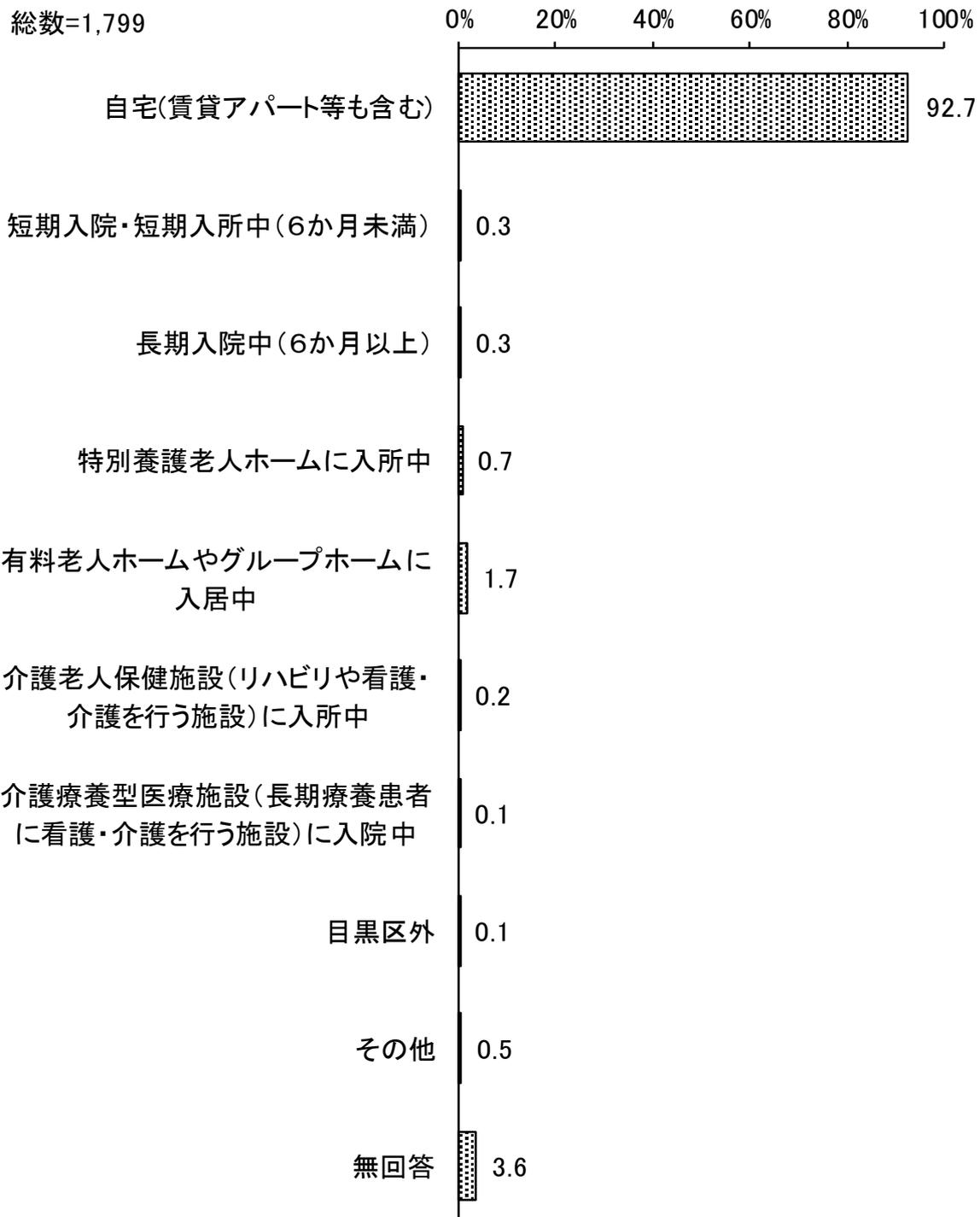


(2) 居場所

問2 あなたは、現在どちらにいらっしゃいますか。(〇は1つ)

住まいの種類は、「自宅(賃貸アパート等も含む)」の割合が92.7%で最も高く、次いで「有料老人ホームやグループホームに入居中」が1.7%、「特別養護老人ホームに入所中」が0.7%となっている。

図表 7-1-3 居場所

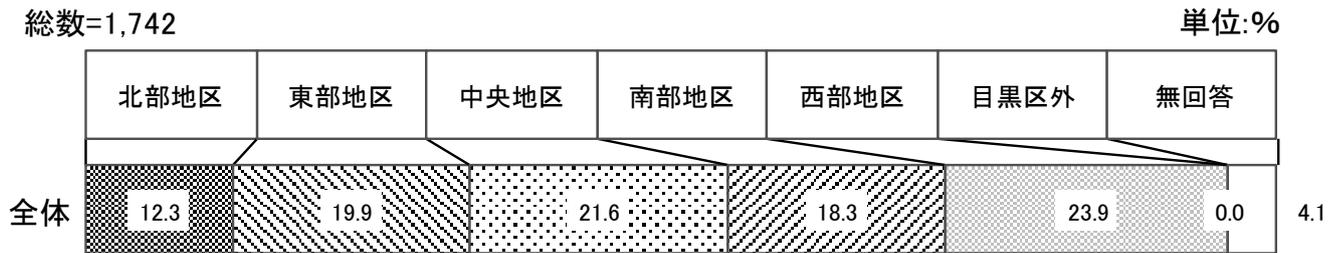


(3) 居住地区

問3 あなたは、どの地区にお住まいですか。地区名の番号に○をつけてください。(○は1つ)

居住地区は、「西部地区」の割合が23.9%で最も高く、「北部地区」が12.3%で最も低い。

図表 7-1-4 居住地区



2 本人や家族の状況について

(1) 性別

問4 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つ)

性別は、「男性」の割合が41.6%、「女性」が56.1%となっている。

図表 7-2-1 性別

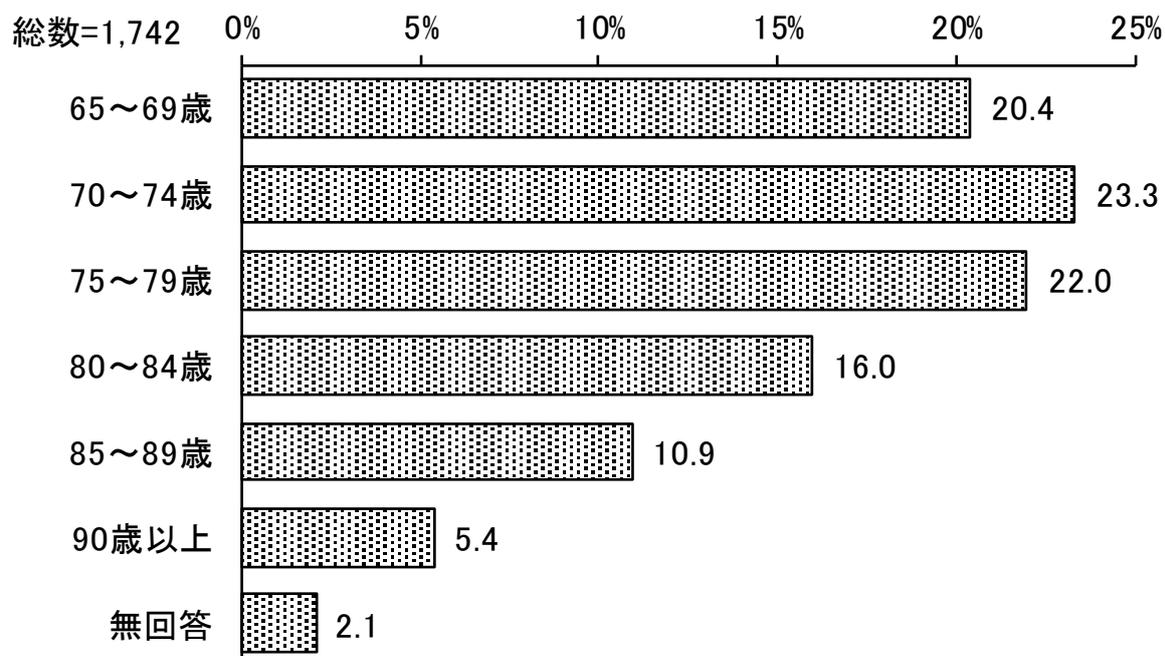


(2) 年齢

問5 あなたの令和元年10月1日現在の満年齢を教えてください。(〇は1つ)

年齢は、「70～74歳」の割合が23.3%で最も高く、次いで、「75～79歳」が22.0%、「65～69歳」が20.4%、「80～84歳」が16.0%となっている。全体では、前期高齢者（74歳以下）が43.7%、後期高齢者（75歳以上）が54.3%となっている。

図表 7-2-2 年齢

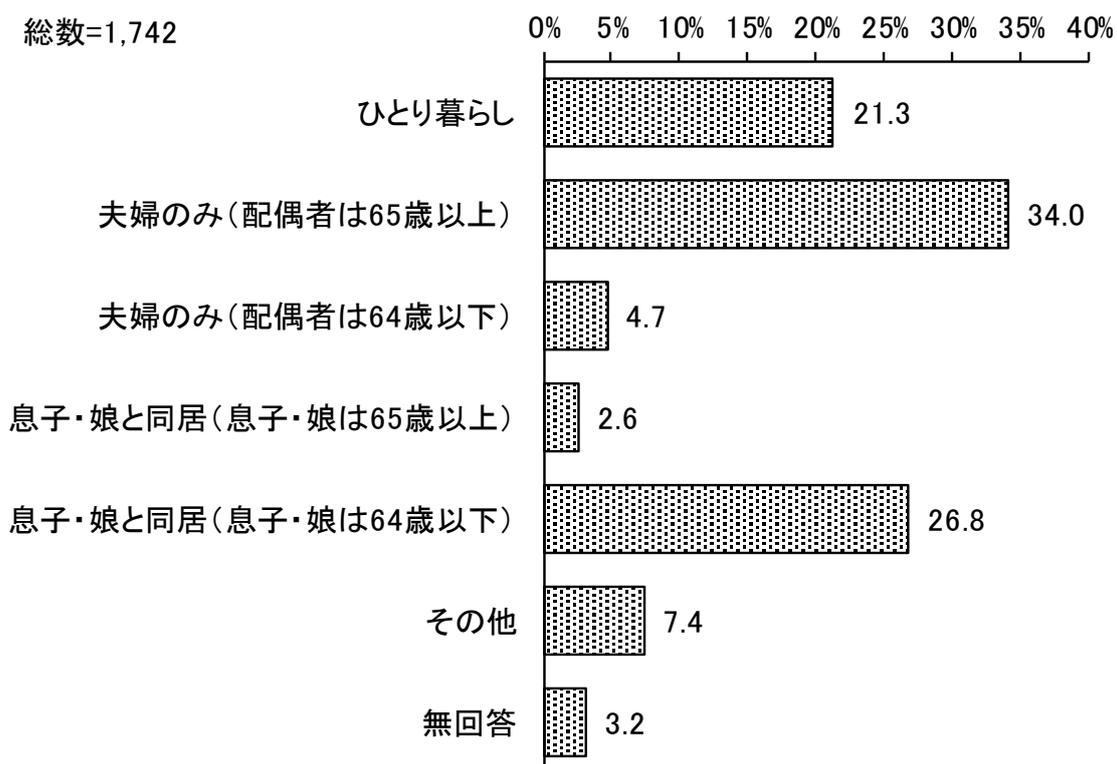


(3) 家族構成

問6 あなたの家族構成を教えてください。(〇は1つ)

家族構成は、「夫婦のみ(配偶者は65歳以上)」の割合が34.0%で最も高く、次いで「息子・娘と同居(息子・娘は64歳以下)」が26.8%、「ひとり暮らし」が21.3%となっている。

図表 7-2-3 家族構成



回答者の家族構成を男女別にみると、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」と「夫婦のみ（配偶者は64歳以下）」を合わせた「夫婦のみ」の割合では、男性が52.8%、女性が29.4%で、男性が女性を上回っている。一方で、「ひとり暮らし」では、男性が13.0%、女性が28.3%で、女性が男性を上回っている。

図表 7-2-4 家族構成（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

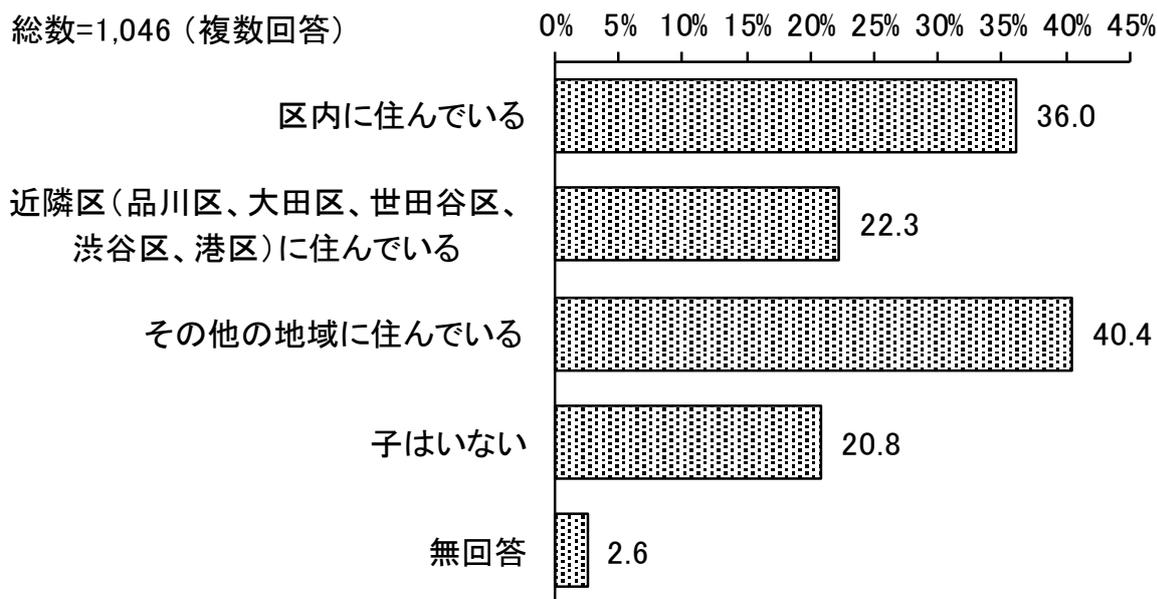
		全体	ひとり暮らし	夫婦のみ（配偶者は65歳以上）	夫婦のみ（配偶者は64歳以下）	（息子・娘は65歳以上） （息子・娘と同居）	（息子・娘は64歳以下） （息子・娘と同居）	その他	無回答
全体		1,742 100.0	371 21.3	593 34.0	82 4.7	46 2.6	466 26.8	129 7.4	55 3.2
性別・年齢階級	男性全体	724 100.0	94 13.0	322 44.5	60 8.3	8 1.1	183 25.3	47 6.5	10 1.4
	65～69歳	162 100.0	22 13.6	51 31.5	25 15.4	-	41 25.3	23 14.2	-
	70～74歳	182 100.0	24 13.2	82 45.1	19 10.4	1 0.5	41 22.5	13 7.1	2 1.1
	75～79歳	170 100.0	21 12.4	90 52.9	8 4.7	2 1.2	39 22.9	5 2.9	5 2.9
	80～84歳	114 100.0	14 12.3	62 54.4	5 4.4	1 0.9	28 24.6	2 1.8	2 1.8
	85～89歳	70 100.0	10 14.3	25 35.7	3 4.3	1 1.4	26 37.1	4 5.7	1 1.4
	90歳以上	26 100.0	3 11.5	12 46.2	-	3 11.5	8 30.8	-	-
	女性全体	975 100.0	276 28.3	266 27.3	20 2.1	36 3.7	276 28.3	81 8.3	20 2.1
	65～69歳	192 100.0	33 17.2	69 35.9	8 4.2	1 0.5	56 29.2	20 10.4	5 2.6
	70～74歳	223 100.0	66 29.6	74 33.2	5 2.2	-	54 24.2	22 9.9	2 0.9
	75～79歳	213 100.0	70 32.9	58 27.2	4 1.9	3 1.4	66 31.0	10 4.7	2 0.9
	80～84歳	162 100.0	44 27.2	39 24.1	1 0.6	1 0.6	54 33.3	16 9.9	7 4.3
	85～89歳	118 100.0	41 34.7	22 18.6	2 1.7	7 5.9	34 28.8	10 8.5	2 1.7
	90歳以上	67 100.0	22 32.8	4 6.0	-	24 35.8	12 17.9	3 4.5	2 3.0
無回答		43 100.0	1 2.3	5 11.6	2 4.7	2 4.7	7 16.3	1 2.3	25 58.1

(4) 子どもの有無と居住地

問6-1 あなたには、別居しているお子さんはいらっしゃいますか。(〇はいくつでも)

別居している子どもは、「その他の地域に住んでいる」の割合が40.4%で最も高く、次いで「区内に住んでいる」が36.0%、「近隣区(品川区、大田区、世田谷区、渋谷区、港区)に住んでいる」が22.3%、「子はいない」が20.8%となっている。

図表 7-2-5 子どもの有無と居住地

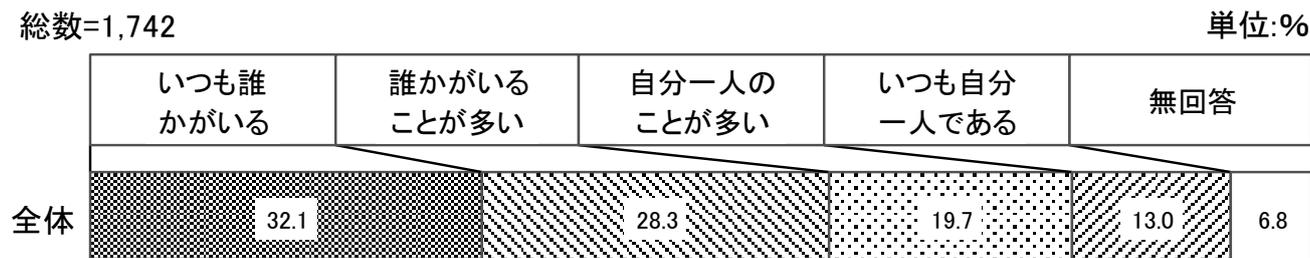


(5) 日中の家族の有無

問7 あなたの家には、日中、他のご家族がいらっしゃいますか。別居しているご家族が訪問される場合も含まれます。(〇は1つ)

日中の家族の状況は、「いつも誰かがいる」の割合が32.1%で最も高く、次いで「誰かがいることが多い」が28.3%、「自分一人のことが多い」が19.7%、「いつも自分一人である」が13.0%となっている。

図表 7-2-6 日中の家族の有無



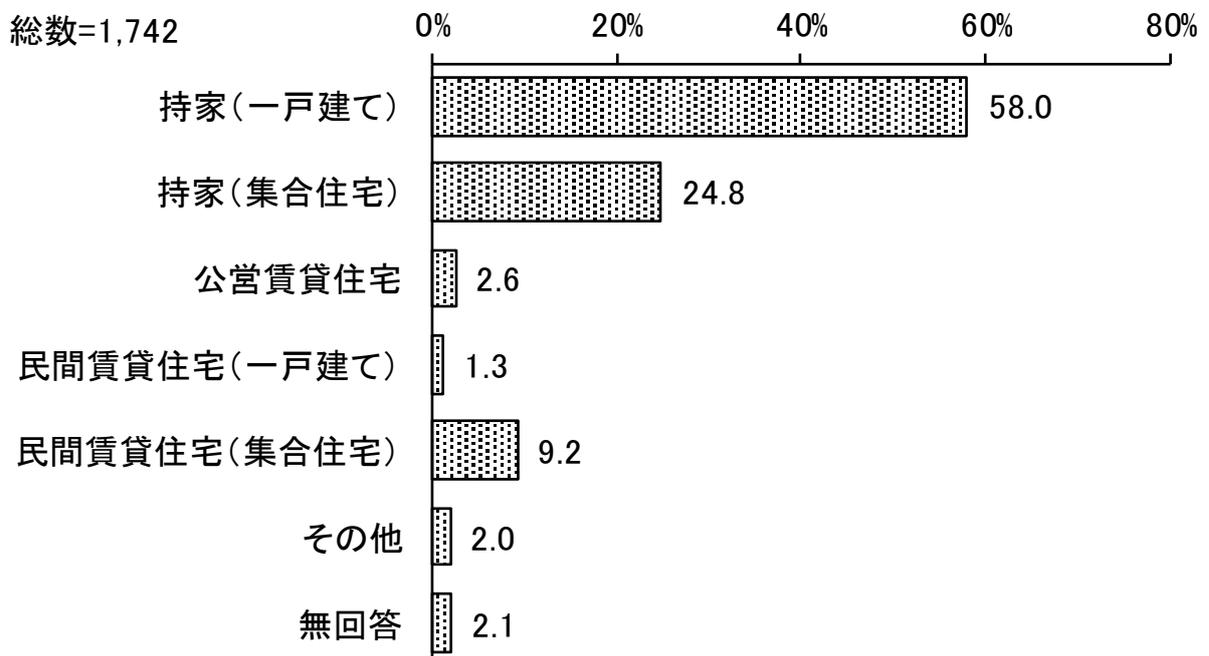
3 住まいについて

(1) 住まいの種類

問8 現在のお住まいの種類はどれにあたりますか。(〇は1つ)

住まいの種類は、「持家（一戸建て）」の割合が58.0%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が24.8%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が9.2%となっている。持家の割合が、82.8%と高くなっている。

図表 7-3-1 住まいの種類

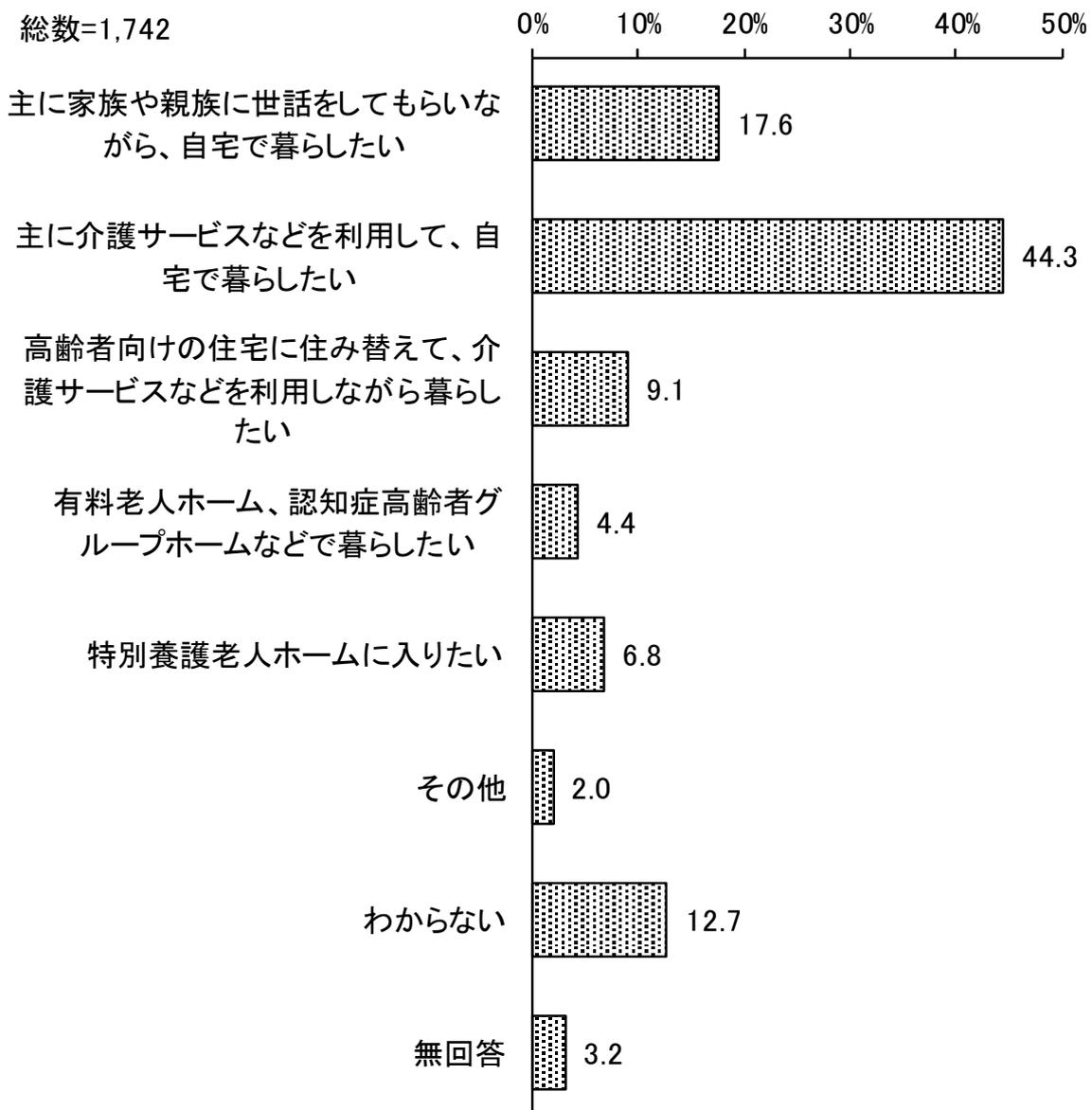


(2) 介護などが必要になったときの暮らし方

問9 あなたは、今後、介護などが必要になったとき、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

介護などが必要になったときの暮らし方は、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」の割合が44.3%で最も高く、次いで「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」が17.6%、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」が9.1%となっている。高齢者向けの住宅への住み替えを含め、自宅等の暮らしを希望する割合が、71.0%となっている。

図表 7-3-2 介護などが必要になったときの暮らし方



性別・年齢階級別では、「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」の割合が男性で22.0%、女性で14.3%と男性が女性を上回っている。全体的な傾向として、男女ともに、高齢になるほど「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」の割合が高くなっている。

図表 7-3-3 介護などが必要になったときの暮らし方（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	主に家族や親族に世話をもらいながら、自宅で暮らしたい	主に介護サービスなどを利用しながら暮らしたい	高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい	有料老人ホーム、認知症高齢者グループホームなどで暮らしたい	特別養護老人ホームに入りたい	その他	わからない	無回答	
全体		1,742 100.0	306 17.6	772 44.3	158 9.1	76 4.4	119 6.8	35 2.0	221 12.7	55 3.2	
性別・年齢階級	男性全体	724 100.0	159 22.0	296 40.9	64 8.8	37 5.1	50 6.9	20 2.8	77 10.6	21 2.9	
	65～69歳	162 100.0	22 13.6	62 38.3	16 9.9	8 4.9	21 13.0	7 4.3	22 13.6	4 2.5	
	70～74歳	182 100.0	28 15.4	86 47.3	19 10.4	9 4.9	11 6.0	4 2.2	22 12.1	3 1.6	
	75～79歳	170 100.0	40 23.5	70 41.2	16 9.4	8 4.7	8 4.7	3 1.8	18 10.6	7 4.1	
	80～84歳	114 100.0	26 22.8	48 42.1	9 7.9	8 7.0	8 7.0	2 1.8	7 6.1	6 5.3	
	85～89歳	70 100.0	28 40.0	27 38.6	4 5.7	3 4.3	2 2.9	3 4.3	3 4.3	-	
	90歳以上	26 100.0	15 57.7	3 11.5	-	-	1 3.8	-	1 3.8	5 19.2	1 3.8
	女性全体	975 100.0	139 14.3	456 46.8	89 9.1	39 4.0	66 6.8	15 1.5	140 14.4	31 3.2	
	65～69歳	192 100.0	18 9.4	96 50.0	17 8.9	8 4.2	18 9.4	1 0.5	31 16.1	3 1.6	
	70～74歳	223 100.0	22 9.9	108 48.4	23 10.3	12 5.4	18 8.1	4 1.8	32 14.3	4 1.8	
	75～79歳	213 100.0	19 8.9	111 52.1	26 12.2	6 2.8	13 6.1	2 0.9	31 14.6	5 2.3	
	80～84歳	162 100.0	32 19.8	71 43.8	13 8.0	6 3.7	8 4.9	3 1.9	20 12.3	9 5.6	
	85～89歳	118 100.0	22 18.6	47 39.8	9 7.6	4 3.4	7 5.9	4 3.4	19 16.1	6 5.1	
	90歳以上	67 100.0	26 38.8	23 34.3	1 1.5	3 4.5	2 3.0	1 1.5	7 10.4	4 6.0	
無回答		43 100.0	8 18.6	20 46.5	5 11.6	-	3 7.0	-	4 9.3	3 7.0	

家族構成別では、「ひとり暮らし」以外の家族構成で、「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」と「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」の割合が高くなっている。「ひとり暮らし」の家族構成では、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」の割合が42.9%で最も高く、次いで「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」が12.4%、「主に家族や親族に世話をしてもらいながら、自宅で暮らしたい」と「特別養護老人ホームに入りたい」が7.3%となっている。「ひとり暮らし」の家族構成では、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」の割合が、他の家族構成と比較して高くなっている。

図表 7-3-4 介護などが必要になったときの暮らし方（家族構成別）

（上段：回答数、下段：構成比）

	全体	主に家族や親族に世話を してもらいながら、 自宅で暮らしたい	主に介護サ ービスなど を利用して、 自宅で暮 らしたい	高 齢 者 向 け の 住 宅 に 住 み 替 え て 、 介 護 サ ー ビ ス な ど を 利 用 し な が ら 暮 ら し た い	有 料 老 人 ホ ー ム 、 認 知 症 高 齢 者 グ ル ー プ ホ ー ム な ど で 暮 ら し た い	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム に 入 り た い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	
全体	1,742 100.0	306 17.6	772 44.3	158 9.1	76 4.4	119 6.8	35 2.0	221 12.7	55 3.2	
家族 構 成	ひとり暮らし	371 100.0	27 7.3	159 42.9	46 12.4	19 5.1	27 7.3	12 3.2	72 19.4	9 2.4
	夫婦のみ（配偶者は 65歳以上）	593 100.0	118 19.9	279 47.0	51 8.6	29 4.9	35 5.9	13 2.2	58 9.8	10 1.7
	夫婦のみ（配偶者は 64歳以下）	82 100.0	16 19.5	38 46.3	4 4.9	3 3.7	11 13.4	2 2.4	7 8.5	1 1.2
	息子・娘と同居（息 子・娘は65歳以上）	46 100.0	23 50.0	14 30.4	1 2.2	- -	3 6.5	- -	4 8.7	1 2.2
	息子・娘と同居（息 子・娘は64歳以下）	466 100.0	86 18.5	211 45.3	39 8.4	22 4.7	36 7.7	6 1.3	58 12.4	8 1.7
	その他	129 100.0	26 20.2	55 42.6	14 10.9	3 2.3	6 4.7	2 1.6	17 13.2	6 4.7
	無回答	55 100.0	10 18.2	16 29.1	3 5.5	- -	1 1.8	- -	5 9.1	20 36.4

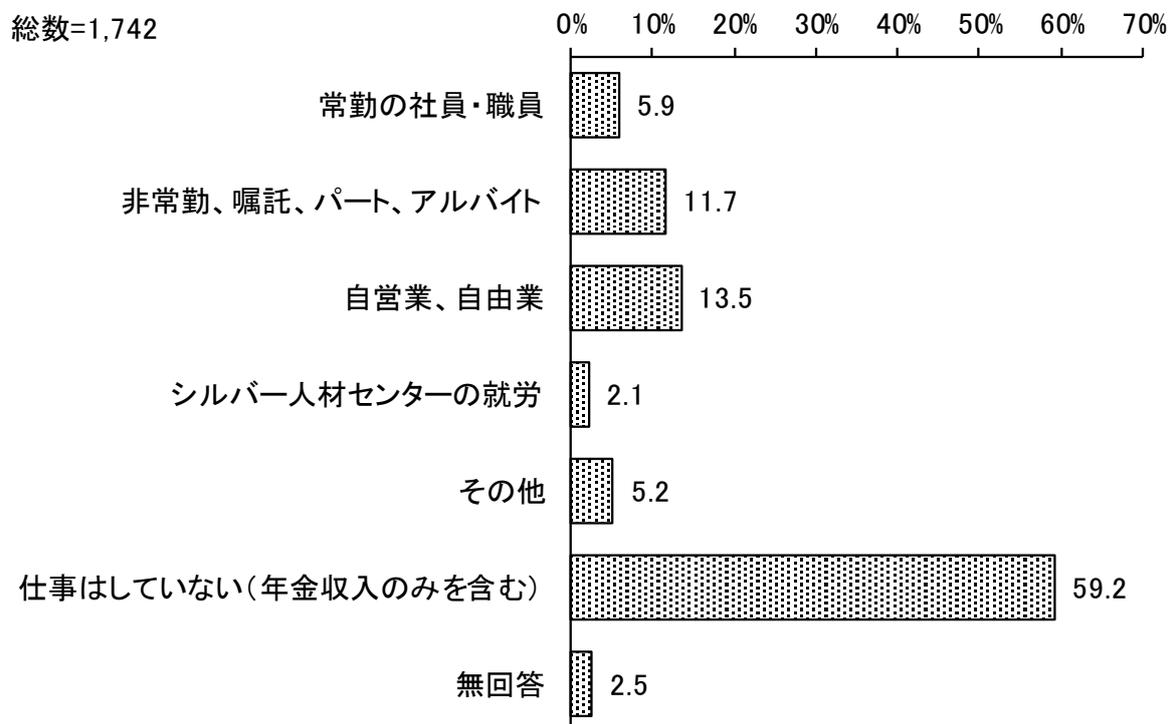
4 家計について

(1) 就労状況

問 10 あなたは、現在、収入のある仕事をしていますか。(〇は1つ)

就労状況は、「仕事はしていない(年金収入のみを含む)」の割合が59.2%で最も高く、次いで「自営業、自由業」が13.5%、「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」が11.7%、「常勤の社員・職員」が5.9%となっている。

図表 7-4-1 就労状況



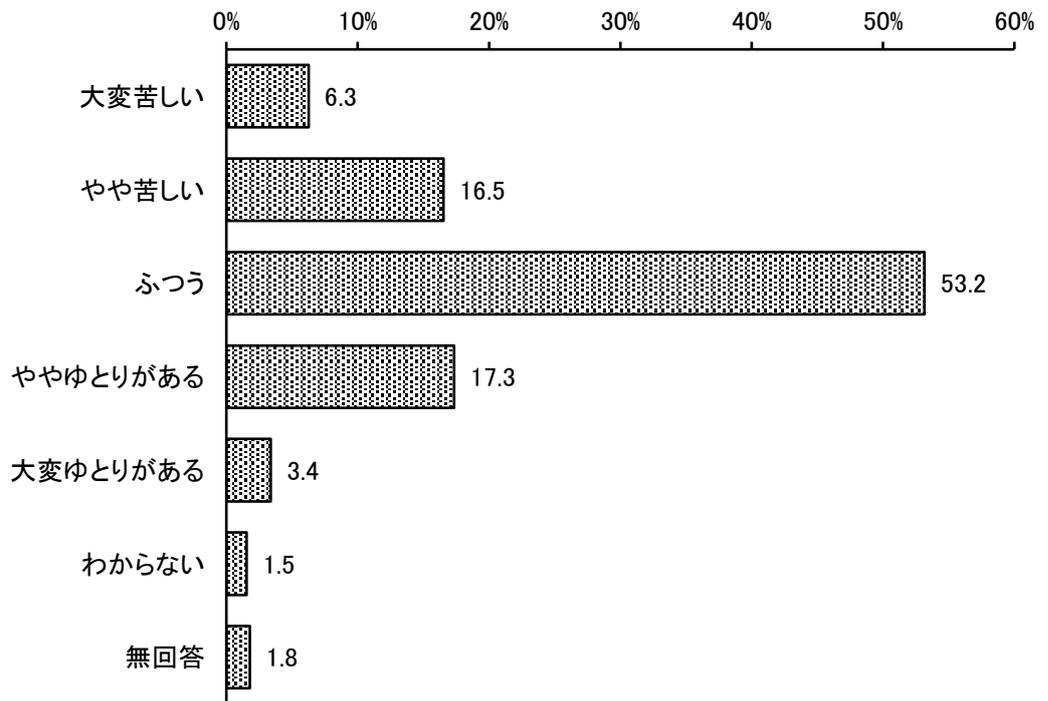
(2) 経済状況

問 11 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

経済状況は、「ふつう」の割合が53.2%で最も高く、次いで「ややゆとりがある」が17.3%、「やや苦しい」が16.5%、「大変苦しい」が6.3%となっている。

図表 7-4-2 経済状況

総数=1,742



性別・年齢階級別では、「ふつう」の割合が男性で50.0%、女性で55.8%となっており、それぞれ最も高い割合となっている。男女ともに、全体とほぼ同じ傾向となっている。

図表 7-4-3 経済状況（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	大変 苦しい	やや 苦しい	ふ つ う	やや ゆ と り が あ る	大 変 ゆ と り が あ る	わ か ら な い	無 回 答
全体		1,742 100.0	109 6.3	288 16.5	926 53.2	302 17.3	59 3.4	27 1.5	31 1.8
性別・ 年齢階級	男性全体	724 100.0	51 7.0	134 18.5	362 50.0	129 17.8	31 4.3	7 1.0	10 1.4
	65～69歳	162 100.0	17 10.5	30 18.5	75 46.3	28 17.3	11 6.8	1 0.6	- -
	70～74歳	182 100.0	10 5.5	33 18.1	96 52.7	30 16.5	10 5.5	1 0.5	2 1.1
	75～79歳	170 100.0	15 8.8	32 18.8	85 50.0	26 15.3	4 2.4	3 1.8	5 2.9
	80～84歳	114 100.0	4 3.5	22 19.3	61 53.5	18 15.8	4 3.5	2 1.8	3 2.6
	85～89歳	70 100.0	5 7.1	10 14.3	34 48.6	19 27.1	2 2.9	- -	- -
	90歳以上	26 100.0	- -	7 26.9	11 42.3	8 30.8	- -	- -	- -
	女性全体	975 100.0	57 5.8	147 15.1	544 55.8	165 16.9	26 2.7	18 1.8	18 1.8
	65～69歳	192 100.0	15 7.8	26 13.5	103 53.6	38 19.8	7 3.6	2 1.0	1 0.5
	70～74歳	223 100.0	11 4.9	40 17.9	130 58.3	35 15.7	3 1.3	2 0.9	2 0.9
	75～79歳	213 100.0	16 7.5	36 16.9	104 48.8	41 19.2	7 3.3	4 1.9	5 2.3
	80～84歳	162 100.0	8 4.9	24 14.8	92 56.8	26 16.0	4 2.5	2 1.2	6 3.7
	85～89歳	118 100.0	5 4.2	11 9.3	75 63.6	16 13.6	3 2.5	6 5.1	2 1.7
90歳以上	67 100.0	2 3.0	10 14.9	40 59.7	9 13.4	2 3.0	2 3.0	2 3.0	
無回答		43 100.0	1 2.3	7 16.3	20 46.5	8 18.6	2 4.7	2 4.7	3 7.0

家族構成別においても、同様に、「ふつう」の割合が最も高い。「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」と「息子・娘と同居（息子・娘は65歳以上）」の家族構成では、「ややゆとりがある」の割合が比較的高くなっている。

図表 7-4-4 経済状況（家族構成別）

（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	大変 苦しい	やや 苦しい	ふつ う	やや ゆとり がある	大変 ゆとり がある	わ か ら な い	無 回 答
全体		1,742 100.0	109 6.3	288 16.5	926 53.2	302 17.3	59 3.4	27 1.5	31 1.8
家 族 構 成	ひとり暮らし	371 100.0	30 8.1	70 18.9	194 52.3	49 13.2	17 4.6	7 1.9	4 1.1
	夫婦のみ（配偶者は 65歳以上）	593 100.0	29 4.9	93 15.7	313 52.8	129 21.8	19 3.2	6 1.0	4 0.7
	夫婦のみ（配偶者は 64歳以下）	82 100.0	7 8.5	10 12.2	42 51.2	15 18.3	6 7.3	1 1.2	1 1.2
	息子・娘と同居（息 子・娘は65歳以上）	46 100.0	1 2.2	4 8.7	28 60.9	12 26.1	- -	1 2.2	- -
	息子・娘と同居（息 子・娘は64歳以下）	466 100.0	32 6.9	72 15.5	262 56.2	75 16.1	11 2.4	10 2.1	4 0.9
	その他	129 100.0	9 7.0	36 27.9	67 51.9	13 10.1	3 2.3	1 0.8	- -
	無回答	55 100.0	1 1.8	3 5.5	20 36.4	9 16.4	3 5.5	1 1.8	18 32.7

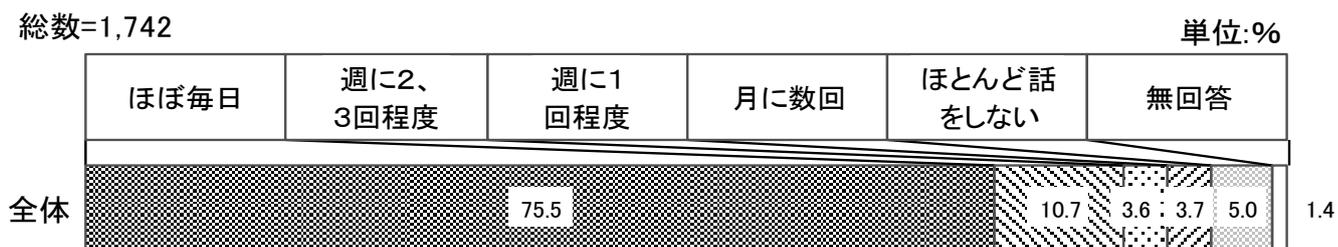
5 近隣や知人・友人との付き合いについて

(1) 人と話す回数

問 12 あなたは、ふだんどの程度、人（同居の家族を含む）と話をしますか。電話やメールなども含めてお答えください。（〇は1つ）

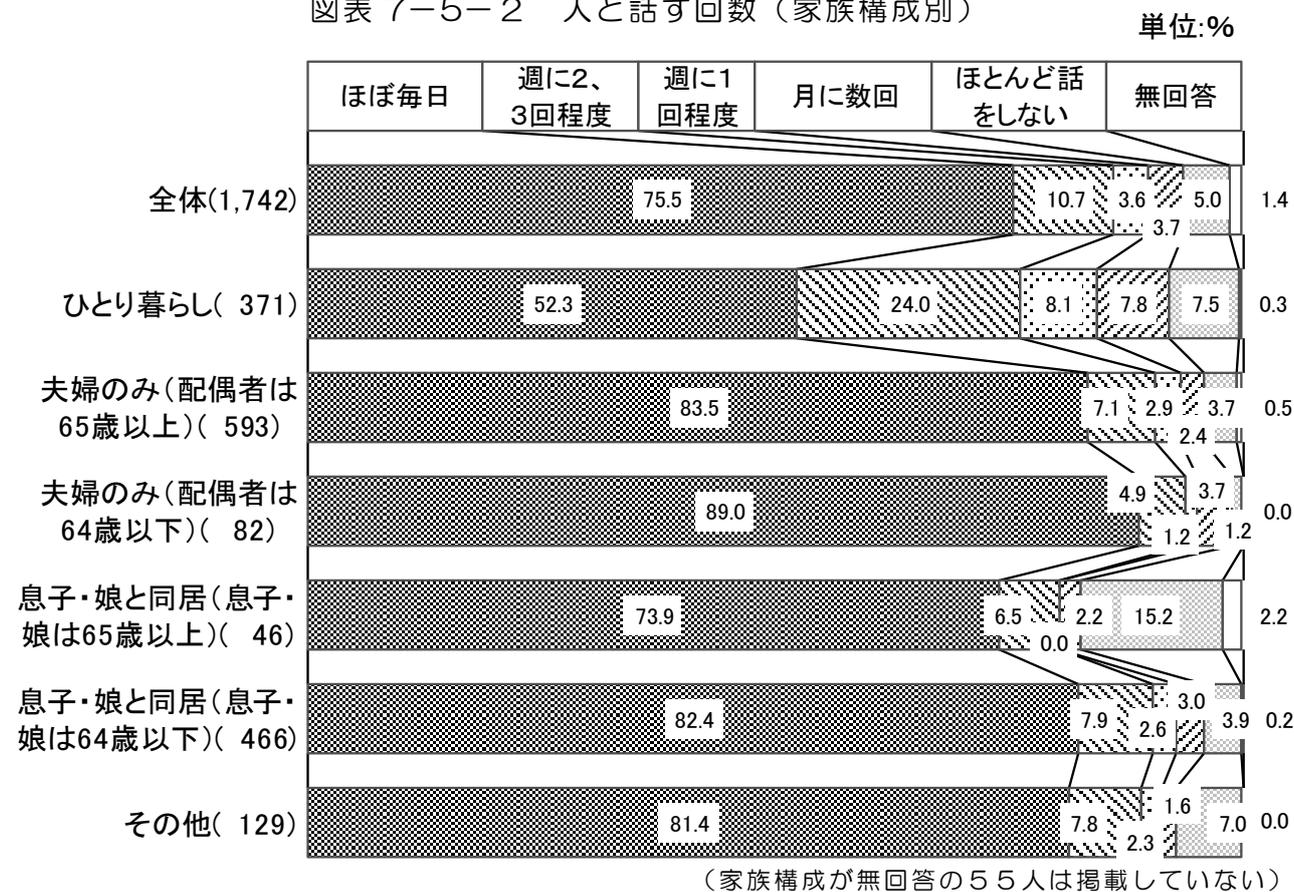
人と話す回数は、「ほぼ毎日」の割合が75.5%で最も高く、次いで「週に2、3回程度」が10.7%、「ほとんど話をしない」が5.0%となっている。

図表 7-5-1 人と話す回数



家族構成別では、「ひとり暮らし」で「ほぼ毎日」の割合が低く、他の家族構成と比較して「週に2、3回程度」や「週に1回程度」などが高くなっている。

図表 7-5-2 人と話す回数（家族構成別）

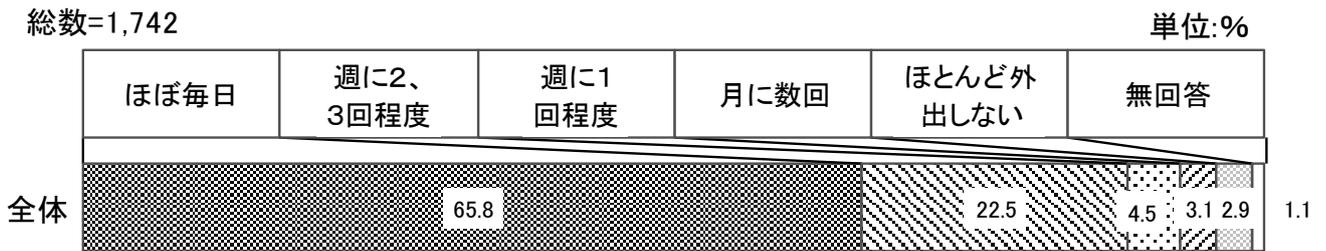


(2) 外出回数

問 13 あなたは、近所への買い物、散歩、通院等を含め、外出することはどのくらいありますか。(〇は1つ)

外出回数では、「ほぼ毎日」の割合が65.8%で最も高く、次いで「週に2、3回程度」が22.5%、「週に1回程度」が4.5%、「月に数回」が3.1%となっている。

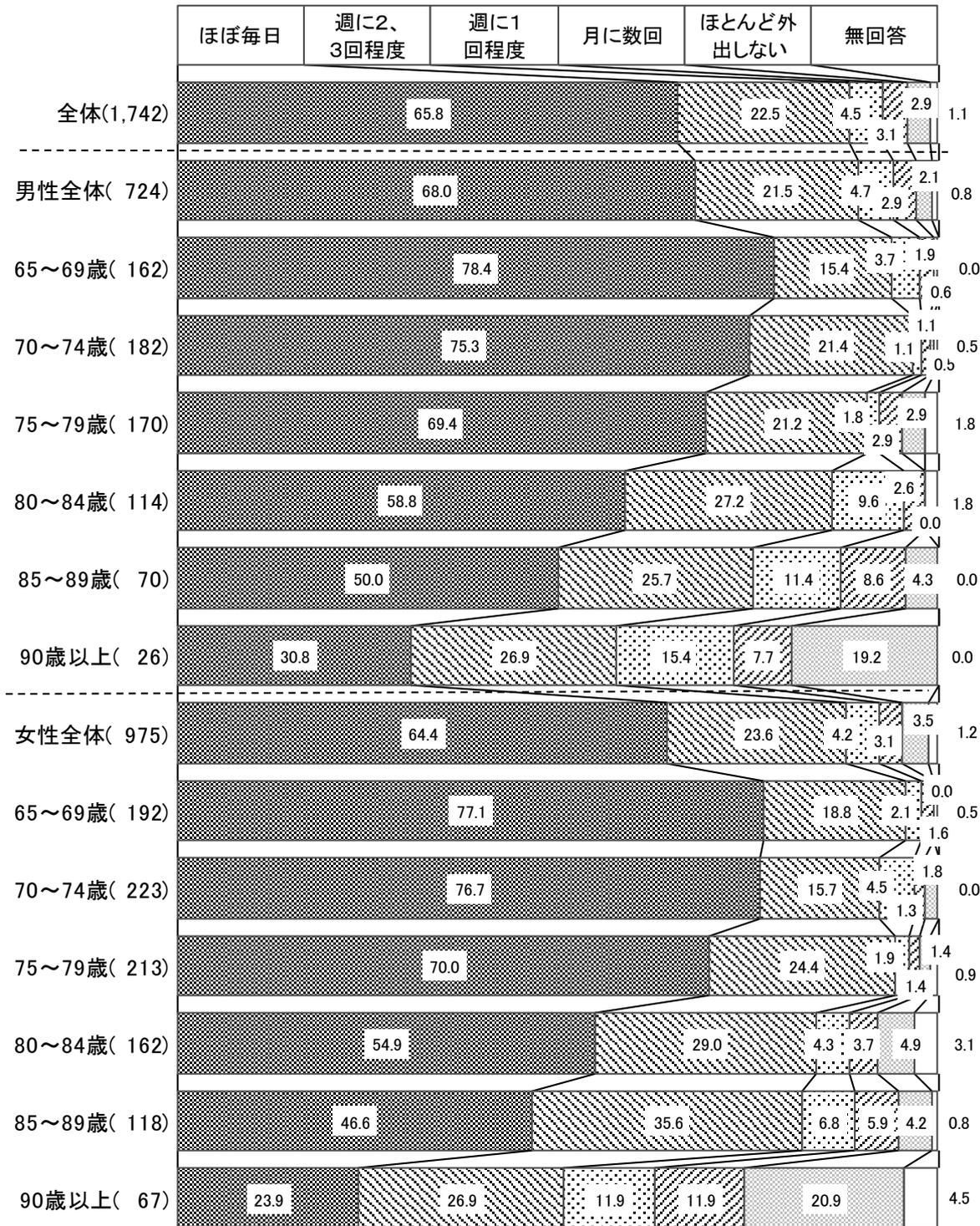
図表 7-5-3 外出回数



性別では、「ほぼ毎日」で男性が68.0%、女性が64.4%と男性の割合が女性を上回っている。一方で、「週に2、3回程度」で男性が21.5%、女性が23.6%と女性の割合が男性を上回っている。年齢階級別では、すべての年齢階級で、「ほぼ毎日」の割合は高いものの、男女ともに、70歳以上の年齢階級で、加齢とともに割合が低くなっている。

図表 7-5-4 外出回数（性別・年齢階級別）

単位: %



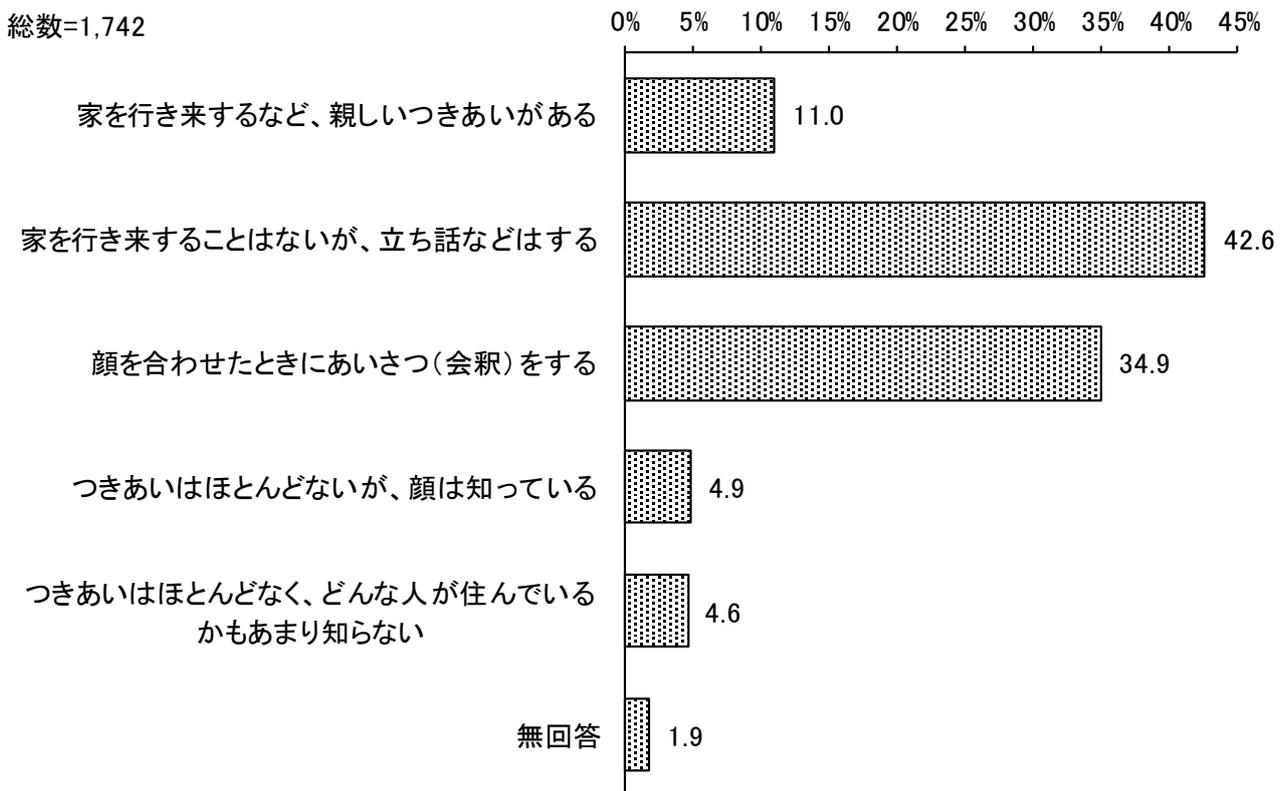
(性別年齢が無回答の43人は掲載していない)

(3) 隣近所との交流

問 14 あなたは、ふだん隣近所の人とどのような交流がありますか。(○は1つ)

隣近所との交流は、「家を行き来することはないが、立ち話などはする」の割合が42.6%で最も高く、次いで「顔を合わせたときにあいさつ(会釈)をする」が34.9%、「家を行き来するなど、親しいつきあいがある」が11.0%となっている。

図表 7-5-5 隣近所との交流



性別では、「家を行き来することはないが、立ち話などはする」で、男性が34.8%、女性が48.5%で女性の割合が男性を上回っている。一方で、「顔を合わせたときにあいさつ（会釈）をする」では男性が46.8%、女性が26.4%で男性の割合が女性を上回っている。また、「家を行き来するなど、親しいつきあいがある」で、男性が5.8%、女性が15.0%で、女性の割合が大きく上回っている。

図表 7-5-6 隣近所との交流（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	家を行き来するなど、親しいつきあいがある	家が、立ち話などはする	顔を合わせたときにあいさつ（会釈）をする	つきあいはほとんどないが、顔は知っている	つきあいはほとんどなく、どんな人が住んでいるかもあまり知らない	無回答
全体		1,742 100.0	192 11.0	742 42.6	608 34.9	86 4.9	81 4.6	33 1.9
性別・年齢階級	男性全体	724 100.0	42 5.8	252 34.8	339 46.8	47 6.5	35 4.8	9 1.2
	65～69歳	162 100.0	6 3.7	48 29.6	86 53.1	9 5.6	12 7.4	1 0.6
	70～74歳	182 100.0	10 5.5	71 39.0	82 45.1	12 6.6	6 3.3	1 0.5
	75～79歳	170 100.0	14 8.2	62 36.5	76 44.7	8 4.7	7 4.1	3 1.8
	80～84歳	114 100.0	5 4.4	48 42.1	44 38.6	9 7.9	4 3.5	4 3.5
	85～89歳	70 100.0	6 8.6	18 25.7	34 48.6	7 10.0	5 7.1	-
	90歳以上	26 100.0	1 3.8	5 19.2	17 65.4	2 7.7	1 3.8	-
	女性全体	975 100.0	146 15.0	473 48.5	257 26.4	36 3.7	42 4.3	21 2.2
	65～69歳	192 100.0	30 15.6	91 47.4	53 27.6	9 4.7	7 3.6	2 1.0
	70～74歳	223 100.0	36 16.1	117 52.5	54 24.2	8 3.6	8 3.6	-
	75～79歳	213 100.0	36 16.9	114 53.5	55 25.8	-	5 2.3	3 1.4
	80～84歳	162 100.0	22 13.6	84 51.9	36 22.2	3 1.9	9 5.6	8 4.9
	85～89歳	118 100.0	13 11.0	51 43.2	35 29.7	7 5.9	8 6.8	4 3.4
	90歳以上	67 100.0	9 13.4	16 23.9	24 35.8	9 13.4	5 7.5	4 6.0
無回答		43 100.0	4 9.3	17 39.5	12 27.9	3 7.0	4 9.3	3 7.0

健康状態別では、「家を行き来することはないが、立ち話などはする」の割合が「とてもよい」の方で50.5%、「まあよい」の方で43.8%と高い割合となっている。

図表 7-5-7 隣近所との交流（健康状態別）

（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	家を行き来するなどの、親しいつきあいがある	家を行き来することはないが、立ち話などはする	顔を合わせたときにあいさつ（会釈）をする	つきあいはほとんどないが、顔は知っている	つきあいはほとんどなく、どんな人が住んでいるかもあまり知らない	無回答
全体		1,742 100.0	192 11.0	742 42.6	608 34.9	86 4.9	81 4.6	33 1.9
健康状態	とてもよい	196 100.0	33 16.8	99 50.5	47 24.0	8 4.1	4 2.0	5 2.6
	まあよい	1,151 100.0	120 10.4	504 43.8	421 36.6	45 3.9	44 3.8	17 1.5
	あまりよくない	292 100.0	30 10.3	97 33.2	114 39.0	23 7.9	23 7.9	5 1.7
	よくない	69 100.0	4 5.8	25 36.2	18 26.1	9 13.0	9 13.0	4 5.8
	無回答	34 100.0	5 14.7	17 50.0	8 23.5	1 2.9	1 2.9	2 5.9

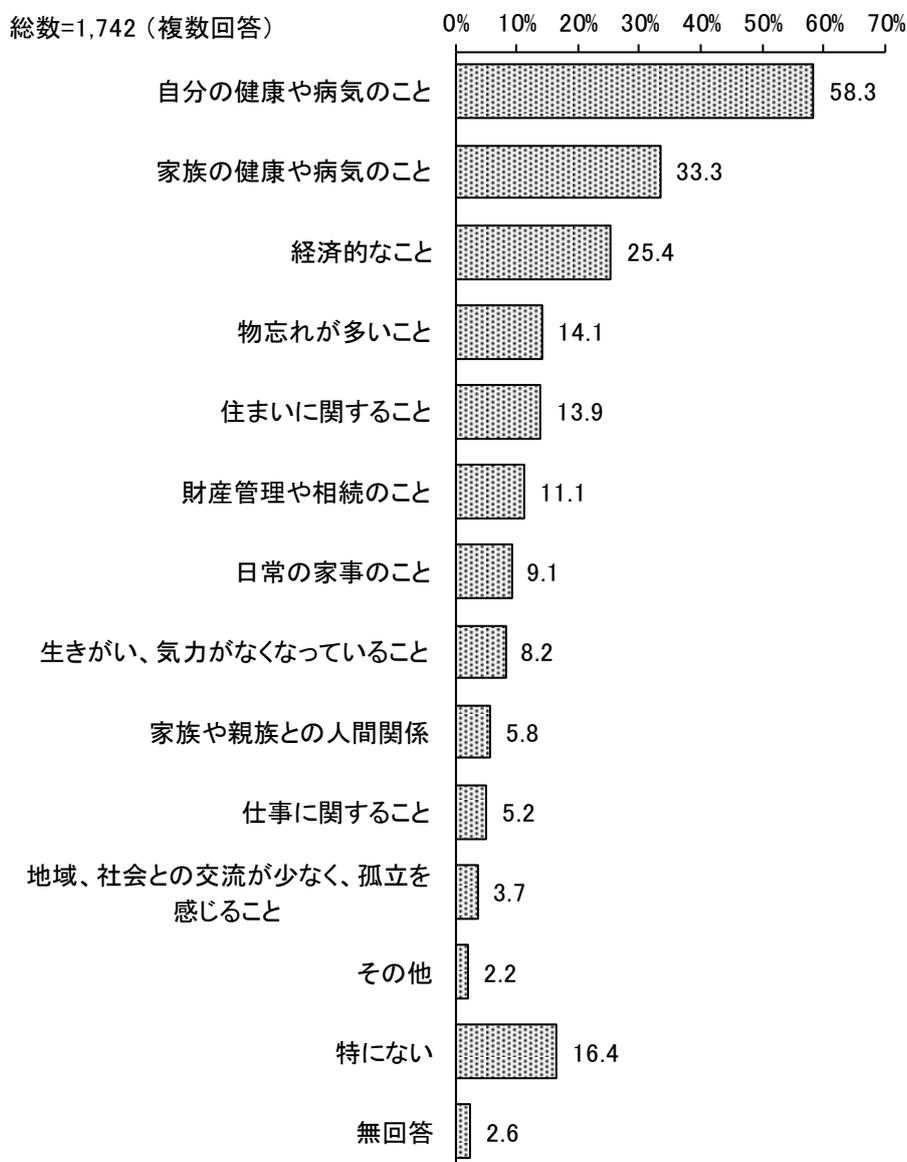
6 日常生活で困っていることや将来の不安について

(1) 日常生活上の心配、悩み

問 15 あなたは、現在、日常生活を送る上で、どのような心配や悩みがありますか。(〇はいくつでも)

心配や悩みでは、「自分の健康や病気のこと」の割合が58.3%で最も高く、次いで「家族の健康や病気のこと」が33.3%、「経済的なこと」が25.4%、「物忘れが多いこと」が14.1%となっている。

図表 7-6-1 日常生活上の心配、悩み

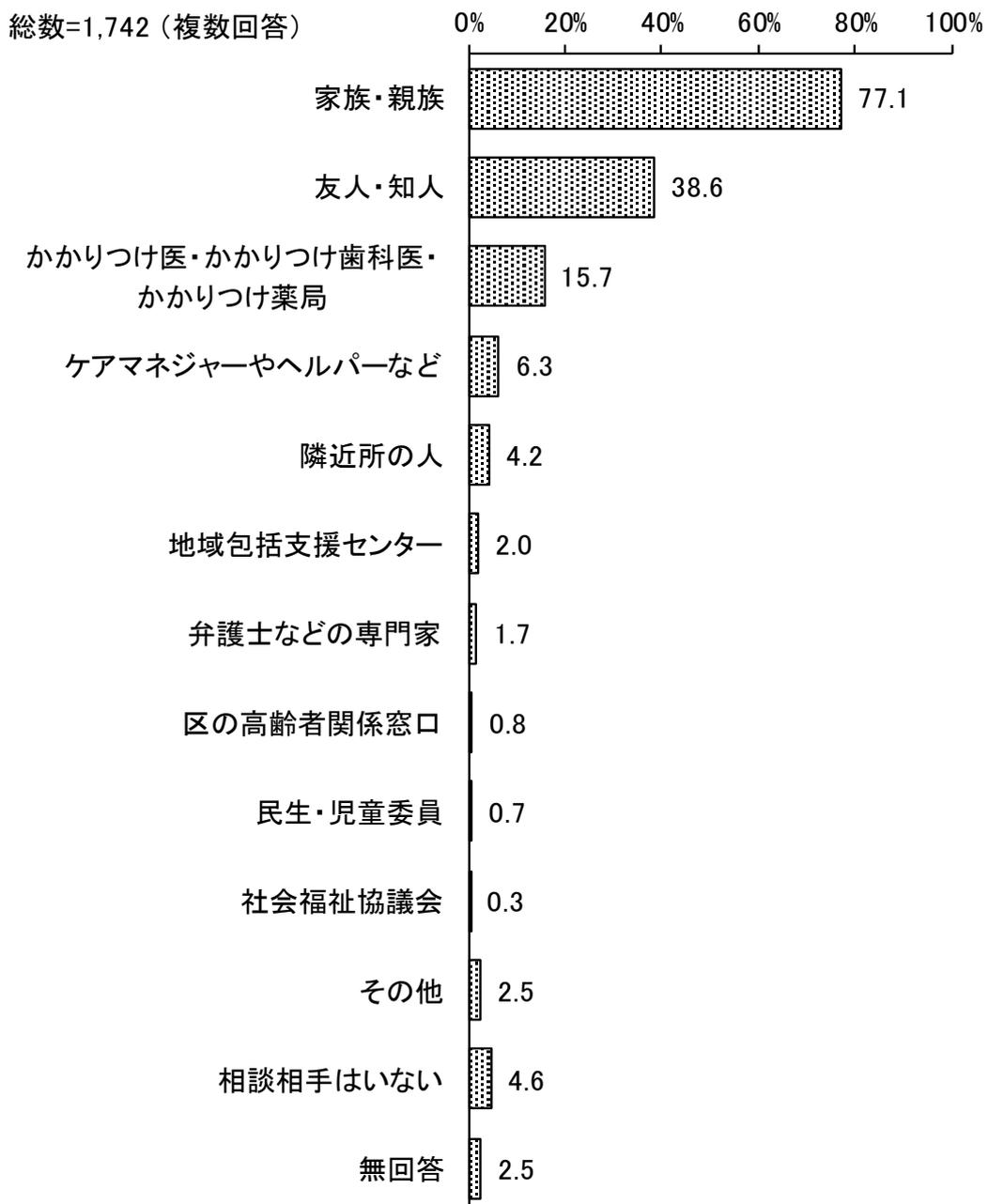


(2) 心配や悩みの相談相手

問16 日常生活の心配や悩みは、誰に話したり相談したりしますか。(〇はいくつでも)

心配や悩みの相談相手では、「家族・親族」の割合が77.1%で最も高く、次いで「友人・知人」が38.6%、「かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局」が15.7%、「ケアマネジャーやヘルパーなど」が6.3%となっている。

図表 7-6-2 心配や悩みの相談相手

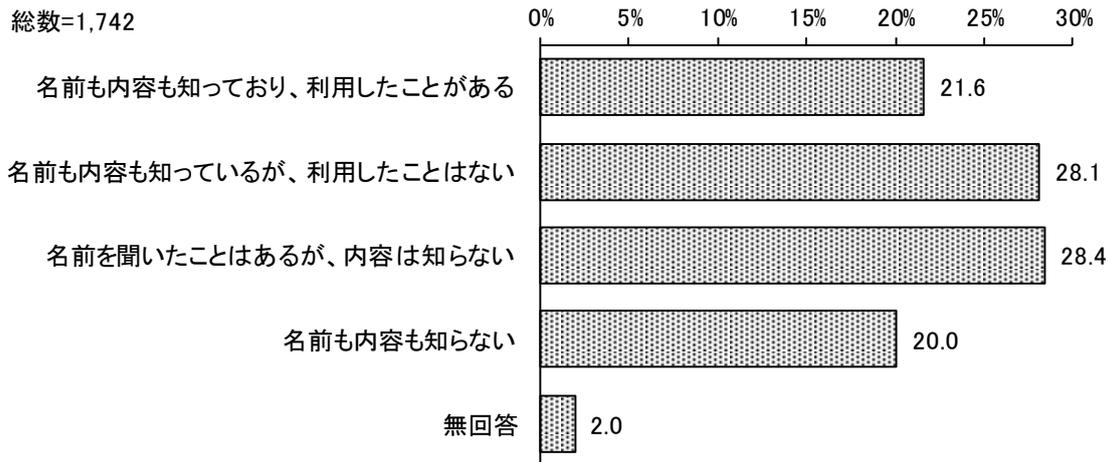


(3) 地域包括支援センターの認知度

問 17 目黒区では、区内5か所に保健福祉の総合相談窓口「地域包括支援センター」を設置しています。あなたは「地域包括支援センター」をご存知ですか。(○は1つ)

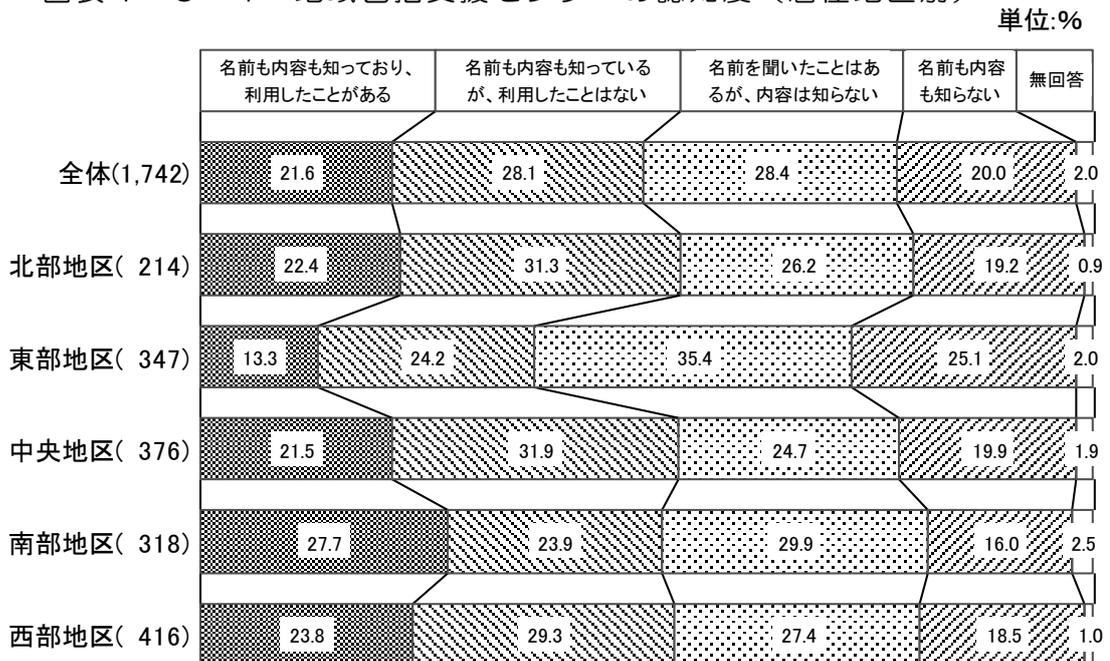
地域包括支援センターの認知度では、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が28.4%で最も高く、次いで「名前も内容も知っているが、利用したことはない」が28.1%、「名前も内容も知っており、利用したことがある」が21.6%、「名前も内容も知らない」が20.0%となっている。

図表 7-6-3 地域包括支援センターの認知度



居住地区別では、「名前も内容も知っており、利用したことがある」で「南部地区」の割合が27.7%、「東部地区」が13.3%、「名前も内容も知らない」では「東部地区」が25.1%、「南部地区」が16.0%となっている。比較的、南部地区の認知度が高く、東部地区の認知度が低い結果となっている。

図表 7-6-4 地域包括支援センターの認知度（居住地区別）



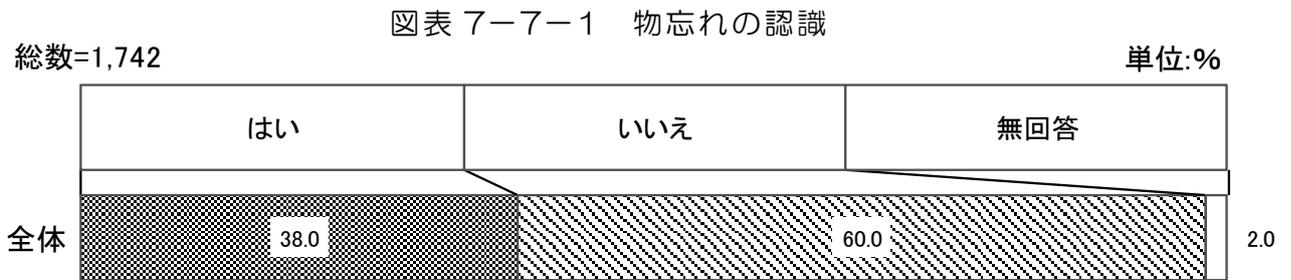
(居住地区が無回答の71人は掲載していない)

7 物忘れについて

(1) 物忘れの認識

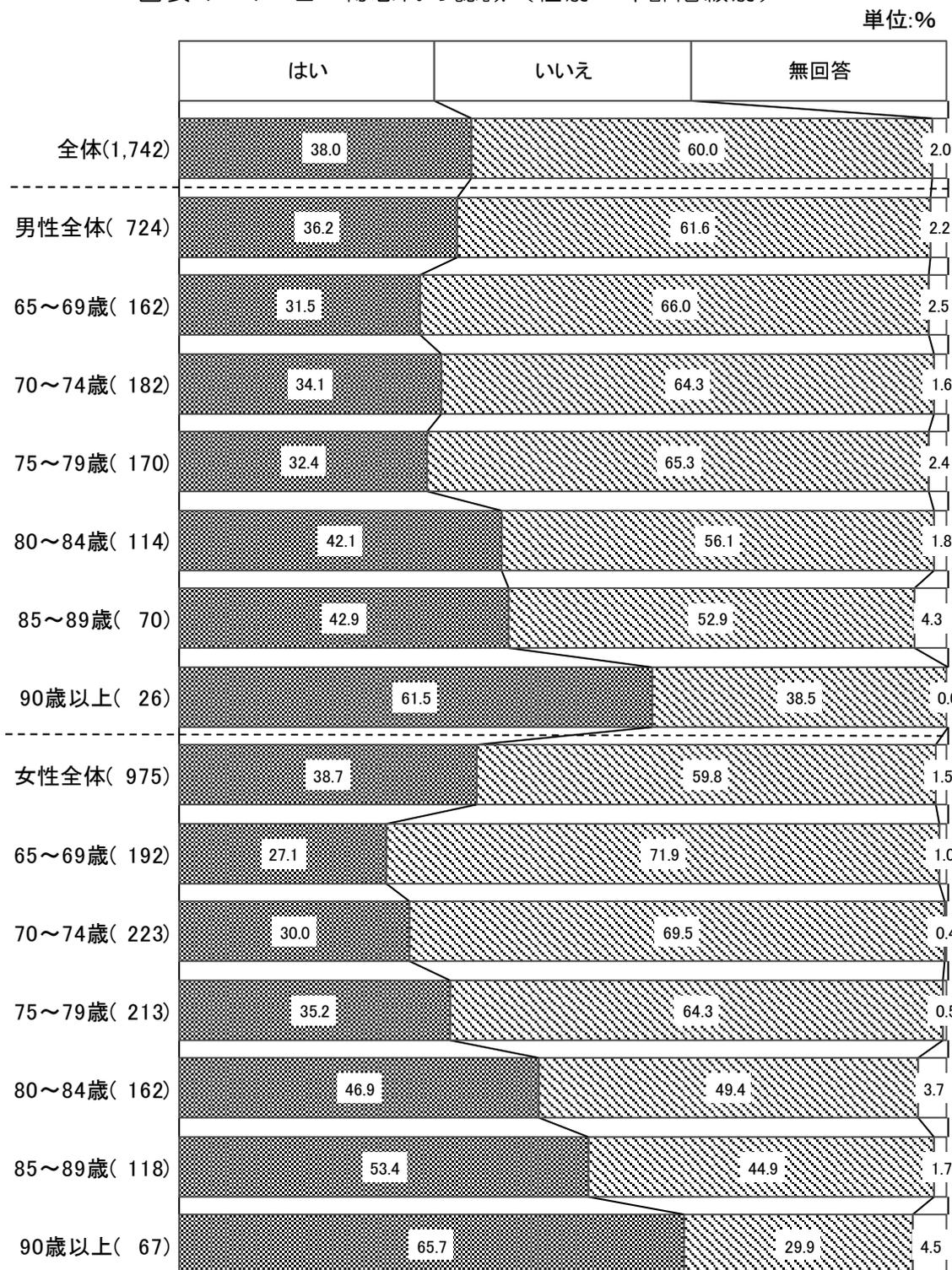
問 18 物忘れが多いと感じますか。(〇は1つ)

物忘れでは、物忘れが多いと感じている方の割合が38.0%、物忘れが多いと感じていない方の割合が60.0%となっている。



性別では、物忘れが多いと感じる方の割合が、男性全体で36.2%、女性全体で38.7%となっている。年齢階級別では、男女ともに、80歳以上の年齢階級で物忘れが多いと感じる割合が高くなっている。

図表 7-7-2 物忘れの認識（性別・年齢階級別）



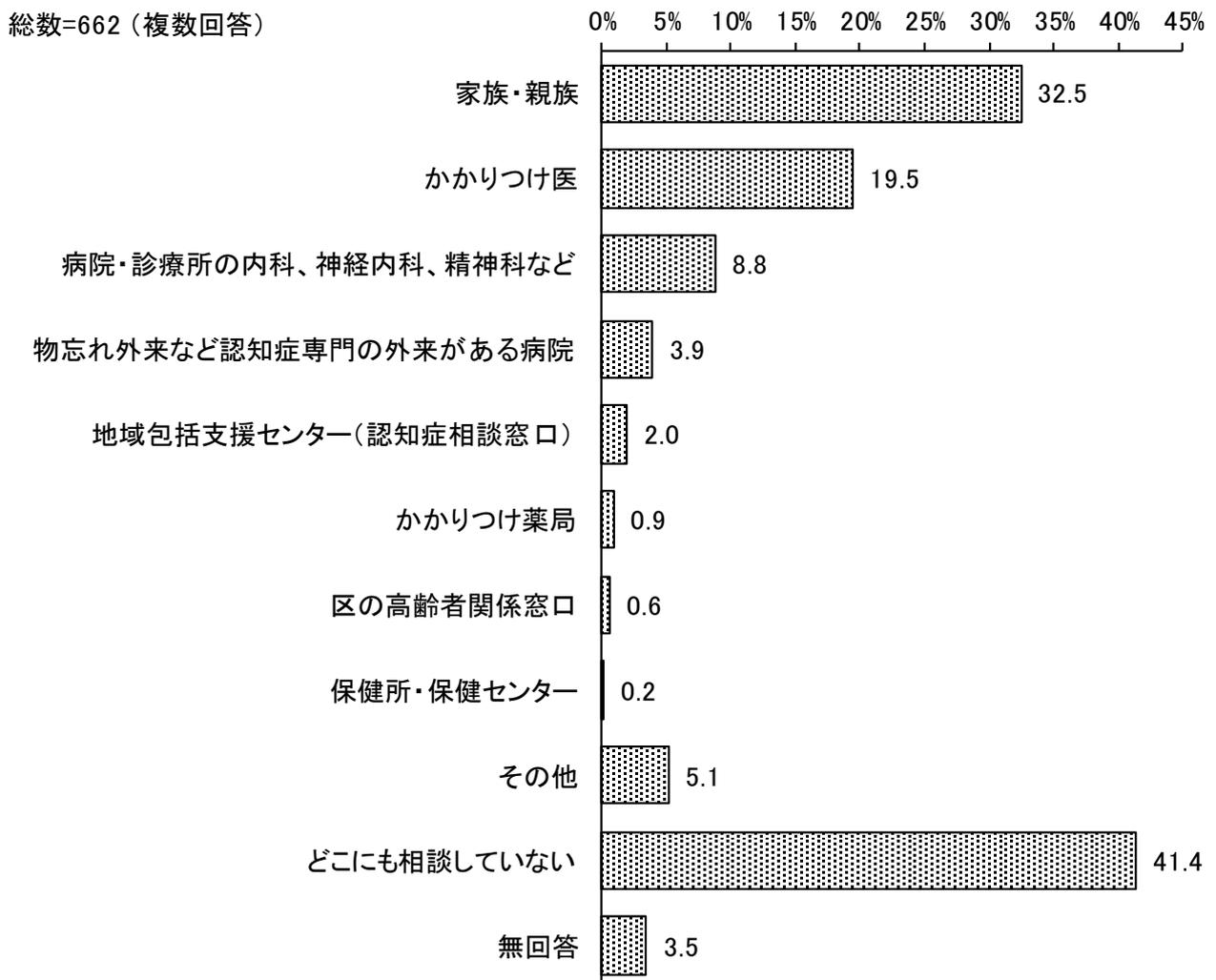
(性別年齢が無回答の43人は掲載していない)

(2) 相談の有無と相談相手

問 18-1 物忘れや理解・判断力の低下などについて、どこかに相談しましたか。(〇はいくつでも)

物忘れなどの相談先としては、「どこにも相談していない」の割合が41.4%で最も高く、次いで「家族・親族」が32.5%、「かかりつけ医」が19.5%、「病院・診療所の内科、神経内科、精神科など」が8.8%、「物忘れ外来など認知症専門の外来がある病院」が3.9%などとなっている。

図表 7-7-3 相談の有無と相談相手



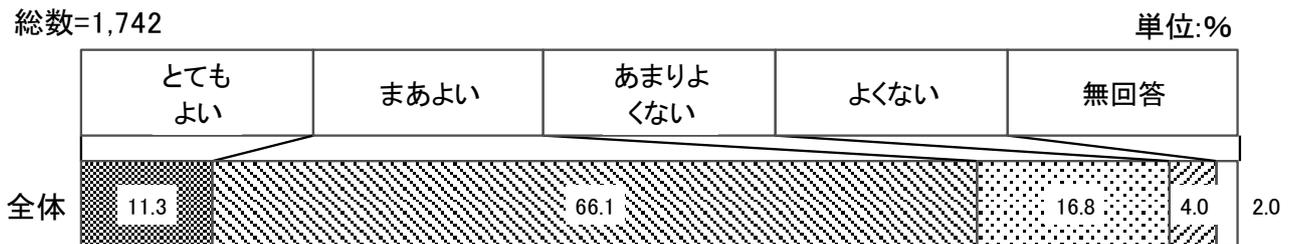
8 健康状態や在宅での療養などについて

(1) 健康状態

問 19 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

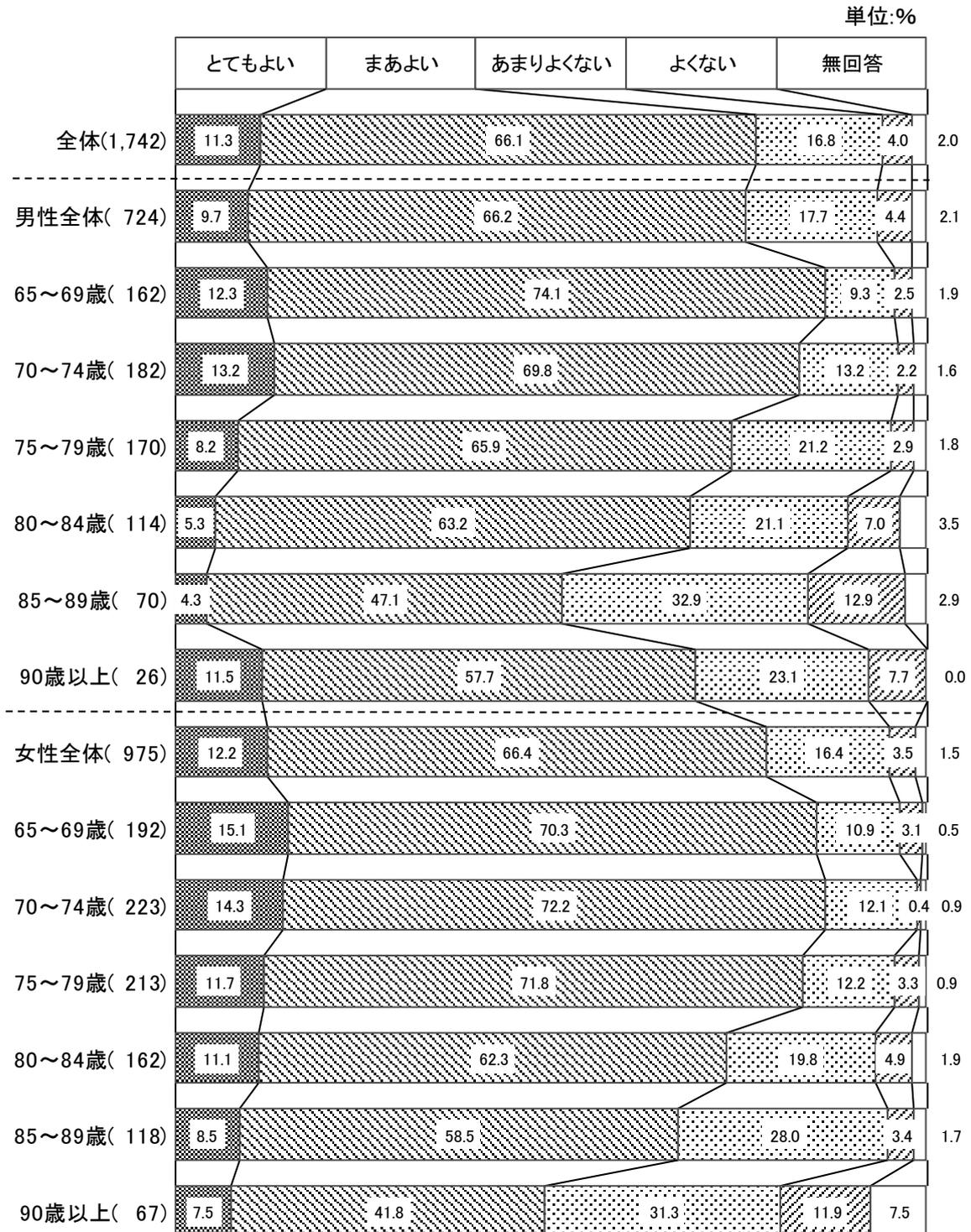
健康状態では、「まあよい」の割合が66.1%で最も高く、次いで「あまりよくない」が16.8%、「とてもよい」が11.3%、「よくない」が4.0%となっている。

図表 7-8-1 健康状態



性別では、「まあよい」の割合は、男性が66.2%、女性が66.4%と、男女ともに最も高くなっている。年齢階級別では、全体的な傾向は男女ともに変わらないものの、男性は80歳以上、女性は90歳以上で「よくない」の割合が高くなっている。

図表 7-8-2 健康状態（性別・年齢階級別）



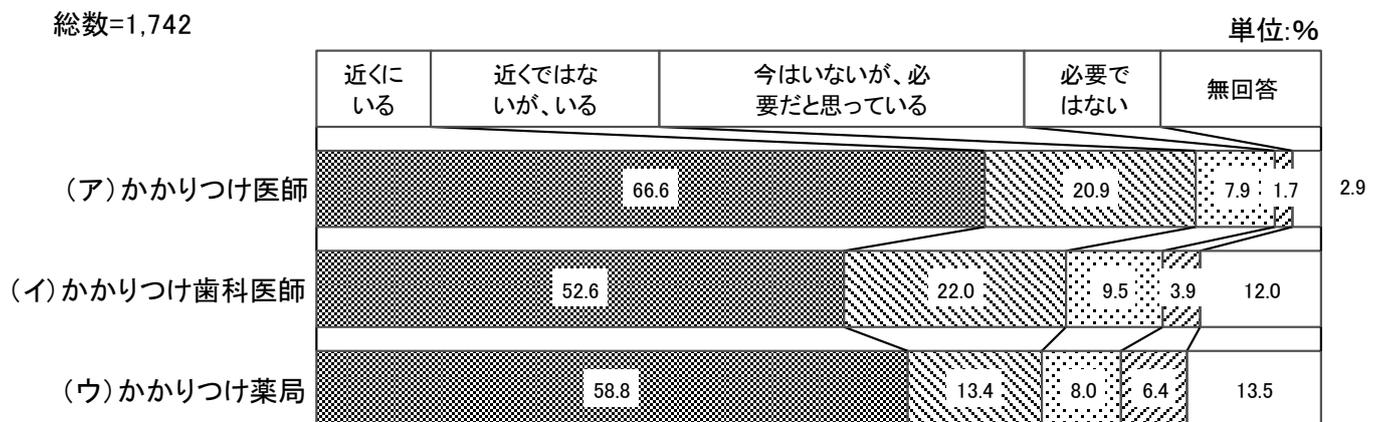
(性別年齢が無回答の43人は掲載していない)

(2) かかりつけ医師・歯科医師・薬局の有無

問 20 あなたには、かかりつけの診療所などがありますか。(ア) から (ウ) について、それぞれ 1～4 のどれかに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

かかりつけ医師などの有無では、かかりつけ医師、かかりつけ歯科医師、かかりつけ薬局ともに、全体的な傾向は変わらない。「近くにいる」では、かかりつけ医師の割合が66.6%で最も高く、次いでかかりつけ薬局が58.8%、かかりつけ歯科医師が52.6%となっている。

図表 7-8-3 かかりつけ医師・歯科医師・薬局の有無

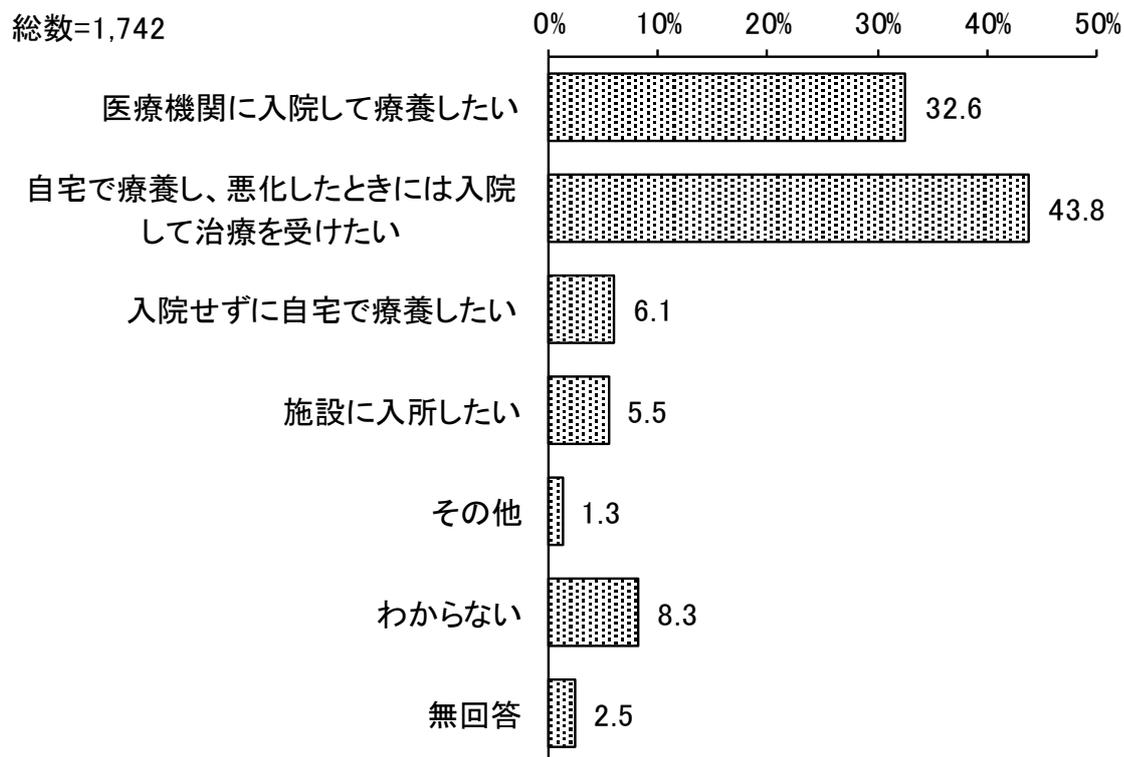


(3) 長期療養の場所

問 21 長期の療養が必要になった場合、あなたは、どこで療養をしたいと思いますか。
 (〇は1つ)

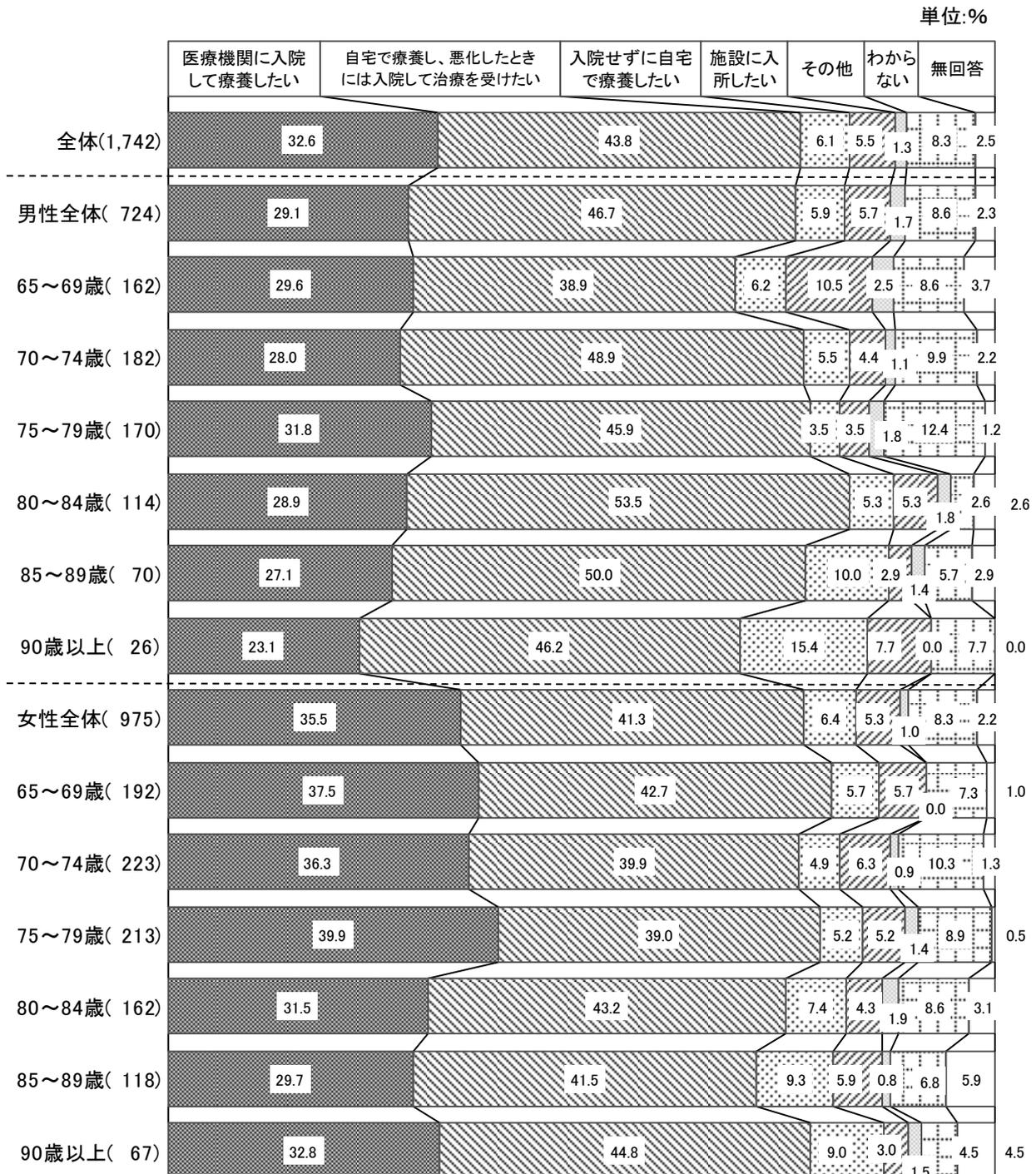
長期療養の場所では、「自宅で療養し、悪化したときには入院して治療を受けたい」が43.8%で最も高く、次いで「医療機関に入院して療養したい」が32.6%、「わからない」が8.3%、「入院せずに自宅で療養したい」が6.1%となっている。

図表 7-8-4 長期療養の場所



性別・年齢階級別では、全体の傾向と同様に、「自宅で療養し、悪化したときには入院して治療を受けたい」の割合が最も高く、次いで「医療機関に入院して療養したい」が高くなっている。「自宅で療養し、悪化したときには入院して治療を受けたい」では、男性が46.7%、女性が41.3%で男性の割合が女性を上回っているが、「医療機関に入院して療養したい」では、男性が29.1%、女性が35.5%で女性の割合が男性を上回っている。

図表 7-8-5 長期療養の場所（性別・年齢階級別）

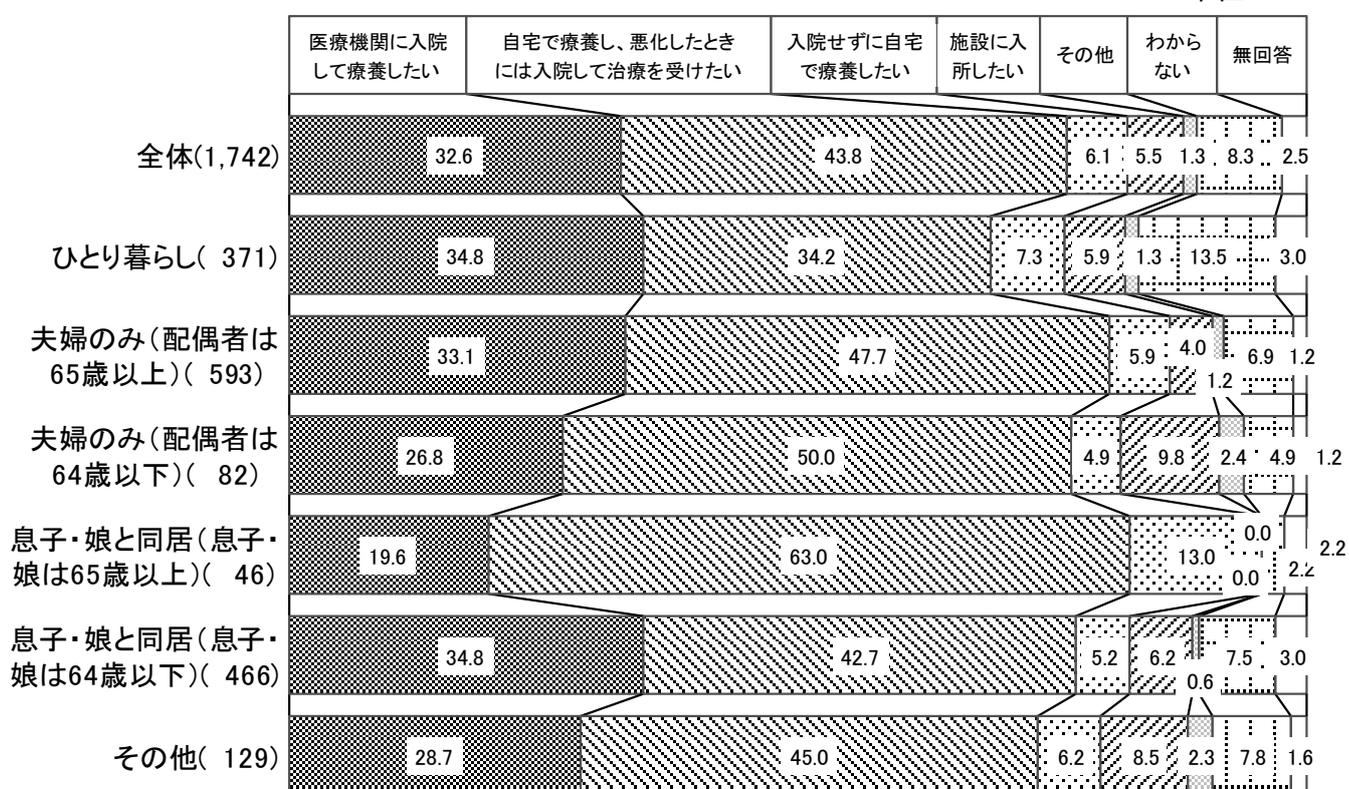


(性別年齢が無回答の43人は掲載していない)

家族構成別では、「ひとり暮らし」以外の家族構成においては、全体の傾向と同様に、「自宅で療養し、悪化したときには入院して治療を受けたい」の割合が最も高く、次いで「医療機関に入院して療養したい」が高くなっている。一方で、「ひとり暮らし」の家族構成においては、同程度の回答割合であるものの、「医療機関に入院して療養したい」の割合が最も高く、次いで「自宅で療養し、悪化したときには入院して治療を受けたい」が高くなっている。

図表 7-8-6 長期療養の場所（家族構成別）

単位: %



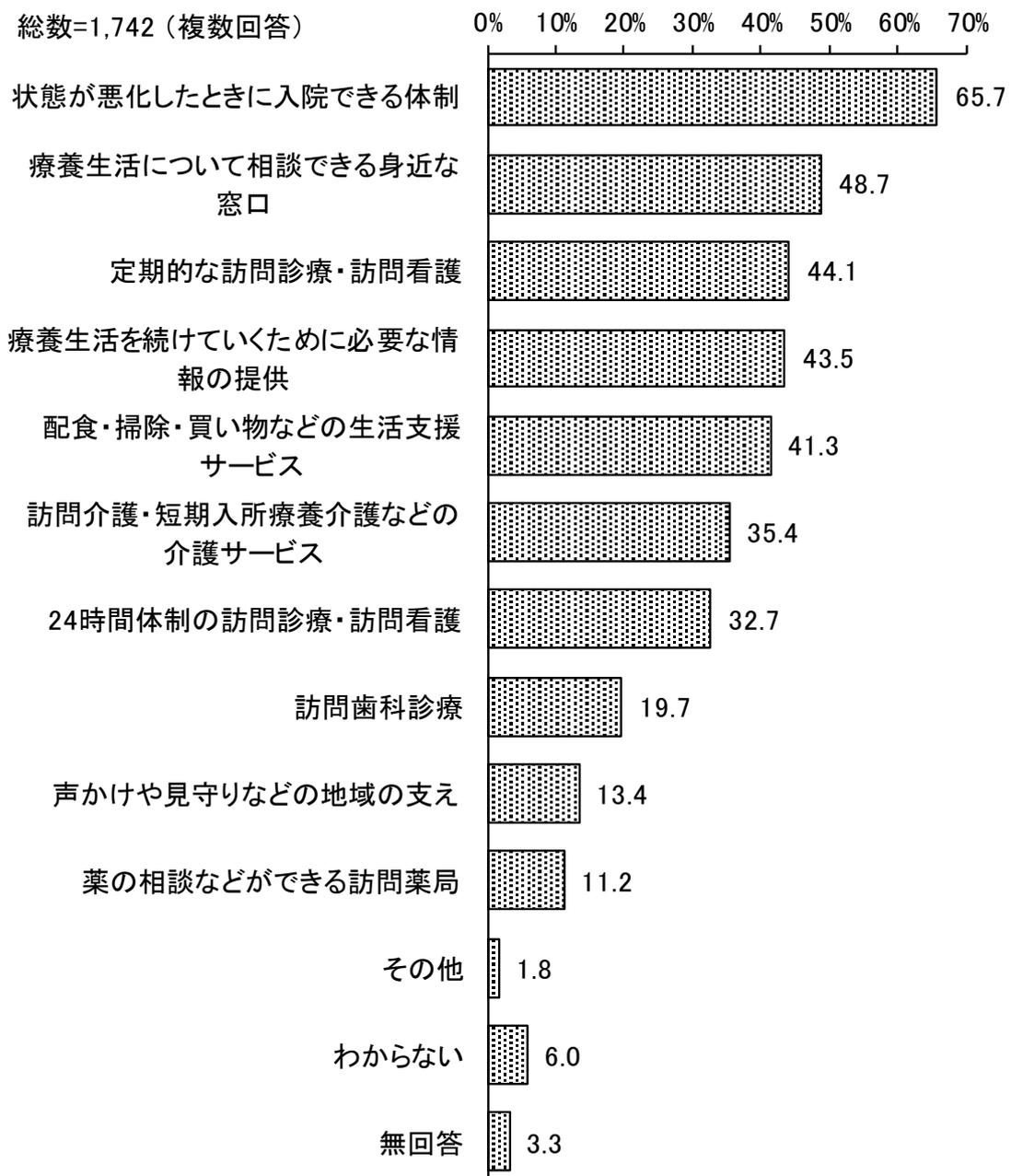
(家族構成が無回答の55人は掲載していない)

(4) 自宅での長期療養に必要なサービスや体制

問 22 介護が必要になったり、病気の後遺症などにより長期間の療養が必要になったときに、あなたは、自宅で生活をするために、どのようなサービスや体制が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

長期間の在宅療養に必要なサービス・体制では、「状態が悪化したときに入院できる体制」の割合が65.7%で最も高く、次いで「療養生活について相談できる身近な窓口」が48.7%、「定期的な訪問診療・訪問看護」が44.1%、「療養生活を続けていくために必要な情報の提供」が43.5%となっている。

図表 7-8-7 自宅での長期療養に必要なサービスや体制

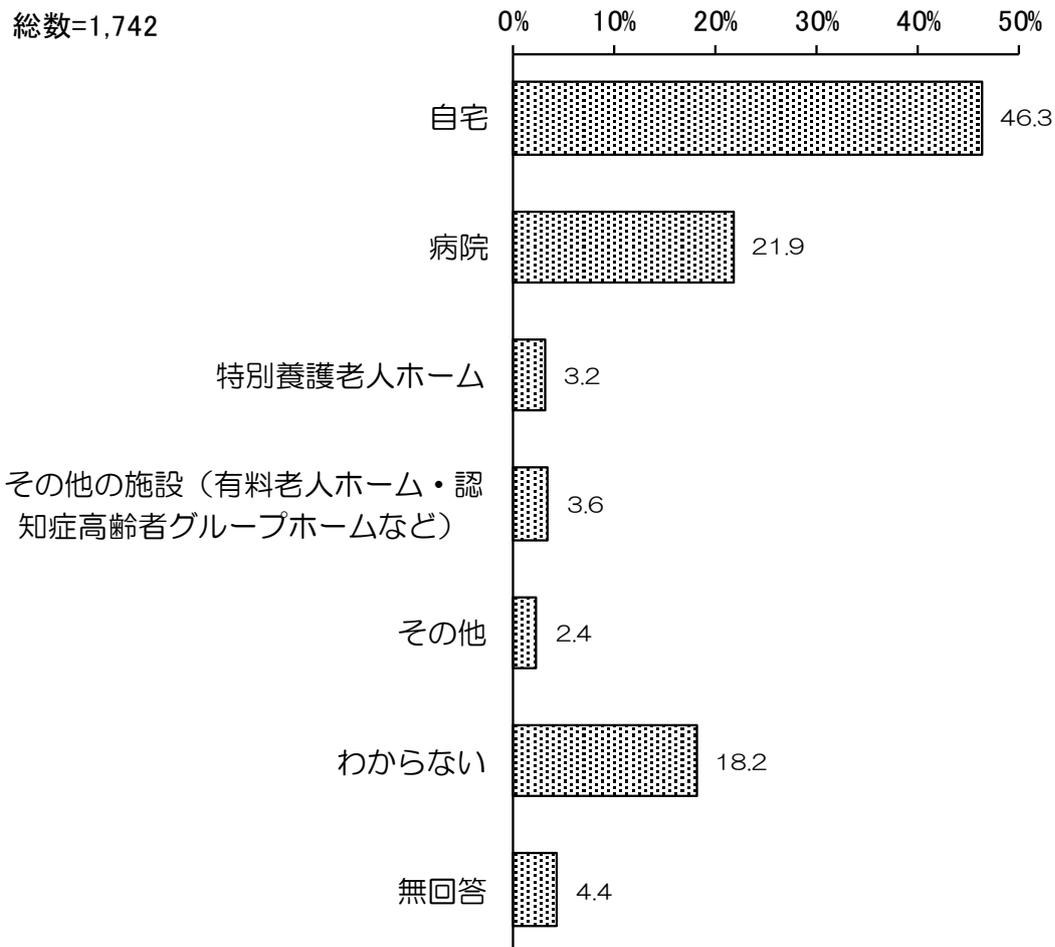


(5) 人生の最期の場所

問 23 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(〇は1つ)

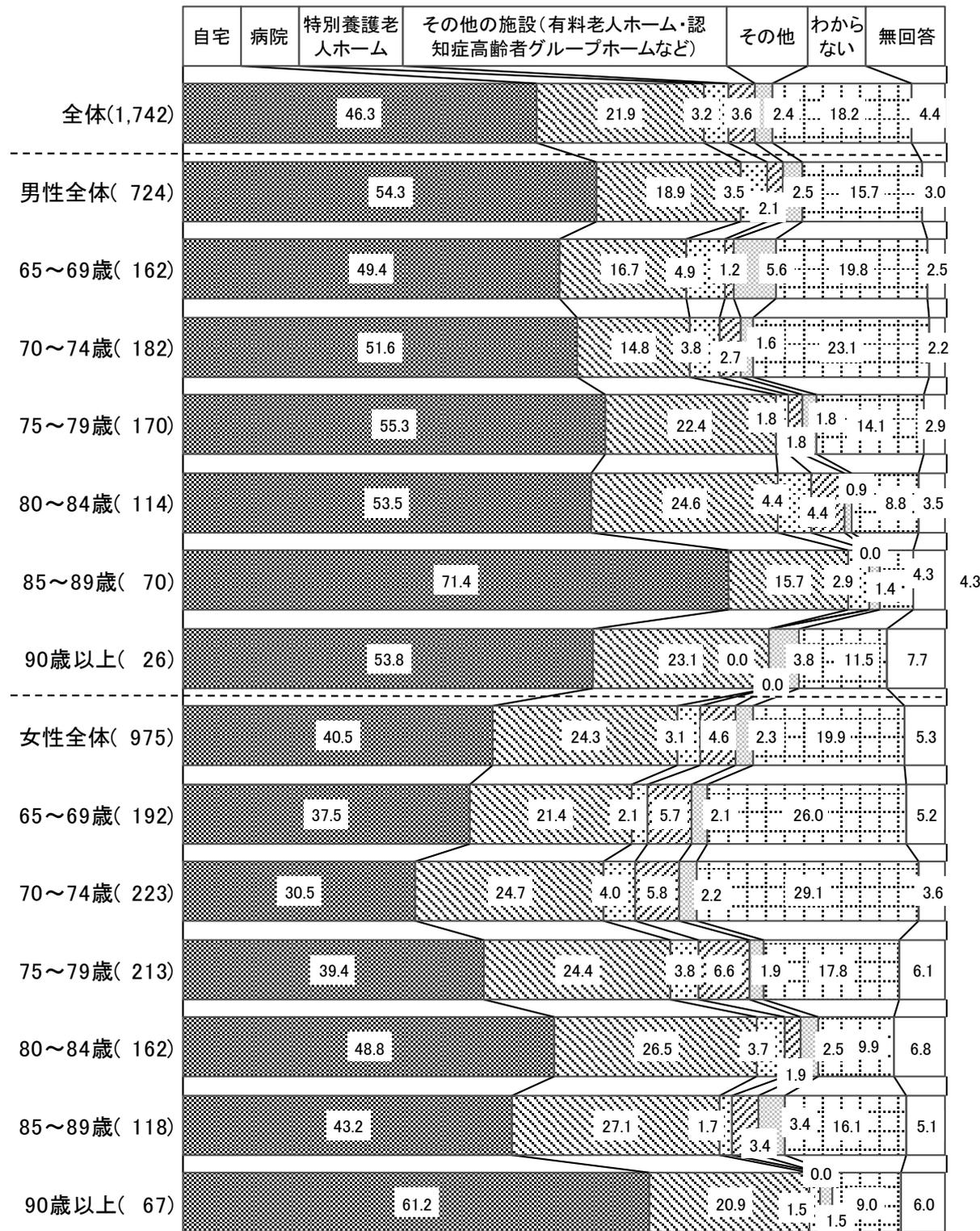
人生の最期の場所では、「自宅」の割合が46.3%で最も高く、次いで「病院」が21.9%、「わからない」が18.2%、「その他の施設（有料老人ホーム・認知症高齢者グループホームなど）」が3.6%となっている。

図表 7-8-8 人生の最期の場所



性別では、「自宅」で男性が54.3%、女性が40.5%と男性の割合が女性を上回っており、「病院」で男性が18.9%、女性が24.3%と女性の割合が男性を上回っている。年齢階級別では、男女ともに、74歳以下の年齢階級で「わからない」の割合が高くなっている。

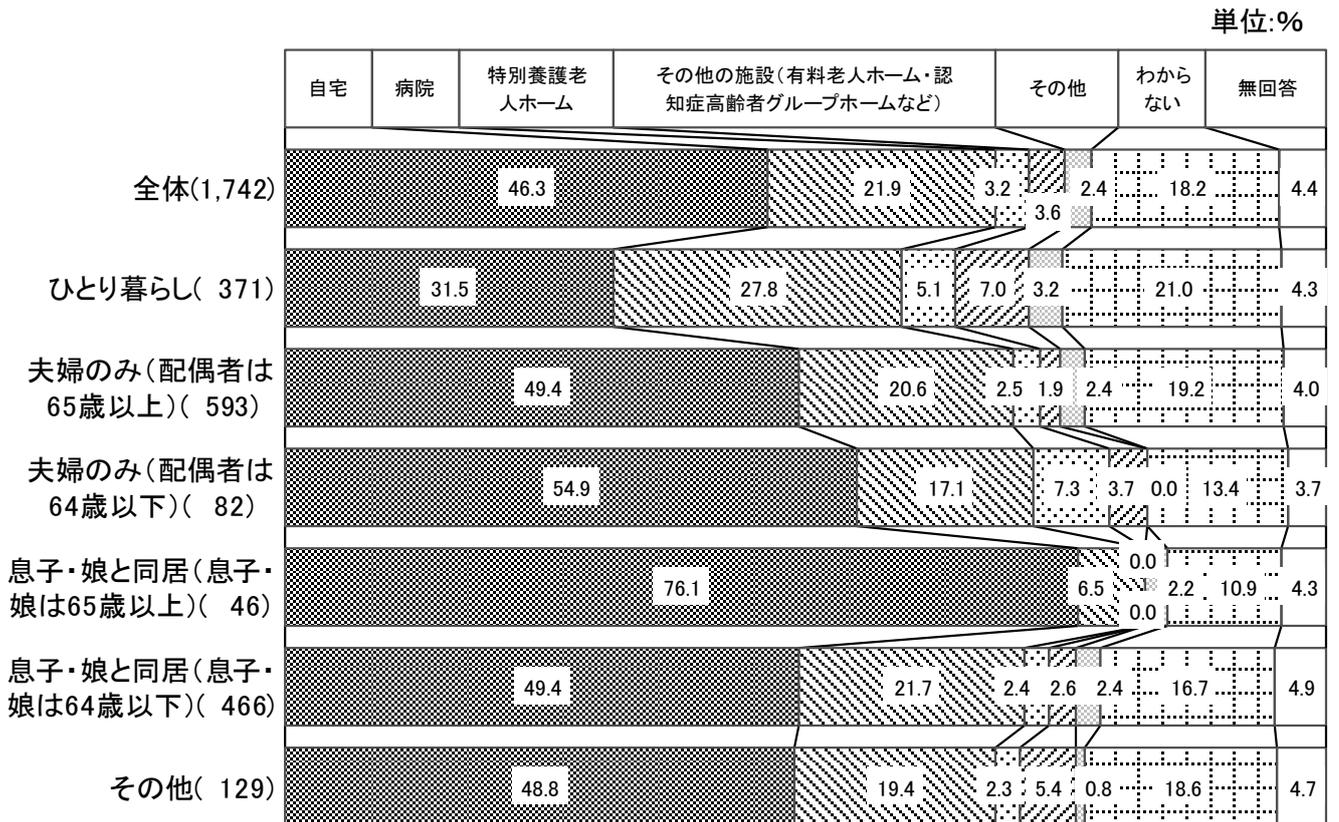
図表 7-8-9 人生の最期の場所（性別・年齢階級別） 単位:%



(性別年齢が無回答の43人は掲載していない)

家族構成別では、すべての家族構成で「自宅」の割合が最も高く、そのほか「病院」、「わからない」が高くなっている。「ひとり暮らし」の家族構成では、「自宅」が31.5%、「病院」が27.8%で、「ひとり暮らし」以外の家族構成と比較して「自宅」の割合が低く、「病院」が高くなっている。

図表 7-8-10 人生の最期の場所（家族構成別）



(家族構成が無回答の55人は掲載していない)

9 権利擁護について

(1) 成年後見制度利用の意向

問 24 認知症などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見」という制度があります。あなたやご家族が、判断能力が十分でなくなってきた場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いませんか。(〇は1つ)

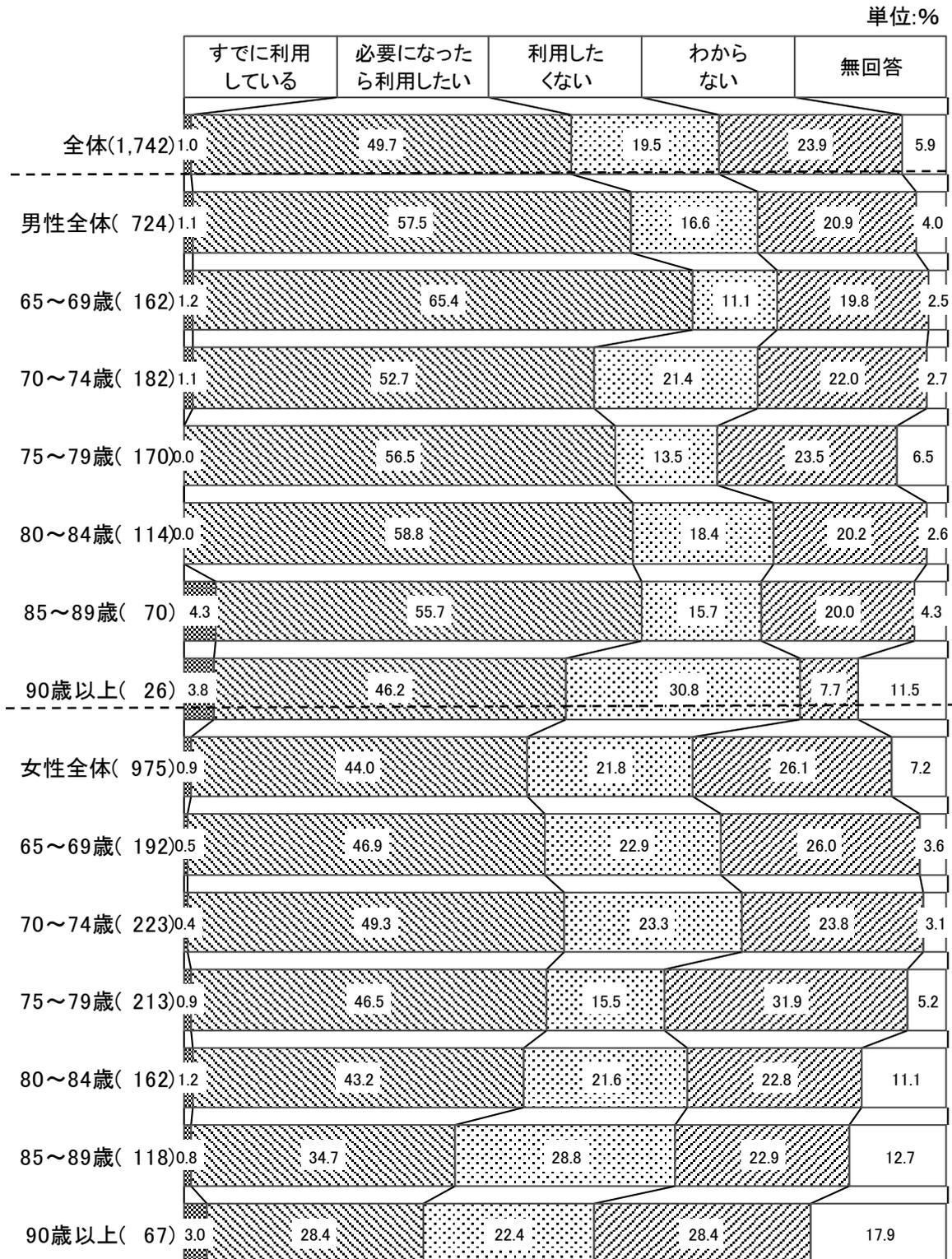
成年後見制度の利用意向では、「必要になったら利用したい」の割合が49.7%で最も高く、次いで「わからない」が23.9%、「利用したくない」が19.5%、「すでに利用している」が1.0%となっている。

図表 7-9-1 成年後見制度利用の意向



性別では、全体で最も割合の高い「必要になったら利用したい」で、男性が57.5%、女性が44.0%と男性の割合が女性を大きく上回っており、年齢階級別においても、同様の傾向となっている。

図表 7-9-2 成年後見制度利用の意向（性別・年齢階級別）



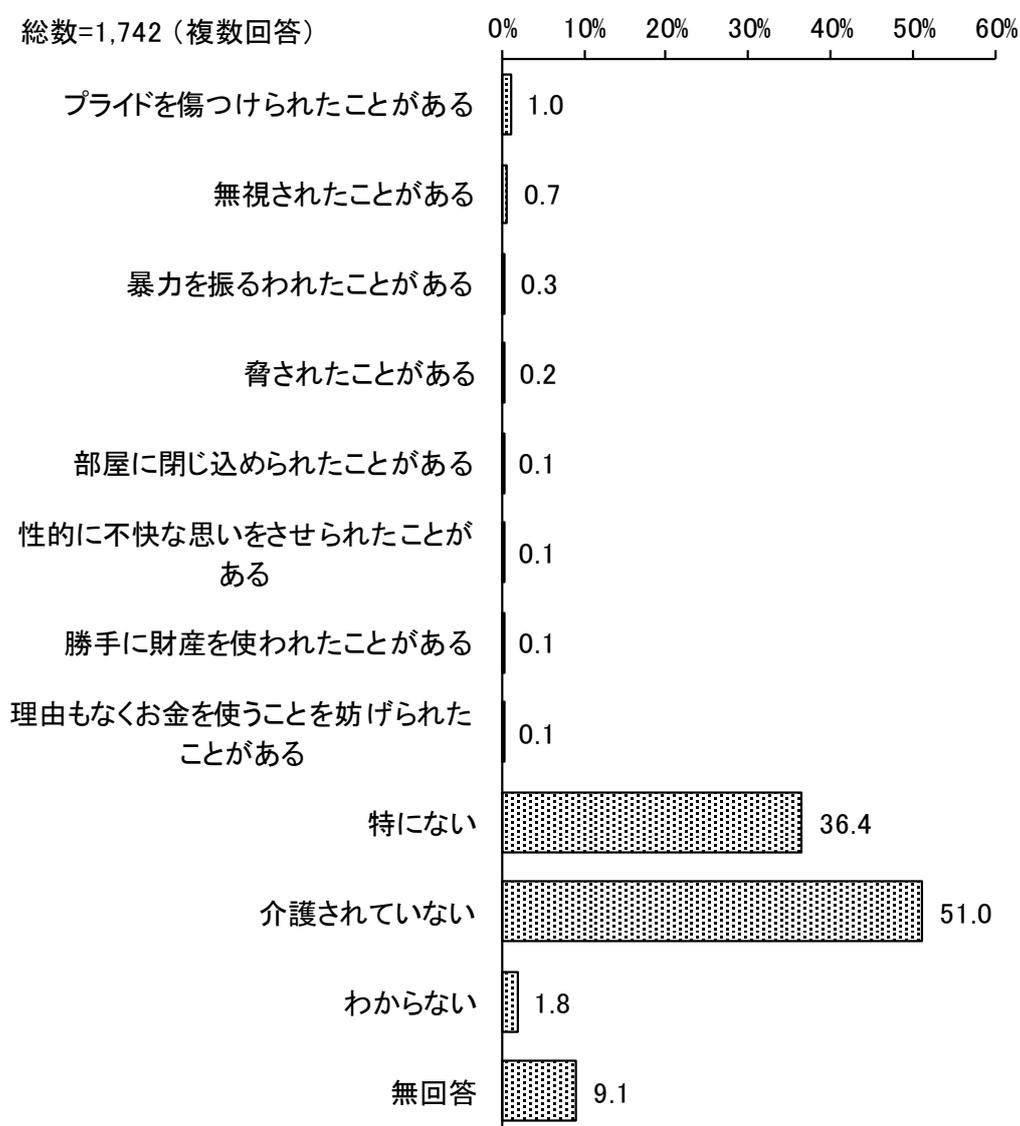
(男女年齢が無回答の43人は掲載していない)

(2) 介護者からの虐待

問 25 あなたは、介護者（家族、介護サービス事業者など）から次のようなことをされたことがありますか。（〇はいくつでも）

介護者からの虐待では、「プライドを傷つけられたことがある」の割合が1.0%、「無視されたことがある」が0.7%、「暴力を振るわれたことがある」が0.3%、「脅されたことがある」が0.2%などとなっている。「特にない」と「介護されていない」を合わせた、介護者からの虐待を経験していない割合が87.4%となっている。

図表 7-9-3 介護者からの虐待

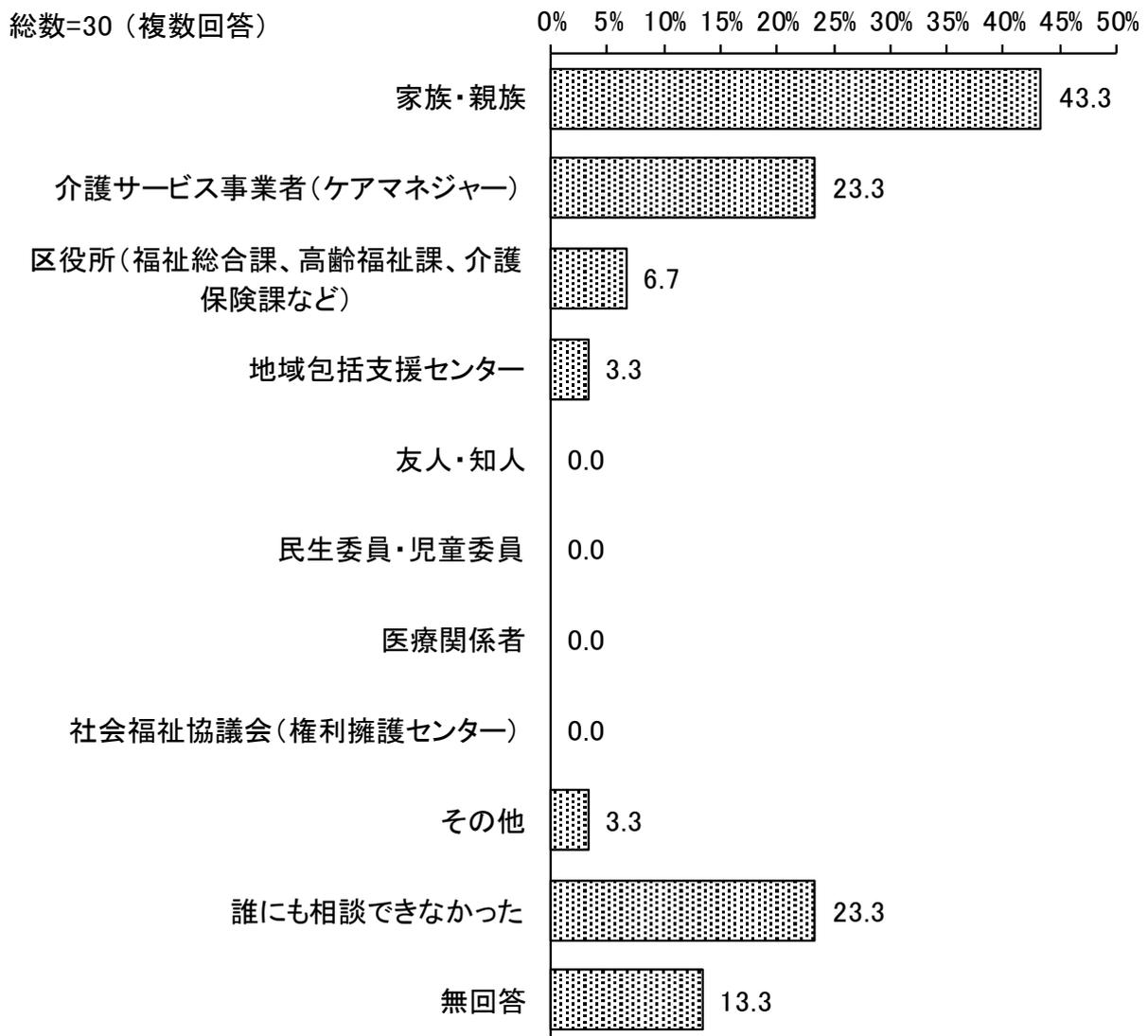


(3) 虐待を受けたときの相談相手

問 25-1 これらの行為を受けたとき、誰（どのようなところ）に相談しましたか。（〇はいくつでも）

介護者からの虐待の相談先としては、「家族・親族」の割合が43.3%で最も高く、次いで「介護サービス事業者（ケアマネジャー）」と「誰にも相談できなかった」が23.3%、「区役所（福祉総合課、高齢福祉課、介護保険課など）」が6.7%、「地域包括支援センター」が3.3%となっている。

図表 7-9-4 虐待を受けたときの相談相手



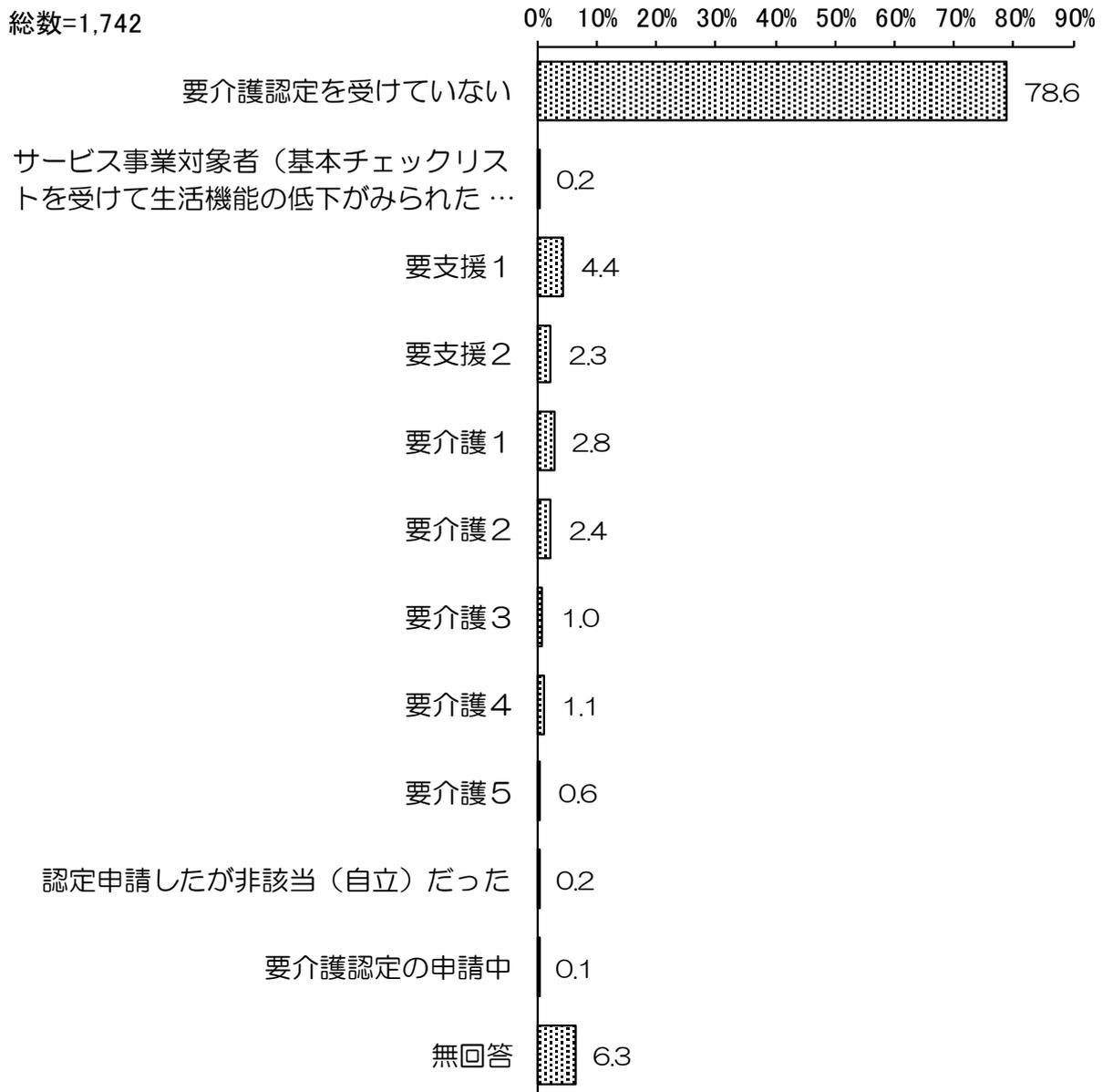
10 要介護認定（要支援認定）や介護保険料について

（１）要介護認定（要支援認定）の状況

問 26 あなたは、現在、介護保険の要介護認定（要支援認定）を受けていますか。（○は1つ）

要介護（要支援）認定状況では、「要介護認定を受けていない」の割合が78.6%で最も高く、次いで「要支援1」が4.4%、「要介護1」が2.8%、「要介護2」が2.4%などとなっている。

図表 7-10-1 要介護認定（要支援認定）の状況



(2) 介護保険料についての考え

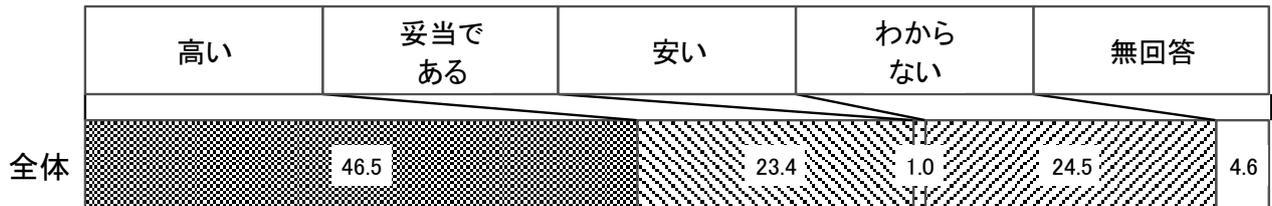
問 27 介護保険料について、あなたの考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)

介護保険料についての考えでは、「高い」の割合が46.5%で最も高く、次いで「わからない」が24.5%、「妥当である」が23.4%となっている。

図表 7-10-2 介護保険料についての考え

総数=1,742

単位:%

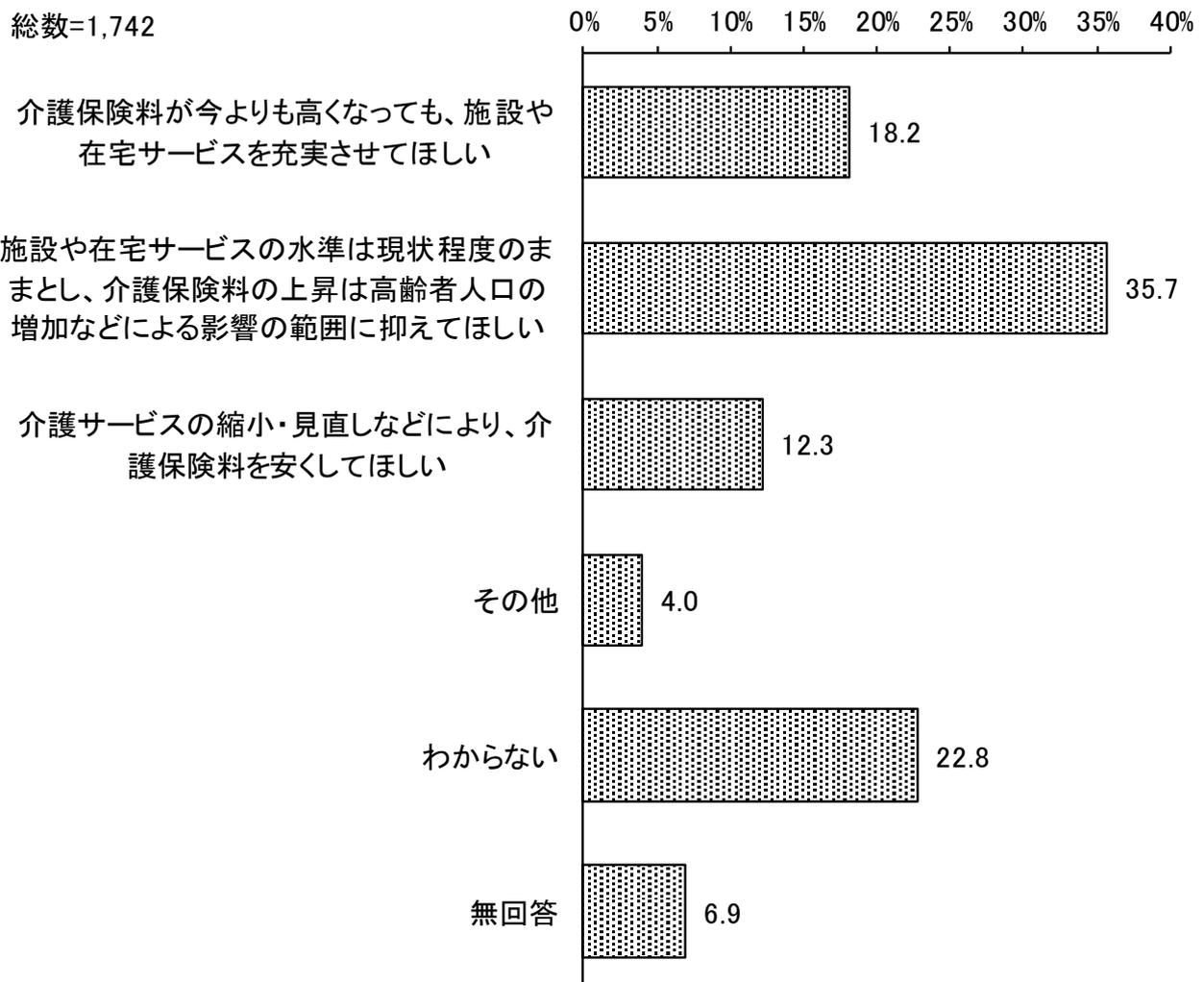


(3) 介護サービスと介護保険料の関係についての考え

問 28 介護サービスと介護保険料の関係について、あなたの考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)

介護サービスと介護保険料の関係についての考えでは、「施設や在宅サービスの水準は現状程度のままとし、介護保険料の上昇は高齢者人口の増加などによる影響の範囲に抑えてほしい」の割合が35.7%で最も高く、次いで「わからない」が22.8%、「介護保険料が今よりも高くなっても、施設や在宅サービスを充実させてほしい」が18.2%、「介護サービスの縮小・見直しなどにより、介護保険料を安くしてほしい」が12.3%となっている。

図表 7-10-3 介護サービスと介護保険料の関係についての考え



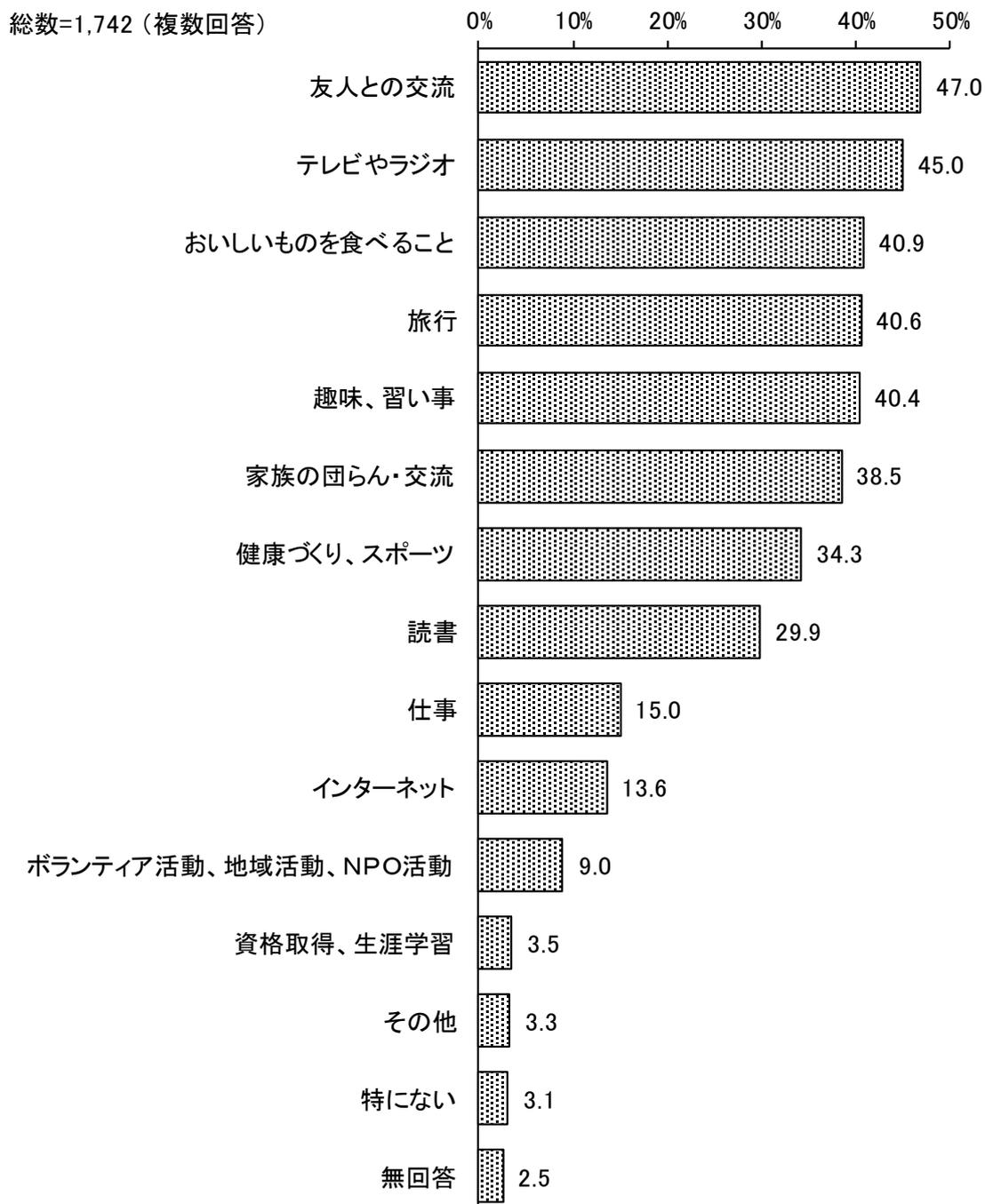
11 生きがい、社会参加について

(1) 楽しみや生きがい

問 29 あなたにとっての楽しみや生きがいは、どのようなことですか。(〇はいくつでも)

楽しみや生きがいでは、「友人との交流」の割合が47.0%で最も高く、次いで「テレビやラジオ」が45.0%、「おいしいものを食べること」が40.9%、「旅行」が40.6%、「趣味、習い事」が40.4%などとなっている。

図表 7-11-1 楽しみや生きがい

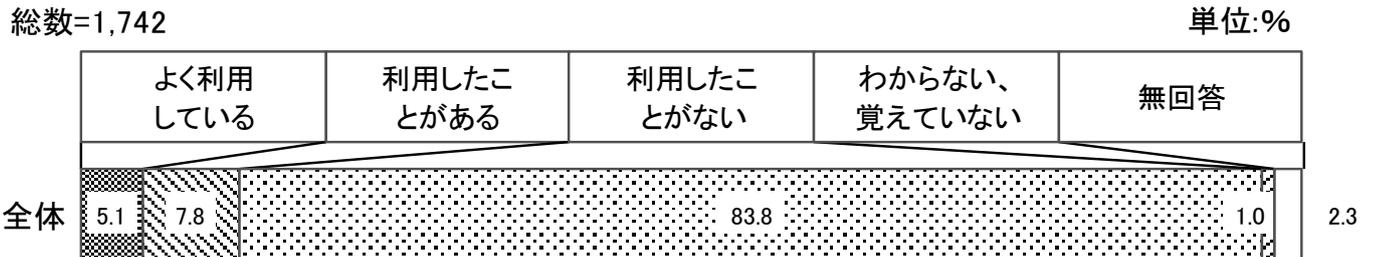


(2) 「老人いこいの家」の利用状況

問 30 目黒区では、区内 24 か所に「老人いこいの家」を設置し、高齢者の生きがづくり、健康づくり、仲間づくりなどのための事業を行っています。あなたは、これまでに「老人いこいの家」を利用したことがありますか。(〇は1つ)

「老人いこいの家」の利用では、「利用したことがない」の割合が83.8%で最も高く、次いで「利用したことがある」が7.8%、「よく利用している」が5.1%、「わからない、覚えていない」が1.0%となっている。

図表 7-11-2 「老人いこいの家」の利用状況

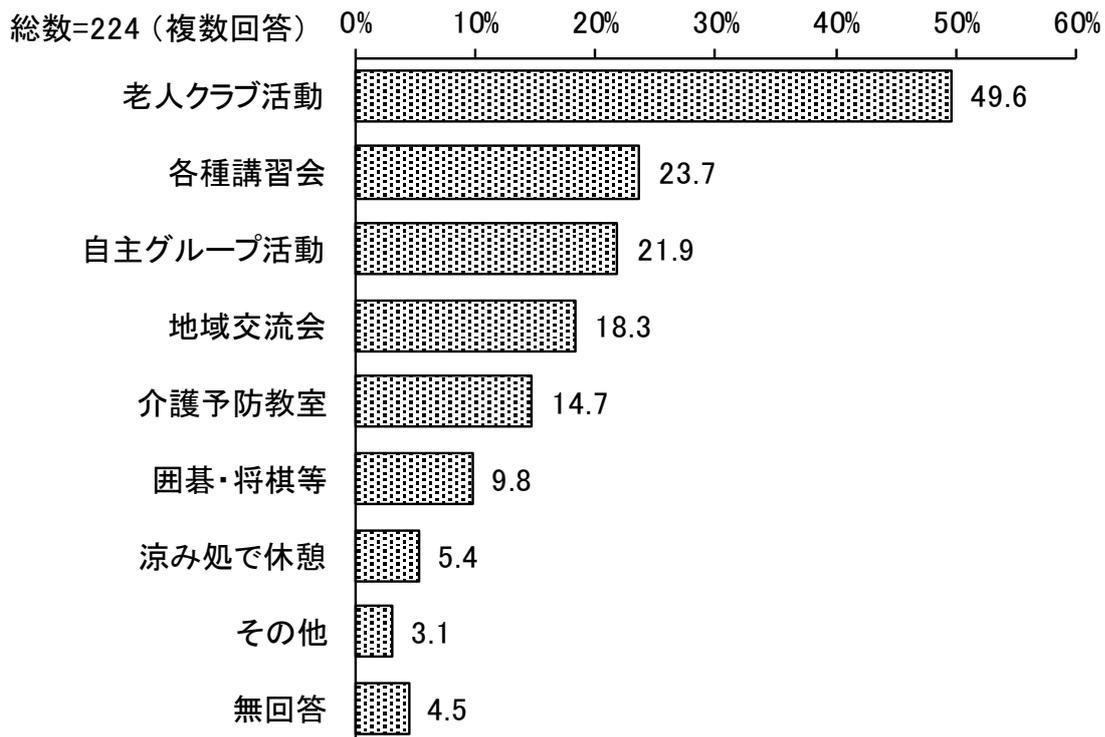


(3) 「老人いこいの家」利用の事業

問 30-1 利用した事業はどのようなものですか。(〇はいくつでも)

利用した事業では、「老人クラブ活動」の割合が49.6%で最も高く、次いで「各種講習会」が23.7%、「自主グループ活動」が21.9%、「地域交流会」が18.3%、「介護予防教室」が14.7%などとなっている。

図表 7-11-3 「老人いこいの家」利用の事業

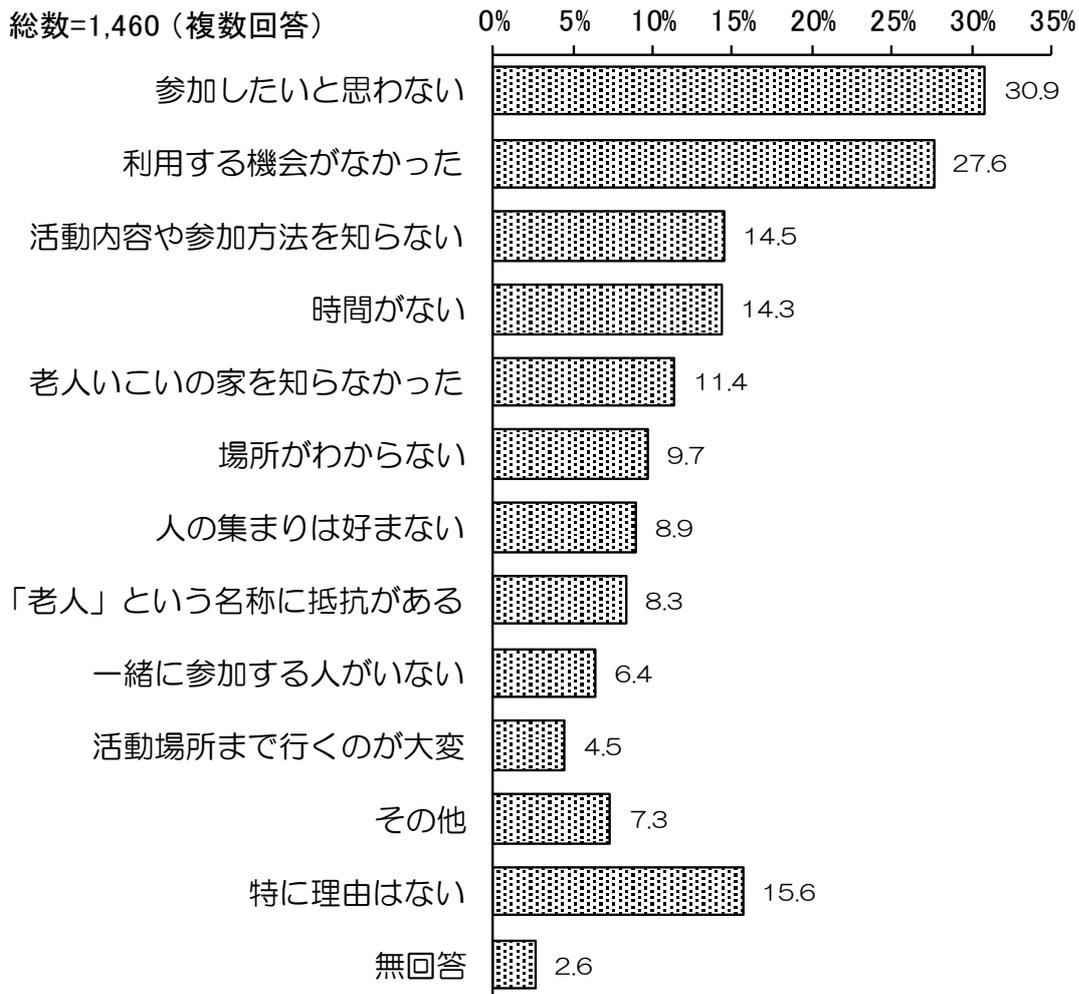


(4)「老人いきいの家」を利用しない理由

問 30-2 「老人いきいの家」を利用したことがない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

利用しない理由では、「参加したいと思わない」の割合が30.9%で最も高く、次いで「利用する機会がなかった」が27.6%、「特に理由はない」が15.6%、「活動内容や参加方法を知らない」が14.5%、「時間がない」が14.3%などとなっている。

図表 7-11-4 「老人いきいの家」を利用しない理由



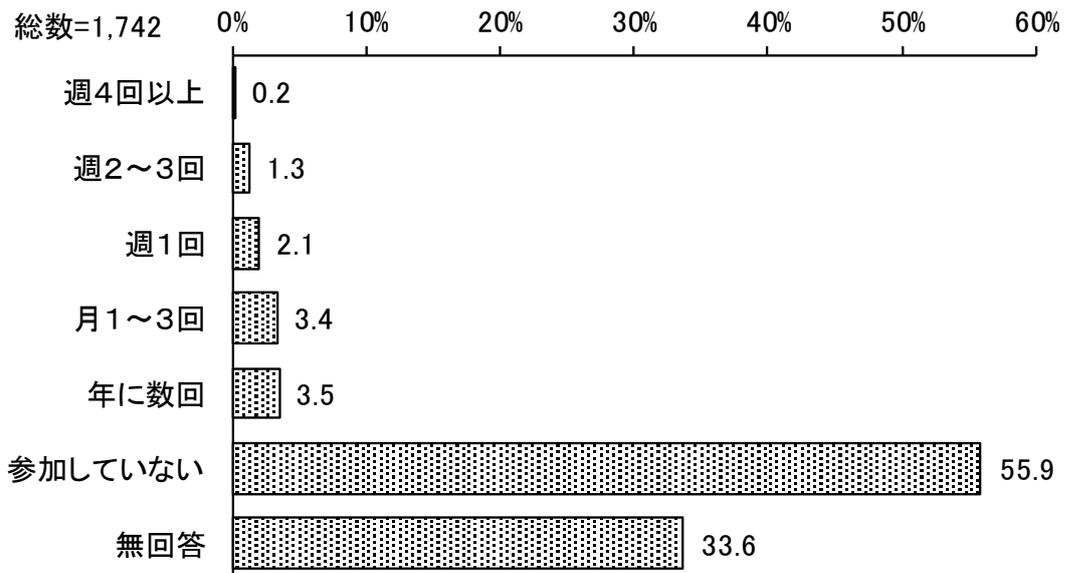
(5) 会・グループ等への参加頻度

問 31 あなたは、以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(それぞれ○は1つ)

【ボランティアのグループ】

「参加していない」の割合が55.9%で最も高く、次いで「年に数回」が3.5%、「月1～3回」が3.4%、「週1回」が2.1%などとなっている。

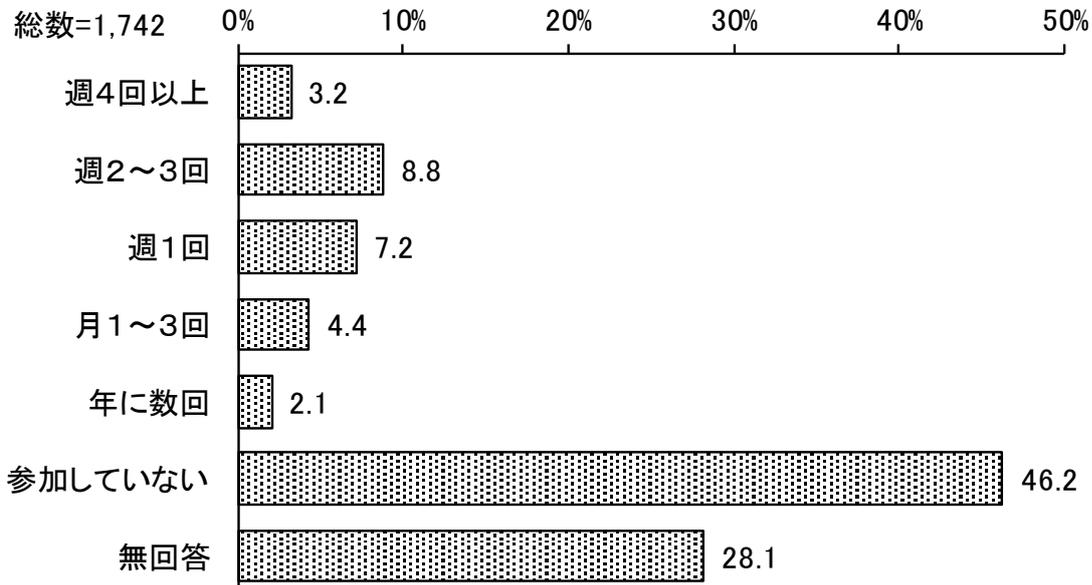
図表 7-11-5 ボランティアのグループへの参加頻度



【スポーツ関係のグループやクラブ】

「参加していない」の割合が46.2%で最も高く、次いで「週2～3回」が8.8%、「週1回」が7.2%、「月1～3回」が4.4%などとなっている。

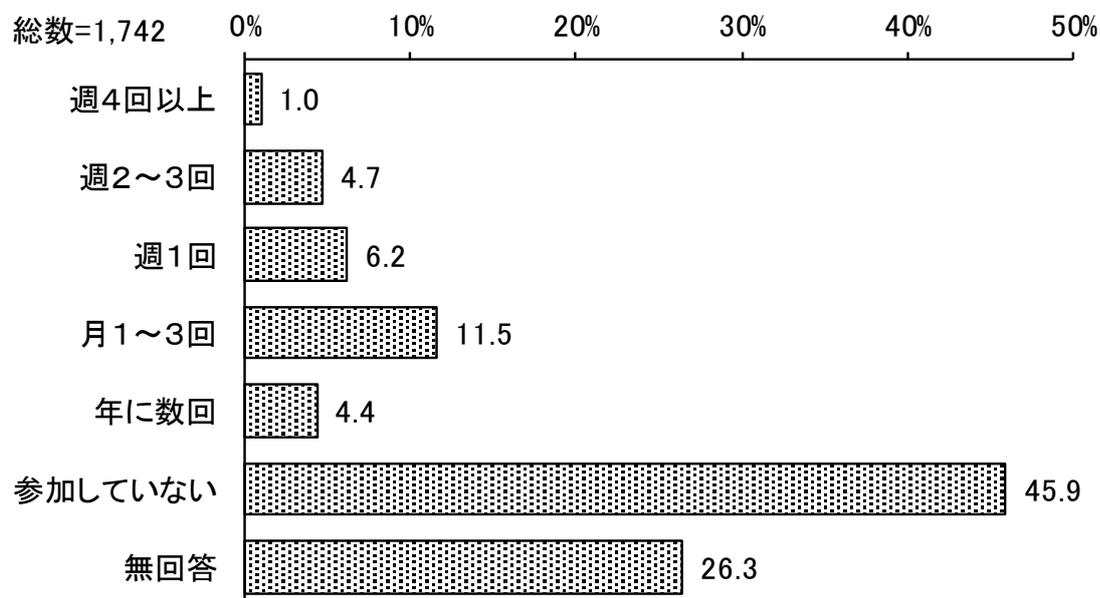
図表 7-11-6 スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度



【趣味関係のグループ】

「参加していない」の割合が45.9%で最も高く、次いで「月1～3回」が11.5%、「週1回」が6.2%、「週2～3回」が4.7%などとなっている。

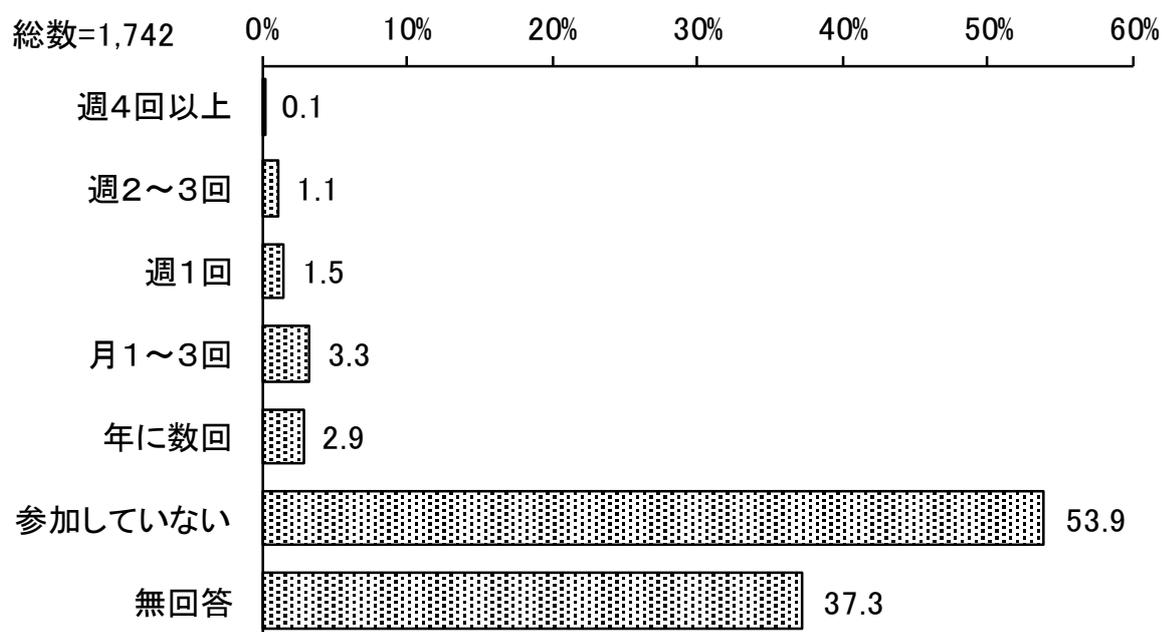
図表 7-11-7 趣味関係のグループへの参加頻度



【学習・教養サークル】

「参加していない」の割合が53.9%で最も高く、次いで「月1～3回」が3.3%、「年に数回」が2.9%、「週1回」が1.5%などとなっている。

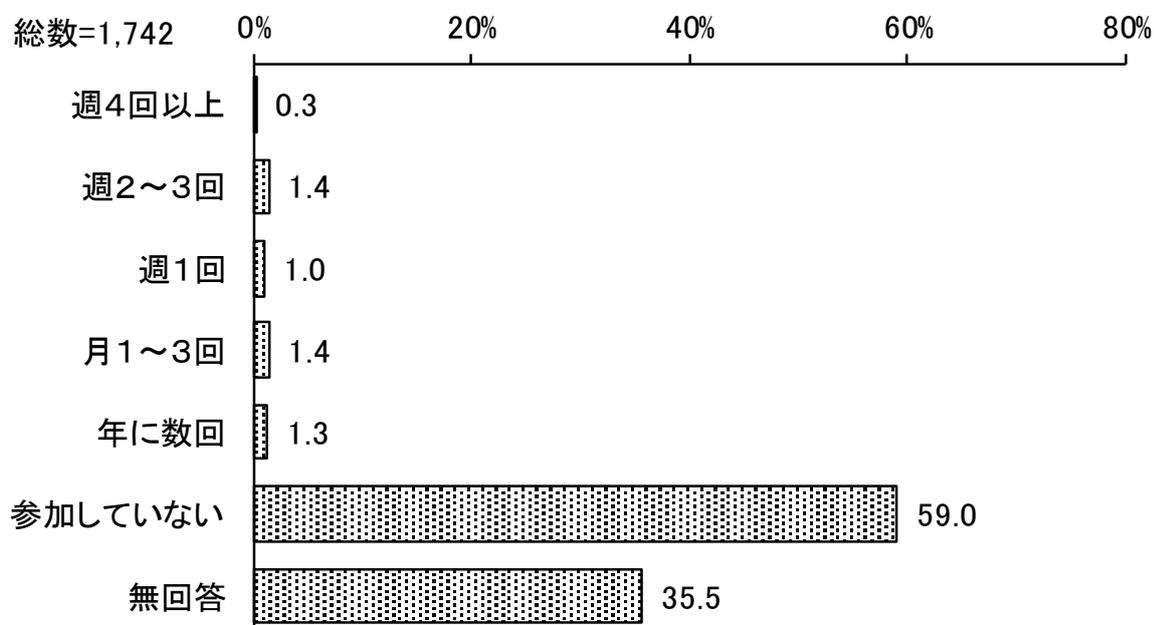
図表 7-11-8 学習・教養サークルへの参加頻度



【老人クラブ】

「参加していない」の割合が59.0%で最も高く、次いで「週2～3回」と「月1～3回」が1.4%、「年に数回」が1.3%などとなっている。

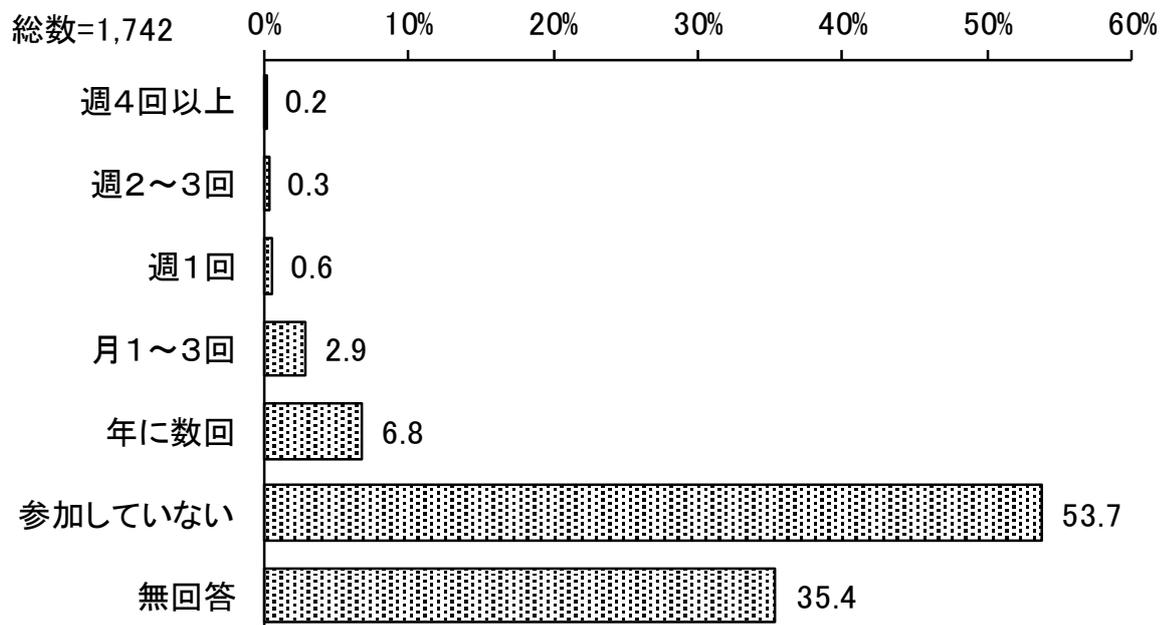
図表 7-11-9 老人クラブへの参加頻度



【町会・自治会】

「参加していない」の割合が53.7%で最も高く、次いで「年に数回」が6.8%、「月1～3回」が2.9%、「週1回」が0.6%などとなっている。

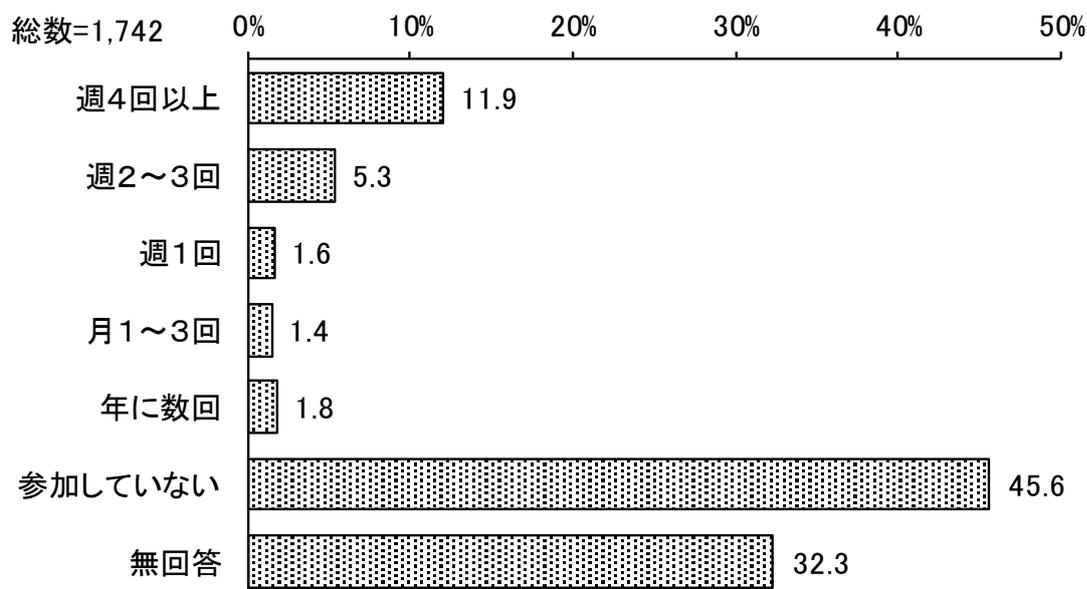
図表 7-11-10 町会・自治会への参加頻度



【収入のある仕事】

「参加していない」の割合が45.6%で最も高く、次いで「週4回以上」が11.9%、「週2～3回」が5.3%、「年に数回」が1.8%などとなっている。

図表 7-11-11 収入のある仕事への参加頻度

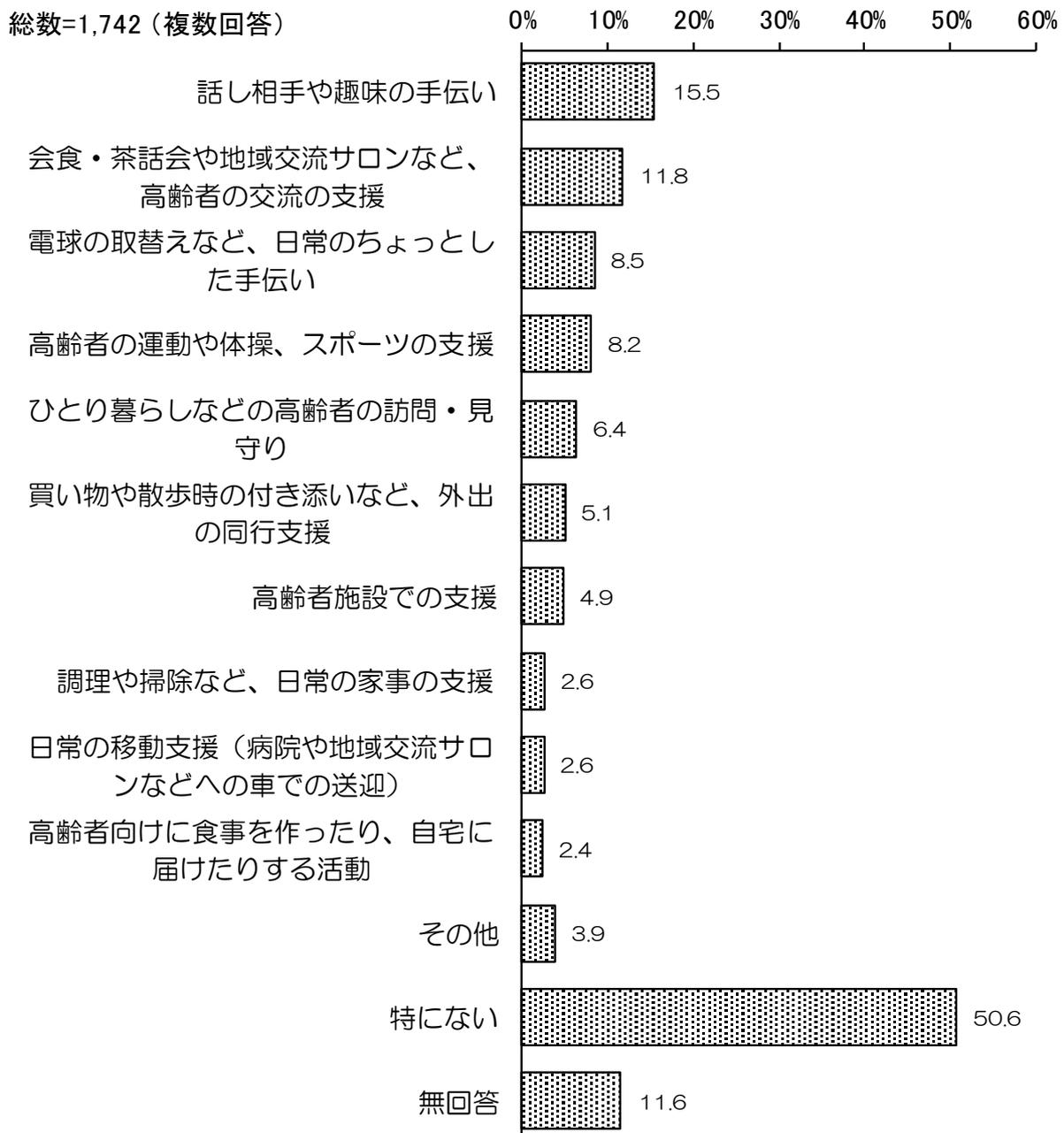


(6) 参加したい、参加してもよいボランティア活動

問 32 以下のようなボランティア活動で、参加したい、または参加してもよいものはどれですか。(〇はいくつでも)

参加したい、参加してもよいボランティア活動では、「特にない」の割合が50.6%で最も高く、次いで「話し相手や趣味の手伝い」が15.5%、「会食・茶話会や地域交流サロンなど、高齢者の交流の支援」が11.8%、「電球の取替えなど、日常のちょっとした手伝い」が8.5%、「高齢者の運動や体操、スポーツの支援」が8.2%などとなっている。

図表 7-11-12 参加したい、参加してもよいボランティア活動



12 就労意向について

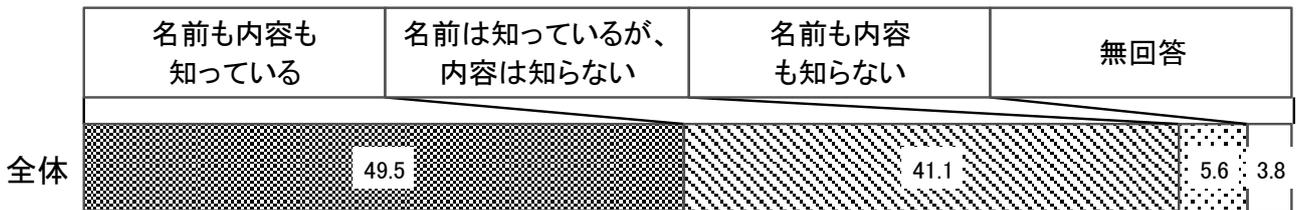
(1) 「シルバー人材センター」の認知度

問 33 あなたは、「シルバー人材センター」をご存知ですか。(〇は1つ)

シルバー人材センターの認知度では、「名前も内容も知っている」の割合が49.5%で最も高く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」が41.1%、「名前も内容も知らない」が5.6%となっている。

図表 7-12-1 「シルバー人材センター」の認知度

総数=1,742 単位:%



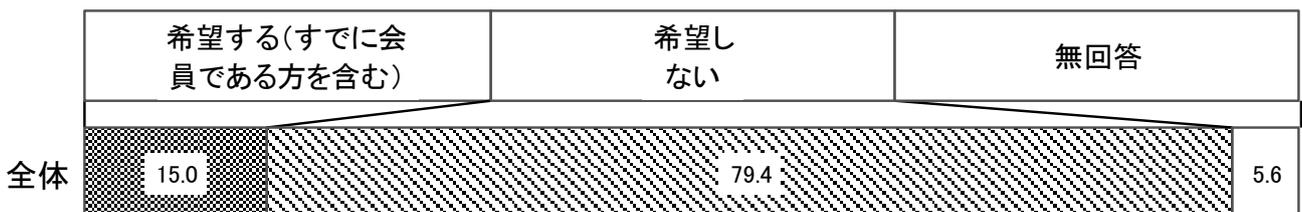
(2) シルバー人材センターでの就労意向

問 34 あなたは、今後、シルバー人材センターの会員となり、あなたの知識・経験及び希望に添った臨時的かつ短期的な就業を希望しますか。(〇は1つ)

シルバー人材センターでの就労意向では、「希望しない」の割合が79.4%、「希望する(すでに会員である方を含む)」の15.0%を大きく上回っている。

図表 7-12-2 シルバー人材センターでの就労意向

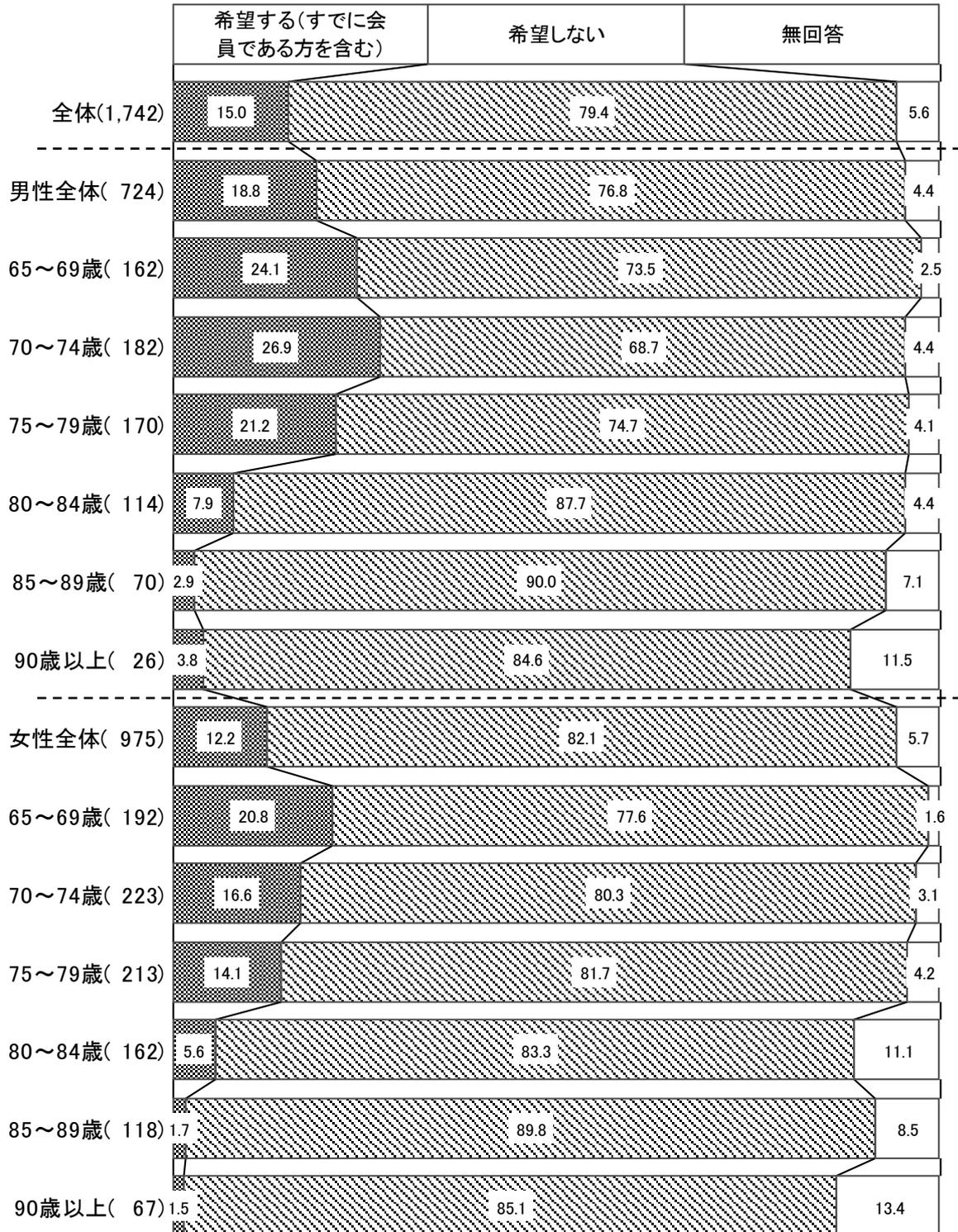
総数=1,742 単位:%



性別では、「希望する（すでに会員である方を含む）」で、男性が18.8%、女性が12.2%と男性の割合が女性を上回っている。

年齢別では、75歳以上の年齢階級で加齢とともに就労意向が低い傾向となっている。

図表 7-12-3 シルバー人材センターでの就労意向（性別・年齢階級別）
単位:%



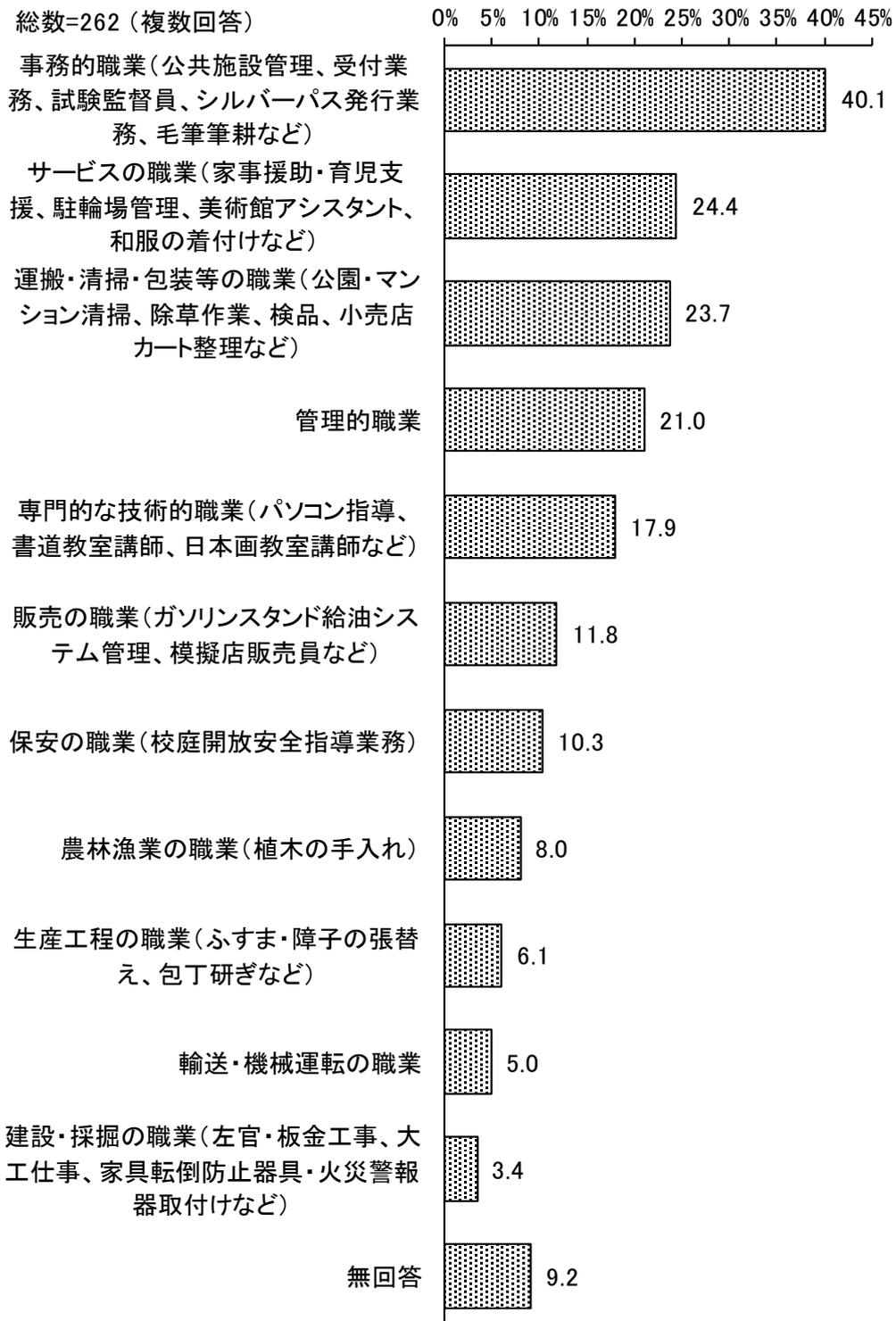
(性別年齢が無回答の43人は掲載していない)

(3) シルバー人材センターで希望する仕事

問 34-1 以下は、現在、シルバー人材センターが請け負っている仕事です。あなたが就労を希望する仕事はどれですか。(〇はいくつでも)

「事務的職業」の割合が40.1%で最も高く、次いで「サービスの職業」が24.4%、「運搬・清掃・包装等の職業」が23.7%、「管理的職業」が21.0%などとなっている。

図表 7-12-4 シルバー人材センターで希望する仕事

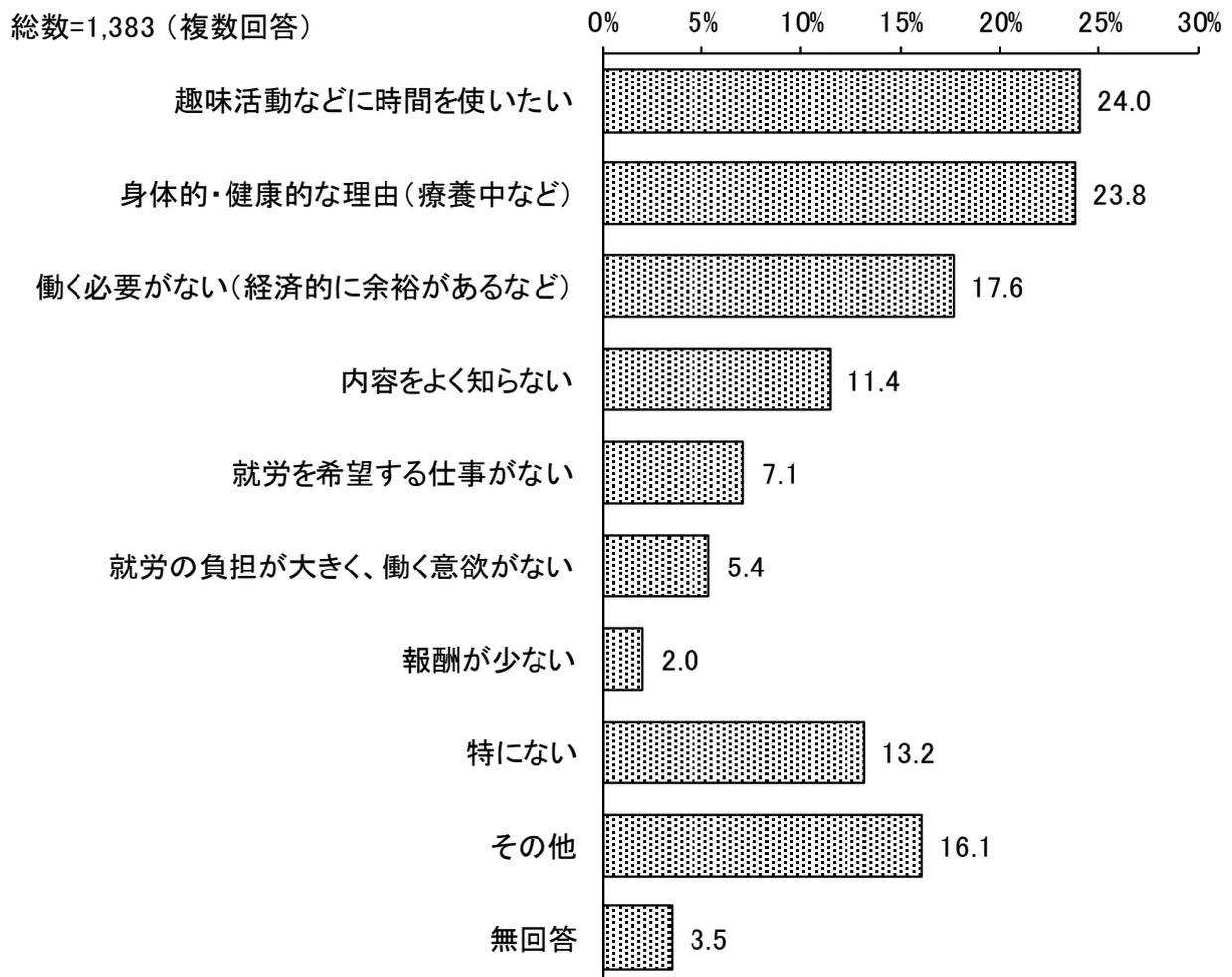


(4) シルバー人材センターでの仕事を希望しない理由

問 34-2 あなたが就労を希望しない理由はどれですか。(〇はいくつでも)

シルバー人材センターでの仕事を希望しない理由では、「趣味活動などに時間を使いたい」の割合が24.0%で最も高く、次いで「身体的・健康的な理由(療養中など)」が23.8%、「働く必要がない(経済的に余裕があるなど)」が17.6%、「内容をよく知らない」が11.4%などとなっている。

図表 7-12-5 シルバー人材センターでの仕事を希望しない理由



(5) 就労を希望する仕事

問 35 シルバー人材センターが請け負っている仕事以外で、あなたが就労を希望する仕事がありましたら、お聞かせください。(自由記述)

シルバー人材センターが請け負っている仕事以外の就労を希望する仕事では、全体で71件の回答があった中で、「通訳・翻訳・英語学習支援(インドネシア語も含む)」が9件で最も多く、次いで「出版・編集・執筆」が3件、「ピアノ教室」と「ガーデニング」が2件あった。そのほか、「家庭の電気工事」、「家電製品・おもちゃの修理」、「洋服リフォーム」など特殊技能や資格を活かした仕事についての回答もあった。

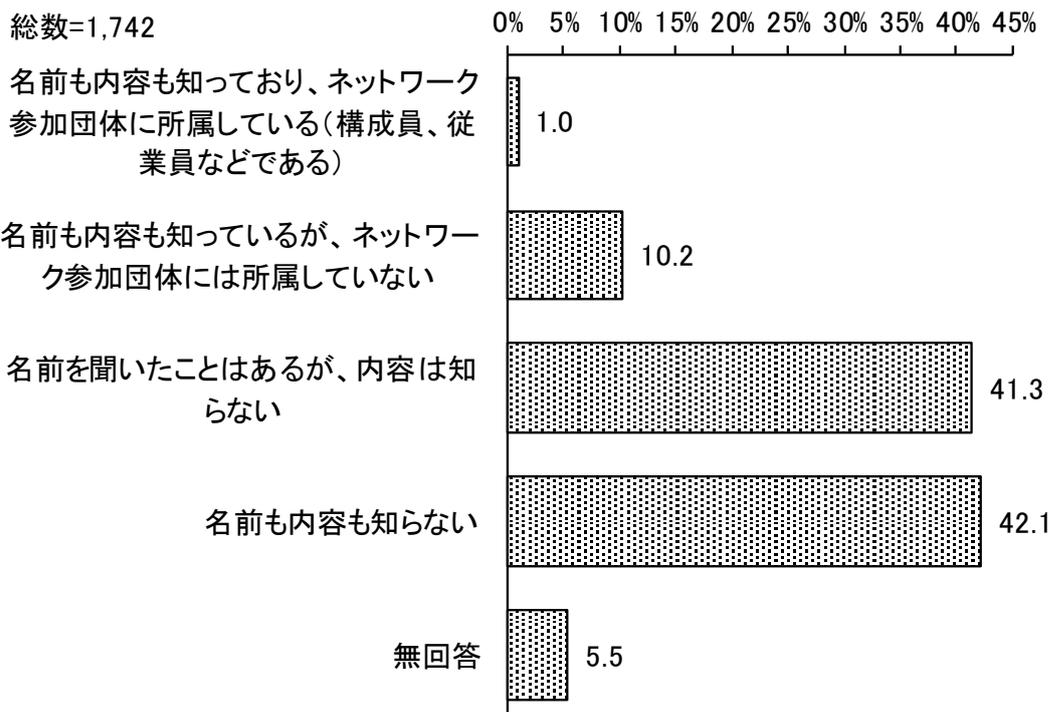
13 地域での見守りや支え合いについて

(1) 見守りネットワークの認知度

問 36 目黒区では、事業者や団体などが仕事や活動を通して地域の高齢者などをゆるやかに見守る「見守りネットワーク」を実施しています。あなたは「見守りネットワーク」をご存じですか。(〇は1つ)

「見守りネットワーク」の認知度では、「名前も内容も知らない」の割合が42.1%で最も高く、次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が41.3%、「名前も内容も知っているが、ネットワーク参加団体には所属していない」が10.2%、「名前も内容も知っており、ネットワーク参加団体に所属している(構成員、従業員などである)」が1.0%となっている。

図表 7-13-1 見守りネットワークの認知度

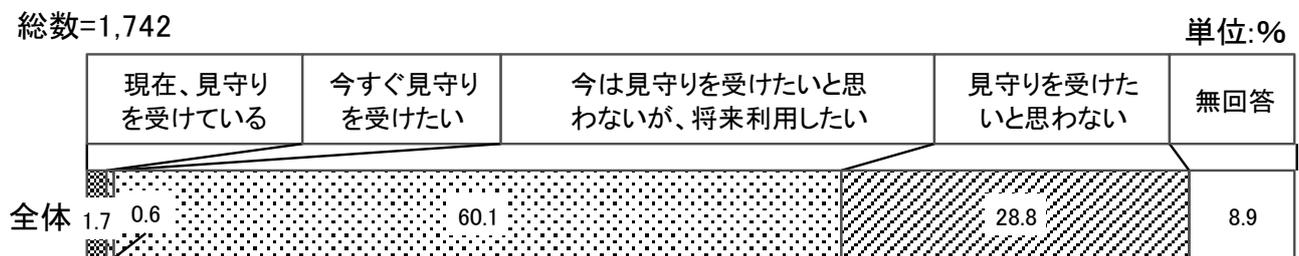


(2)「高齢者見守り訪問事業」の利用意向及び見守りボランティア登録意向
 問 37 目黒区では、見守りを希望するひとり暮らしなどの高齢者を、見守りボランティアが定期的に訪問または戸外から見守る「高齢者見守り訪問事業」を実施しています。

(1) あなたは、このような見守りを受けたいと思いますか。(○は1つ)

「高齢者見守り訪問事業」の利用意向では、「今は見守りを受けたいと思わないが、将来利用したい」の割合が60.1%で最も高く、次いで「見守りを受けたいと思わない」が28.8%となっている。

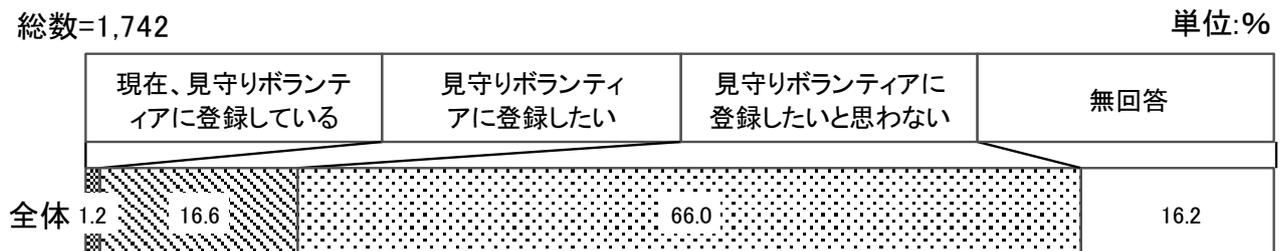
図表 7-13-2 「高齢者見守り訪問事業」の利用意向



(2) あなたは、このような見守りボランティアに登録したいと思いますか。(○は1つ)

見守りボランティアの登録意向では、「見守りボランティアに登録したいと思わない」の割合が66.0%で最も高く、次いで「見守りボランティアに登録したい」が16.6%、「現在、見守りボランティアに登録している」が1.2%となっている。

図表 7-13-3 見守りボランティア登録意向



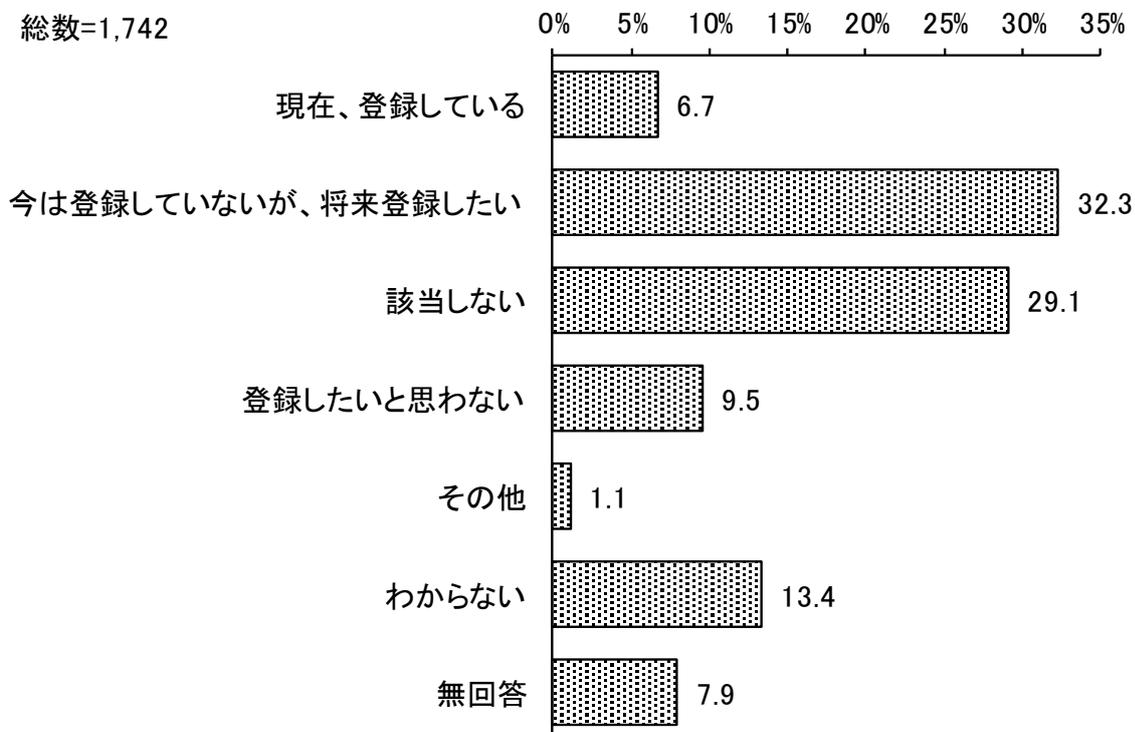
14 目黒区の高齢者への生活支援サービスなどについて

(1) ひとり暮らし等高齢者登録の有無

問 38 目黒区では、ひとり暮らしの方や高齢者のみの世帯の方に緊急連絡先、電話番号などを登録していただき、緊急時や災害時の安否確認などに対応するため、「ひとり暮らし等高齢者登録」を行っています。あなたは、現在、「ひとり暮らし等高齢者登録」に登録していますか。(〇は1つ)

ひとり暮らし等高齢者登録の有無では、「今は登録していないが、将来登録したい」の割合が32.3%で最も高く、次いで「該当しない」が29.1%、「わからない」が13.4%、「登録したいと思わない」が9.5%などとなっている。

図表 7-14-1 ひとり暮らし等高齢者登録の有無

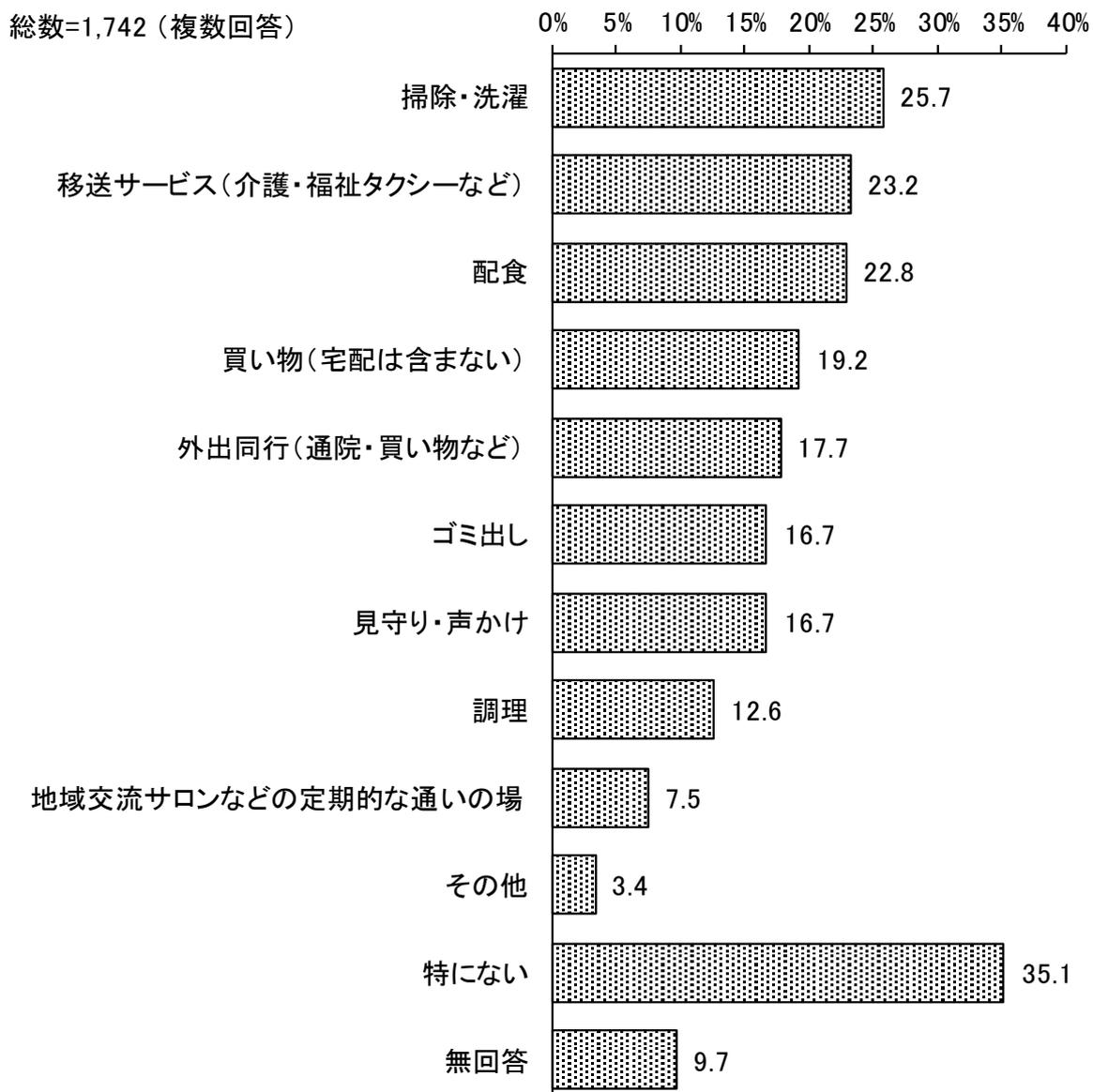


(2) 自宅での生活を続けるために必要な支援やサービス

問 39 あなたは、自宅での生活を続けるためには、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

自宅での生活を続けるために必要な支援やサービスでは、「特にない」の割合が35.1%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」が25.7%、「移送サービス(介護・福祉タクシーなど)」が23.2%、「配食」が22.8%、「買い物(宅配は含まない)」が19.2%、「外出同行(通院・買い物など)」が17.7%などとなっている。

図表 7-14-2 自宅での生活を続けるために必要な支援やサービス



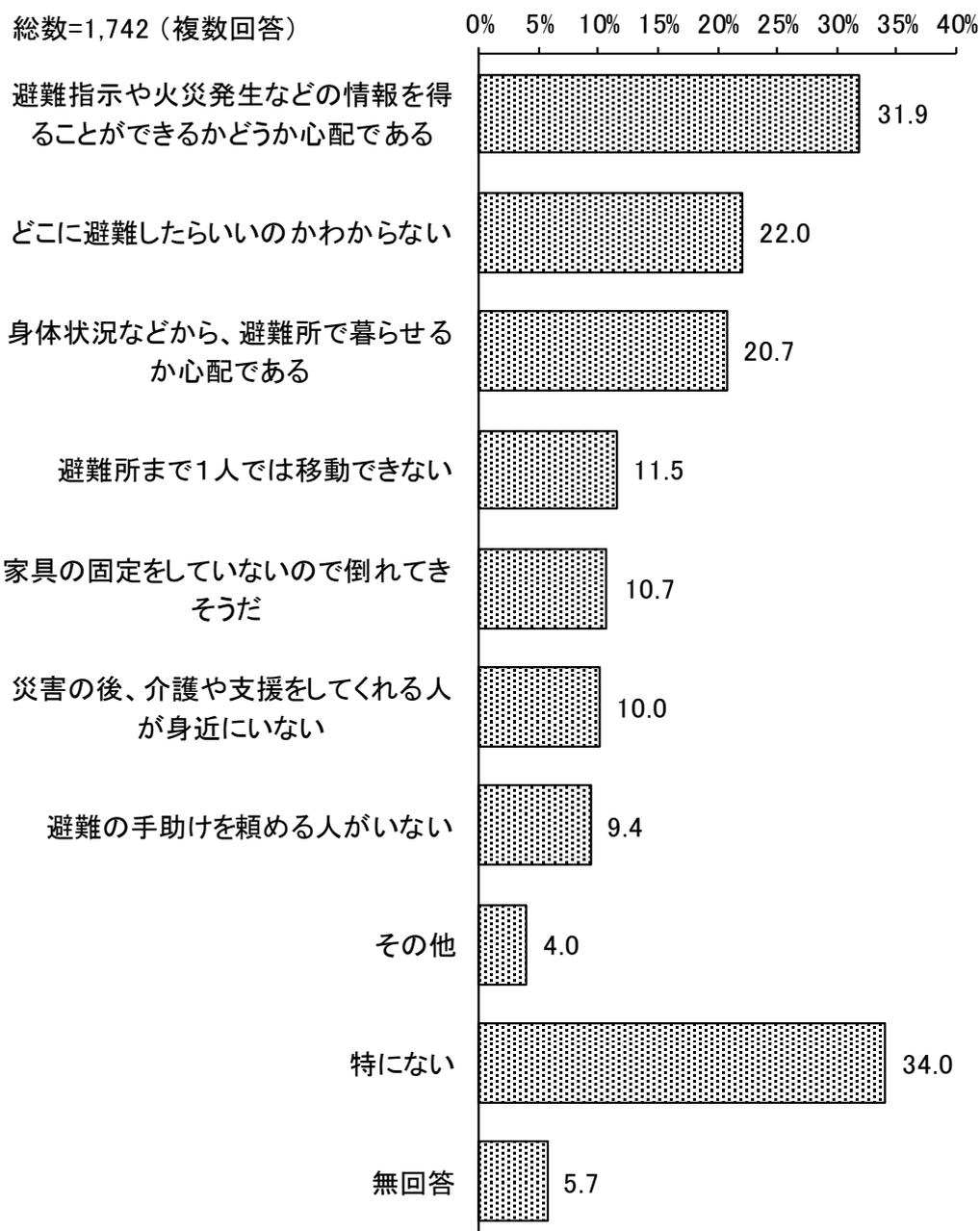
15 災害時の対策について

(1) 緊急時の対応について不安なこと

問 40 災害時（地震や風水害等）や火災などの緊急時の対応について、不安なことはありますか。（〇はいくつでも）

緊急時の対応における不安なことでは、「特にない」の割合が34.0%で最も高く、次いで「避難指示や火災発生などの情報を得ることができるかどうか心配である」が31.9%、「どこに避難したらいいのかわからない」が22.0%、「身体状況などから、避難所で暮らせるか心配である」が20.7%、「避難所まで1人では移動できない」が11.5%などとなっている。

図表 7-15-1 緊急時の対応について不安なこと



家族構成別では、「ひとり暮らし」の家族構成で、「どこに避難したらいいのかわからない」、「災害の後、介護や支援をしてくれる人が身近にいない」、「避難の手助けを頼める人がいない」の割合が、他の家族構成と比較して高くなっている。

図表 7-15-2 緊急時の対応について不安なこと（家族構成別）

（上段：回答数、下段：構成比）

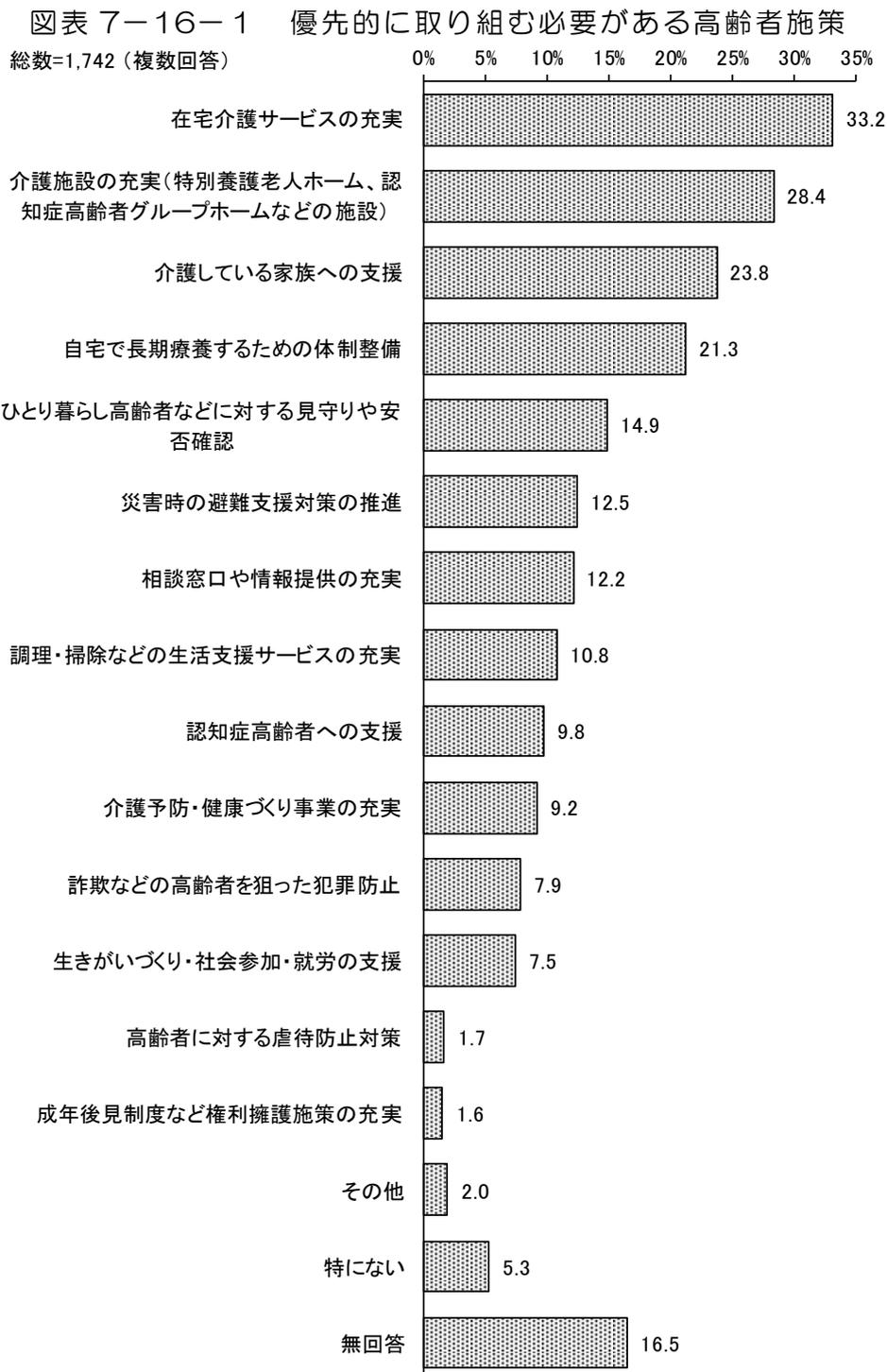
	全体	どこに避難したらいいのかわからない	避難指示や火災発生などの情報を得ることができず、か心配である	家具の固定をしていないので倒れやすい	避難所まで1人では移動できない	避難の手助けを頼める人がいない	身体状況などから、避難所で暮らせるか心配である	災害の後、介護や支援をしてくれる人が身近にいない	その他	特になし	無回答	
全体	1,742 100.0	384 22.0	556 31.9	187 10.7	200 11.5	163 9.4	361 20.7	175 10.0	70 4.0	592 34.0	99 5.7	
家族構成	ひとり暮らし	371 100.0	103 27.8	124 33.4	42 11.3	45 12.1	54 14.6	85 22.9	72 19.4	12 3.2	115 31.0	20 5.4
	夫婦のみ（配偶者は65歳以上）	593 100.0	133 22.4	193 32.5	57 9.6	57 9.6	50 8.4	116 19.6	56 9.4	24 4.0	202 34.1	23 3.9
	夫婦のみ（配偶者は64歳以下）	82 100.0	16 19.5	29 35.4	8 9.8	4 4.9	5 6.1	11 13.4	4 4.9	3 3.7	36 43.9	3 3.7
	息子・娘と同居（息子・娘は65歳以上）	46 100.0	9 19.6	6 13.0	5 10.9	11 23.9	2 4.3	13 28.3	1 2.2	4 8.7	10 21.7	6 13.0
	息子・娘と同居（息子・娘は64歳以下）	466 100.0	90 19.3	150 32.2	50 10.7	62 13.3	29 6.2	101 21.7	22 4.7	15 3.2	165 35.4	31 6.7
	その他	129 100.0	22 17.1	39 30.2	19 14.7	17 13.2	20 15.5	27 20.9	16 12.4	7 5.4	42 32.6	8 6.2
	無回答	55 100.0	11 20.0	15 27.3	6 10.9	4 7.3	3 5.5	8 14.5	4 7.3	5 9.1	22 40.0	8 14.5

16 高齢者施策全般について

(1) 優先的に取り組む必要がある高齢者施策

問 41 目黒区において、これからの高齢者施策で優先的に取り組む必要があると思うものはどれですか。(〇は3つまで)

優先的に取り組むべき高齢者施策では、「在宅介護サービスの充実」の割合が33.2%で最も高く、次いで「介護施設の充実(特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホームなどの施設)」が28.4%、「介護している家族への支援」が23.8%、「自宅で長期療養するための体制整備」が21.3%などとなっている。



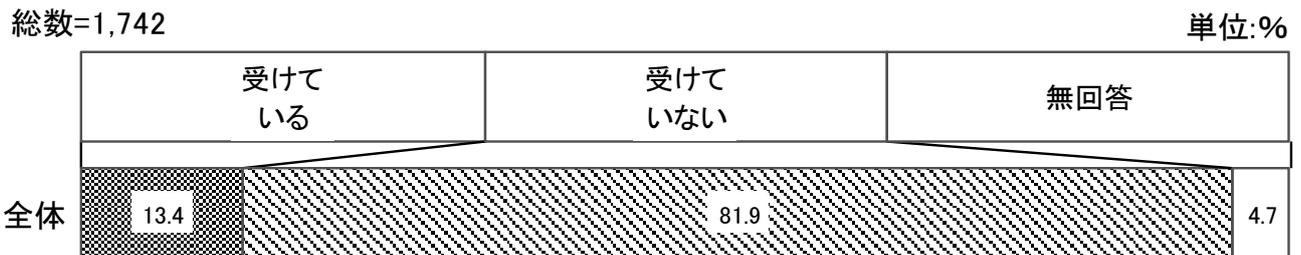
17 家族介護について

(1) 家族からの介護の状況

問 42 あなたは、日常生活であなたの家族からの介護を受けていますか。(○は1つ)

家族介護の状況では、家族介護を「受けている」の割合が13.4%、「受けていない」が81.9%となっている。

図表 7-17-1 家族からの介護の状況

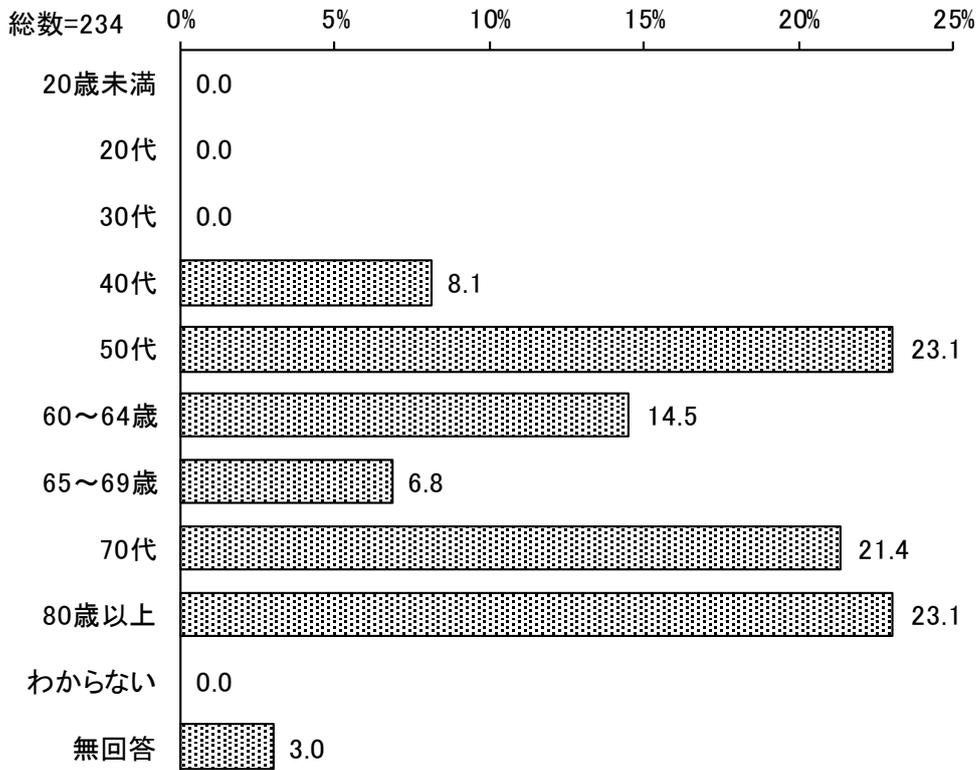


(2) 主な介護者の年齢

問 42-1 主な介護者の方の年齢をお答えください。(○は1つ)

主な介護者の年齢では、「50代」と「80歳以上」の割合が23.1%で最も高く、次いで「70代」が21.4%、「60~64歳」が14.5%などとなっている。

図表 7-17-2 主な介護者の年齢

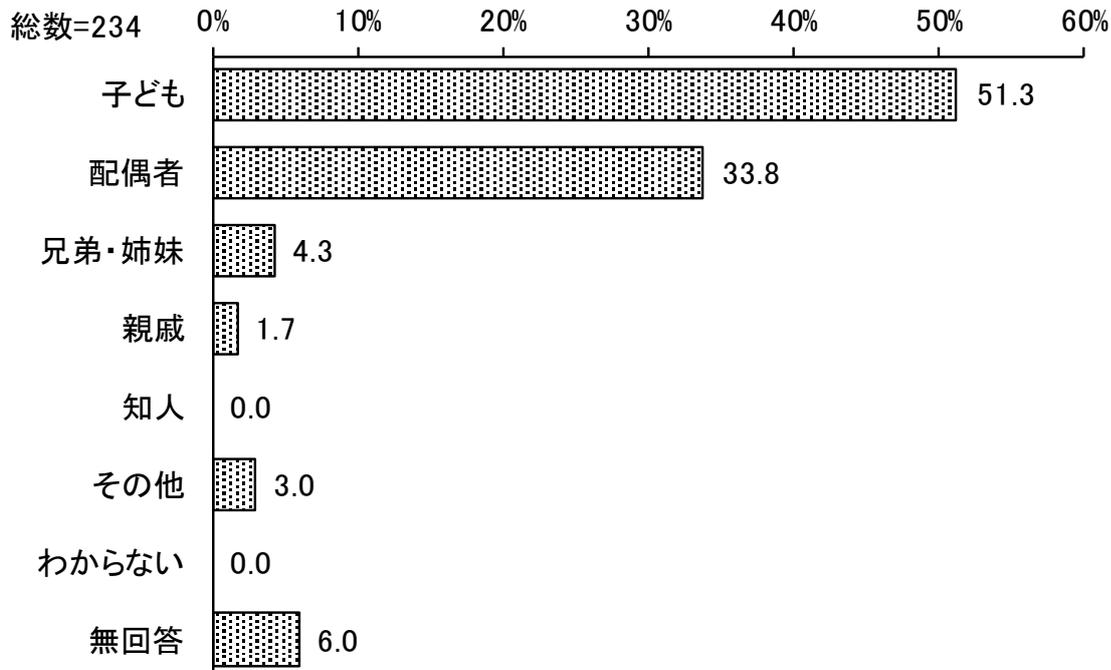


(3) 主な介護者の方との関係

問 42-2 あなたと、主な介護者の方との関係はどれですか。(〇は1つ)

主な介護者との関係では、「子ども」の割合が51.3%で最も高く、次いで「配偶者」が33.8%、「兄弟・姉妹」が4.3%、「その他」が3.0%などとなっている。

図表 7-17-3 主な介護者の方との関係



(4) 家族からの介護希望の有無

問 42-3 あなたは、今後、家族からの介護を受けたいと思いますか。(〇は1つ)

家族介護の希望では、「受けたい」の割合が40.5%、「受けたくない」が47.8%、となっている。

図表 7-17-4 家族からの介護希望の有無



性別では、家族介護を「受けない」で男性が51.2%、女性が32.4%で女性の割合が男性を上回っている。年齢階級別で、どの年齢階級においても、家族介護を「受けない」とする割合は、男性が女性を上回っている。

図表 7-17-5 家族からの介護希望の有無（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

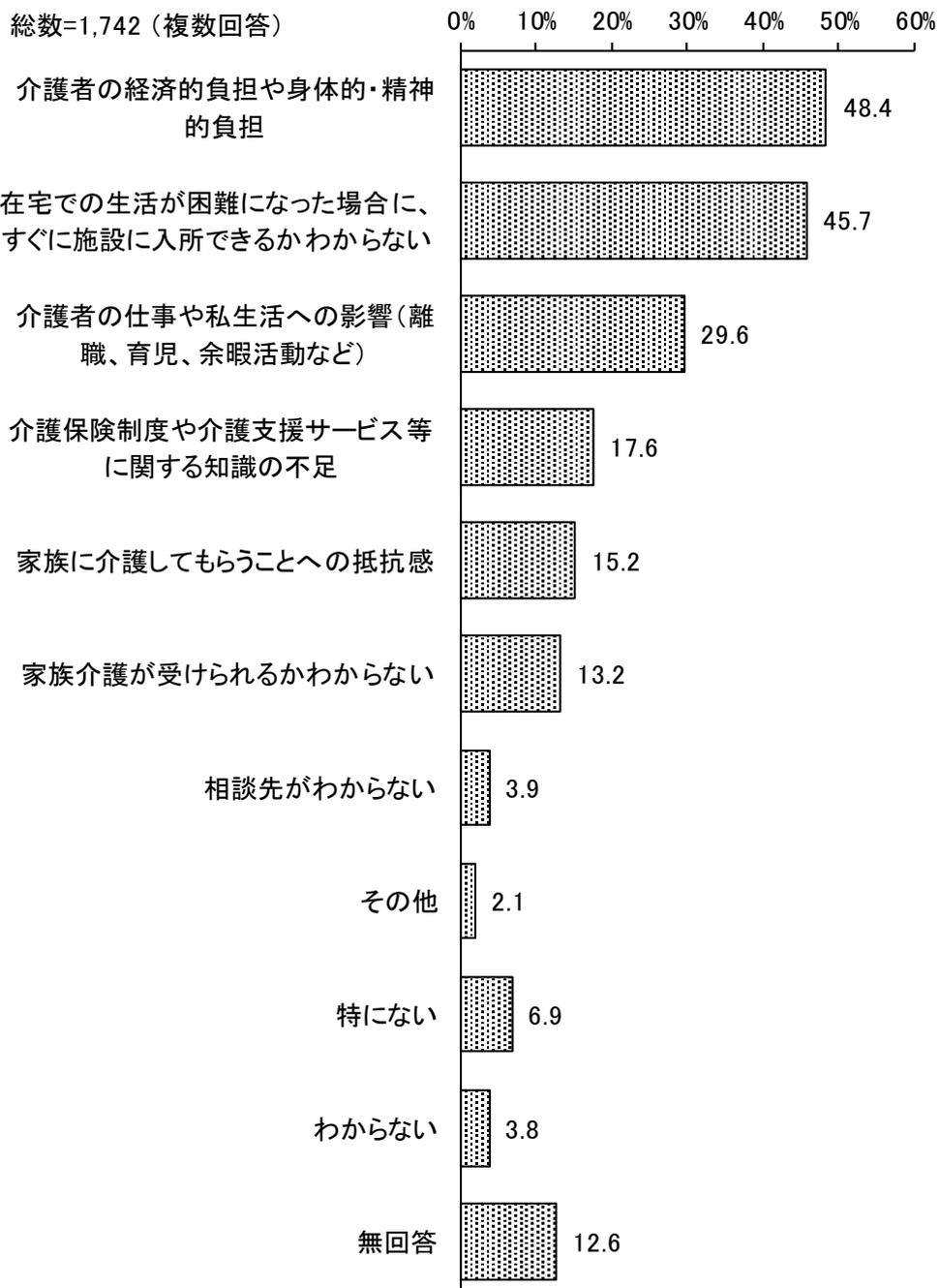
		全 体	受 け た い	受 け た く な い	無 回 答	
全体		1,426 100.0	578 40.5	682 47.8	166 11.6	
性別・ 年齢階級	男性全体	607 100.0	311 51.2	237 39.0	59 9.7	
	65～69歳	158 100.0	67 42.4	78 49.4	13 8.2	
	70～74歳	173 100.0	92 53.2	66 38.2	15 8.7	
	75～79歳	145 100.0	71 49.0	58 40.0	16 11.0	
	80～84歳	84 100.0	51 60.7	25 29.8	8 9.5	
	85～89歳	37 100.0	25 67.6	8 21.6	4 10.8	
	90歳以上	10 100.0	5 50.0	2 20.0	3 30.0	
	女性全体	789 100.0	256 32.4	432 54.8	101 12.8	
	65～69歳	185 100.0	60 32.4	112 60.5	13 7.0	
	70～74歳	206 100.0	62 30.1	119 57.8	25 12.1	
	75～79歳	183 100.0	51 27.9	108 59.0	24 13.1	
	80～84歳	120 100.0	41 34.2	58 48.3	21 17.5	
	85～89歳	70 100.0	33 47.1	26 37.1	11 15.7	
	90歳以上	25 100.0	9 36.0	9 36.0	7 28.0	
	無回答		30 100.0	11 36.7	13 43.3	6 20.0

(5) 家族介護を受けながらの生活で不安に感じること

問 43 家族介護を受けながら、現在の生活を継続していくにあたって、あなたが不安に感じることにについてお答えください。(〇は3つまで)

家族介護を受けながらの生活上の不安では、「介護者の経済的負担や身体的・精神的負担」の割合が48.4%で最も高く、次いで「在宅での生活が困難になった場合に、すぐに施設に入所できるかわからない」が45.7%、「介護者の仕事や私生活への影響(離職、育児、余暇活動など)」が29.6%、「介護保険制度や介護支援サービス等に関する知識の不足」が17.6%などとなっている。

図表 7-17-6 家族介護を受けながらの生活で不安に感じること



性別では、男性で「介護者の経済的負担や身体的・精神的負担」の割合が52.8%で最も高く、次いで「在宅での生活が困難になった場合に、すぐに施設に入所できるかわからない」が44.1%となっている。女性では、「在宅での生活が困難になった場合に、すぐに施設に入所できるかわからない」が46.9%で最も高く、次いで「介護者の経済的負担や身体的・精神的負担」が45.6%となっている。

男女問わず、全ての年齢階級において、「介護者の経済的負担や身体的・精神的負担」、「在宅での生活が困難になった場合に、すぐに施設に入所できるかわからない」、「介護者の仕事や私生活への影響（離職、育児、余暇活動など）」などの割合が高くなっている。

図表 7-17-7 家族介護を受けながらの生活で不安に感じること
(性別・年齢階級別)

(上段：回答数、下段：構成比)

		全体	介護者の仕事や私生活への影響 (離職、育児、余暇活動など)	介護者の経済的負担や身体的・精神的負担	相談先がわからない	家族に介護してもらうことへの抵抗感	介護保険制度や介護支援サービス等に関する知識の不足	在宅での生活が困難になった場合に、すぐに施設に入所できるかわからない	家族介護が受けられるかわからない	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1,742 100.0	515 29.6	843 48.4	68 3.9	264 15.2	306 17.6	796 45.7	230 13.2	36 2.1	120 6.9	67 3.8	220 12.6
性別・年齢階級	男性全体	724 100.0	199 27.5	382 52.8	33 4.6	101 14.0	135 18.6	319 44.1	85 11.7	11 1.5	71 9.8	29 4.0	75 10.4
	65～69歳	162 100.0	49 30.2	85 52.5	7 4.3	16 9.9	25 15.4	68 42.0	17 10.5	5 3.1	26 16.0	6 3.7	11 6.8
	70～74歳	182 100.0	52 28.6	108 59.3	7 3.8	28 15.4	35 19.2	83 45.6	22 12.1	-	12 6.6	9 4.9	18 9.9
	75～79歳	170 100.0	47 27.6	86 50.6	11 6.5	28 16.5	37 21.8	68 40.0	16 9.4	4 2.4	15 8.8	5 2.9	23 13.5
	80～84歳	114 100.0	33 28.9	59 51.8	4 3.5	16 14.0	24 21.1	62 54.4	20 17.5	-	7 6.1	6 5.3	8 7.0
	85～89歳	70 100.0	16 22.9	34 48.6	2 2.9	11 15.7	12 17.1	26 37.1	9 12.9	1 1.4	6 8.6	2 2.9	9 12.9
	90歳以上	26 100.0	2 7.7	10 38.5	2 7.7	2 7.7	2 7.7	12 46.2	1 3.8	1 3.8	5 19.2	1 3.8	6 23.1
	女性全体	975 100.0	312 32.0	445 45.6	33 3.4	154 15.8	164 16.8	457 46.9	137 14.1	25 2.6	49 5.0	35 3.6	134 13.7
	65～69歳	192 100.0	84 43.8	109 56.8	7 3.6	31 16.1	26 13.5	105 54.7	21 10.9	3 1.6	8 4.2	8 4.2	14 7.3
	70～74歳	223 100.0	71 31.8	112 50.2	7 3.1	45 20.2	42 18.8	110 49.3	28 12.6	7 3.1	5 2.2	6 2.7	34 15.2
	75～79歳	213 100.0	67 31.5	89 41.8	8 3.8	37 17.4	43 20.2	100 46.9	43 20.2	6 2.8	10 4.7	6 2.8	24 11.3
	80～84歳	162 100.0	38 23.5	63 38.9	8 4.9	26 16.0	30 18.5	73 45.1	30 18.5	4 2.5	7 4.3	3 1.9	30 18.5
	85～89歳	118 100.0	34 28.8	46 39.0	3 2.5	11 9.3	13 11.0	48 40.7	11 9.3	5 4.2	10 8.5	9 7.6	15 12.7
90歳以上	67 100.0	18 26.9	26 38.8	-	4 6.0	10 14.9	21 31.3	4 6.0	-	9 13.4	3 4.5	17 25.4	
無回答		43 100.0	4 9.3	16 37.2	2 4.7	9 20.9	7 16.3	20 46.5	8 18.6	-	-	3 7.0	11 25.6

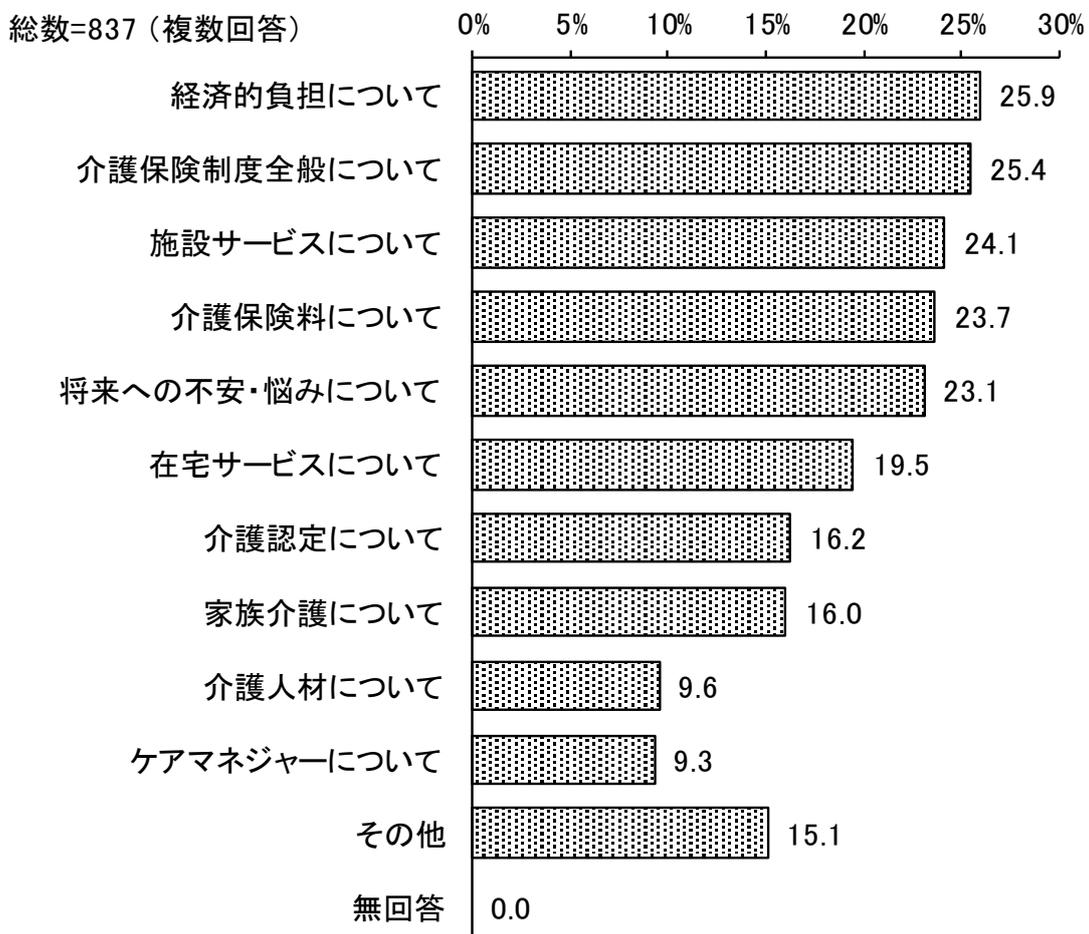
18 自由意見

問44 目黒区の介護保険・高齢福祉行政に関してご意見やご提案がありましたら、お聞かせください。

はじめに、1～11のあてはまる項目に○を付け（○はいくつでも）、その項目についてのご意見・ご提案をお書きください。

目黒区の介護保険・高齢福祉行政に関する自由意見では、「経済的負担について」の割合が25.9%で最も高く、次いで「介護保険制度全般について」が25.4%、「施設サービスについて」が24.1%、「介護保険料について」が23.7%などとなっている。

図表 7-18-1 介護保険・高齢福祉行政に関する自由意見



次ページ以降では、各項目について、原文の文意が損なわれないよう抜粋して記載した。

自由意見

※以下、原文の文意が損なわれないよう抜粋して記載

介護保険制度全般について

- 自立するシニア世代をいかに育成し指導するか、これが重要と考えます。
- 財政事情は厳しい。まずは出来るだけ元気な高齢者づくりを目指していくのが良いと思います。
- 急速な高齢化に対応する施策の実施には予想もつかない予算が必要。総花的なことはやめ重点を置いた施策実施が肝要。
- 介護保険料を納めるメリットがよくわかりません。介護が必要になった時に役立ってくるという明確な情報を教えていただければ保険料を納めていることに納得できていると思います。
- 介護や高齢者福祉についての制度や具体的内容が全体像として把握しにくいように感じます。
- 制度が作られた時の「介護の社会化」が崩され、自己責任・家族の負担等と変質して来ている。特に要介護の認定後、区の対応はよくない。個々の事情で要介護となってもその後の支援で自立を取り戻せることは大いにあり得るしそうした方向を目指して欲しい。

介護保険料について

- 介護保険料が高いので今後払いつづけられるかどうか心配。
- 介護保険料は高いと感じています。特養レベルの施設を増設して頂ければ”介護保険料”を増額しても理解できます。
- 年々介護保険料が上昇していますが、受益者負担の割合を多くすべきだと思います。
- 高額所得者からもっと多く保険料を取ること。
- 介護保険料はずっと払い続けるのでしょうか。
- 介護保険を利用して受けている人と、何も受けずに家庭にひきこもっている老人からも、一律に介護保険料が天引されているのは不公平な気がします。
- 少ない年金から問答無用の徴収は負担が重く、もう少し考えて欲しい。

介護認定について

- 介護認定を受けている人に差がありすぎる。(同じ介護度なのに人によっての差がある)
- 介護認定について親族が受けるのを何回か立ち会ったが、老人は他人の前では頑張るきらいがあり、それにより認定が下がるのではと思うことがありました。
- 介護認定の段階はどのような基準に基づいて決定されるのでしょうか。
- 介護認定基準は非常に厳しいと思います。
- 介護認定の結果が出る迄に時間が掛かりすぎる。
- 「介護認定が正しく行なわれているかどうか」と「その認定度によって決まる介護保険料(施設における追加分など)について」適切に決められているか、疑問を感じることがあります。

在宅サービスについて

- 地域包括支援センターの方々の日頃の活動を見聞きしていてとても力強く思います。
- 在宅サービスはどのような状況になった時実施されるのですか。
- 現在のデイサービスは施設によってサービスが異なります。本人にあったサービスが受けられるようになって欲しいです。
- どのような方がみえるか心配です。
- 介護保険利用での在宅サービスについて、同居家族がいたら生活援助は受けられないことを以前から不満に思っています。
- 在宅介護とはどの程度の状態を指して、どの様な時から受ける事が出来るのでしょうか。
- デイホームやショートステイが出来る施設が他区より少ない気がします。増やすことができるように計画して欲しいです。
- デイサービスのあり方をもっと多様化して個々に自分の要望に沿った施設を選んで行けるよう多様化して欲しい。

施設サービスについて

- 施設サービスがどこにあるか、何をするか、どのようなものがあるか情報の提供が欲しい。
- 施設のサービスについて、目黒区には施設が少ないようで沢山の方が入所を待っている状態です。個室のある介護施設をもっと増やしてください。
- 特別養護老人ホームの充実。ホーム数の確保、個室の充実、介護人材の給与の充実。
- 要介護者が利用できる区内の施設を充実して欲しい。
- 特養老人ホームを申し込んでいますが全く入所の可能性がありません。予算も限られている事は分かりますが增加する高齢者、特養等の施設は更に必要になります。早い時期に入所出来る様宜しくお願い致します。

ケアマネジャーについて

- 困った時はケアマネジャーの方に相談が出来る事が大切だと感じています。
- 「介護を受ける人間は、皆こうしてもらいたいはずだ」という先入観を持って対応するケアマネジャーが多すぎる。
- ケアマネジャーの人員交替が出来るようですが、どのようにすれば良いのでしょうか。区役所に相談する窓口はあるのでしょうか？
- ケアマネジャーの励ましは大いに有効、勇気を持たせてくれて日々充実した生活を楽しんでいる。
- 現在ケアマネジャーの方に恵まれ精神的にも落ち着いております。
- 家に来てくださるので話しをして心強いし、相談相手にもなってくれて助かることが多々あります。
- 夫はケアマネジャーの適切な対応に感謝しています。自宅での入浴に男性看護師が見えることになり、夫も安心して会話を楽しみながら続けております。

介護人材について

- 介護従事者が不足していて施設がフル稼働できないケースがある。介護人材を増すために介護従事者が誇りを持てる賃金、結婚生活を送れる賃金に持っていくことが大切と思います。
- 介護の方達の給料が、大変な仕事の割には安いと思っています。世間並みの年収にならないと結婚もできないし、子どもを産むことも無理なので対策を考えるべきかと思っています。
- 何か介護社会のお役に立つことをさせていただこうと考えています。人材シルバーセンターへの登録をお願いする予定です。
- 介護仕事は厳しいのに他と比べて給与は低いと言います。行政としては、施設の充実だけでなく給与の補填や労働環境の整備にも力を入れ、介護現場で働く人たちの意欲を高め、人材確保に努めて欲しいと思います。
- 有能な人材を確保するため、介護者に適正な給与を支払う制度の整備を進めて欲しい。
- 今後人材不足は現実的なものであると思う。高齢者福祉行政を実行するには介護人材の確保なくしては実行出来ない。
- 介護人材不足は、今後更に深刻になると思えるので早目の対策、取組みが必要と思える。

経済的負担について

- 介護サービスをできるだけスムーズにいろいろと受けたいと思ってもそれにとまなう経済的な負担が重くのしかかってくる気がします。経済的な限度があるとなるとどれをチョイスしてどれをあきらめるか人それぞれにちがってくるとなると平等とはいえないのではないのでしょうか。
- 私たちは自営なので国民年金のみで少額です。人生100年時代と言われ現に95才前後の方が多くなり、長生きは経済的に負担がかかり心配です。
- 介護される場合になってからの1カ月の費用はどのくらいですか？今はパート暮らしですが働けなくなったら預金がどんどん減少していくので心配です。

将来への不安・悩みについて

- 介護認定はどんどん厳しくなっているのに介護保険料はどんどん上がっている。一生払わなければいけないのに収入は減っていく。不安は広がるばかりです。
- 年金のみの生活です。年金から固定資産税の支払い住民税その他の医療費の支払いが多くなり不安です。
- 施設の数足りず、自分が利用したいと思っても入れないのではないかと不安があります。
- 一人で暮らせなくなった時に入所できる施設があるのか。少ない年金では暮らしていけない。これからどう生きていけばいいのか不安です。
- できれば、自宅介護で生活したいがどの段階で施設に入所するのか、できるかが不安に思う。

- 介護施設、特別養護老人ホーム等に入る場合、普通の生活にかかる費用でたりるとある程度不安が除かれる。

家族介護について

- 介護の専門家でない一般の家族が介護を行うのは、様々な負担が発生し家族の生活に無理が生じると思います。
- 老々介護の辛さ、悲劇はなんとしても避けたい。
- 家族介護の場合、家族に何か楽しくなる生きがいを感じるメリットがあると頼みやすい。
- 相互扶助の精神は理解するが、高い介護保険料を支払いながら家族に介護保険料が還元されない。ここに矛盾を感じる。家族に報酬を払うべき。
- 老々介護世帯の支援を希望します。
- 家族介護を支援すべく「家族介護の手当化」住民税の控除とか手当支給などを考えていただくと少しは「ガンバル気持」につながると考えます。御一考を!!
- 家族介護を基本にしてはならない。介護の社会化の上に家族の介護が良い効果となるのです。
- ほとんどの高齢者が家族に肉体的、経済的負担をかけたくないのではと思います。

その他

- 24時間受け付ける救急電話相談のような制度があると安心できると思います。
- 終末に向けていくつか（在宅、施設、ホスピス、病院等々）の看取り図があります。それを参照、理解したうえで、本人や家族が望む方法をアレンジして、それを制度や行政の仕組みがフォローして実現できると良い。
- 高齢者を大事にするのも良いが、もっと若い人が稼げるような社会にしないと高齢者が使える予算もなくなってしまうのではないかと。もっと生産性が上がる社会をつくってもらいたい。
- 区内に安い介護施設が増えることを希望します。空き家などを再利用するなどを考えていただきたいです。
- 介護の必要のない老人には積極的にシルバー人材センターへ行き仕事を探し、働くことが生きがいとなる社会にして欲しい。
- 手続きのことで区役所、その後包括支援センターに行き、色々と相談にのっていただき大変助かりました。介護についての「まずは相談を！」という『窓口』と『アピール』がもっとある良いと思います。
- 災害時に高齢者の緊急時遠距離避難は困難と考えられる。近隣地域の「小公園設置」を論議して欲しい。目黒区に緑は少なく火災などでの危険が大きい。区はチャンスをみつけて空地を確保するようにして欲しい。